



RICOH MP CW2201/CW1201 シリーズ

使用説明書 〈RP-GL/2&RTIFF〉

目次

1. プリンターの設定

エミュレーションを切り替える.....	5
印刷条件を設定する.....	6
印刷条件リストを印刷する.....	7
印刷条件リストの見かた.....	8
RP-GL/2 印刷条件リスト.....	8
RTIFF 印刷条件リスト.....	10
プログラムを登録する.....	12
プログラムを呼び出す.....	13
エミュレーション検知に関する注意事項.....	14
プログラムを削除する.....	15
プログラム内容を印刷する.....	16
給紙部を選択する.....	17
印刷部数を設定する.....	18

2. RP-GL/2 を使用する

RP-GL/2 エミュレーションとは.....	19
RP-GL と RP-GL/2 の主な違い.....	20
HP-GL、HP-GL/2、HP RTL について.....	21
RP-GL/2 エミュレーション使用時の注意.....	22
印刷するための準備.....	24
Windows から使用する.....	24
DOS/UNIX から使用する.....	26
RP-GL/2 の動作モード.....	27
GL-GL/2 切り替えモードの動作について.....	28
出力プロッターを設定する.....	28
印刷条件を設定する.....	31
印刷条件設定項目の一覧.....	31
印刷条件の設定項目.....	33
印刷する.....	62
カラーサンプルを印刷する.....	62
カラーサンプルの見かた.....	62
操作部でペン色を指定して印刷する.....	64
モノクロで印刷する.....	65

色やグレースケールを調整して印刷する.....	66
給紙部を自動選択する.....	67
横給紙の用紙に印刷する.....	70
用紙の排紙方向を変更する.....	71
印刷オプションを指定する.....	73
印刷オプションとは.....	73
印刷オプションの指定方法.....	73
印刷オプション一覧表.....	74
印刷オプションの指定項目.....	74
コマンドを指定する.....	77
エミュレーション切り替えコマンド.....	77
印刷オプション指定コマンド.....	78
印刷オプション指定コマンド一覧表.....	79
印刷オプション指定コマンドの指定項目.....	80
図面サイズと用紙サイズによる縮尺率.....	81
HDI ドライバーのヘルプを表示する.....	82
ヘルプを表示する.....	82
ヘルプを印刷する.....	83
プリンタードライバーで給紙部を選択するとき.....	84
RP-GL/2 エミュレーションのトラブルシューティング.....	85
思いどおりに印刷できないとき.....	85

3. RTIFF を使用する

RTIFF エミュレーションとは.....	89
印刷するための準備.....	90
使用時の注意事項.....	91
印刷する.....	92
UNIX ワークステーションから使用する.....	92
DOS/V パソコンから使用する.....	92
印刷条件の設定.....	95
印刷条件設定項目の一覧.....	95
印刷条件の設定項目.....	95
印刷オプションを指定する.....	120
印刷オプションとは.....	120

印刷オプションの指定方法.....	120
印刷オプション一覧表.....	121
印刷オプションの指定項目.....	124
印刷オプションの省略形.....	159
入力データの仕様.....	163
印刷できる TIFF ファイル.....	163
印刷できる CALS ファイル.....	169
印刷できる JPEG ファイル.....	171
エミュレーション切り替えコマンド.....	172
サマリー印刷指定コマンド.....	173
印刷オプション指定コマンド.....	173
RTIFF エミュレーションのトラブルシューティング.....	175
エラーメッセージ.....	175
思いどおりに印刷できないとき.....	181



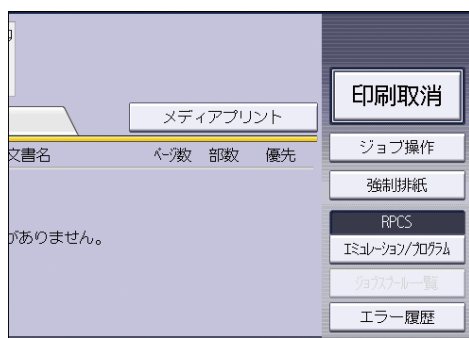
1. プリンターの設定

この章ではプリンター機能からエミュレーションの機能を設定するための手順や、設定内容を確認する方法を説明します。

1

エミュレーションを切り替える

1. 画面中央下の【ホーム】(🏠)を押します。
2. 【プリンター】アイコンを押します。
3. 【エミュレーション/プログラム】を押します。



4. 【呼出】を押します。
5. 切り替えるエミュレーションを選択します。



6. 【OK】を2回押します。
呼び出したエミュレーションの画面が表示されます。
7. 画面中央下の【ホーム】(🏠)を押します。

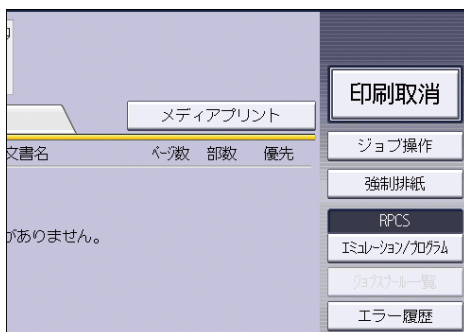
印刷条件を設定する

印刷するデータに応じた印刷条件を操作部で設定できます。

★重要

- 印刷中や印刷データの受信中は、印刷条件を変更しないでください。
- 本機の設定によっては意図しない印刷結果となることがあります。P.77「コマンドを指定する」を参照してください。

1. 画面中央下の【ホーム】(🏠)を押します。
2. 【プリンター】アイコンを押します。
3. 【エミュレーション/プログラム】を押します。



4. 【呼出】を押してエミュレーションを選択し、【OK】を押します。

5. 【印刷条件】を押します。

6. 項目を押して、印刷条件を設定します。

変更する印刷条件の項目が表示されていないときは、【▲前へ】または【▼次へ】を押して操作部の表示を切り替えます。

7. 【終了】を押します。

8. 【OK】を押します。

9. 画面中央下の【ホーム】(🏠)を押します。

↓補足





- 設定した印刷条件は、印刷データを印刷したあとも保持されます。ただし、本機の電源を切ったときや、エミュレーションを切り替えたときは、設定した印刷条件が初期値に戻ります。
- 使用する頻度が多い印刷条件は、プログラム登録しておくことをお勧めします。プログラムを登録しておくこと、本機の電源を切ったり、エミュレーションが切り替わったりしても、プログラムを呼び出すことで同じ条件での印刷ができます。プログラムの登録については、P.12「プログラムを登録する」を参照してください。

印刷条件リストを印刷する

設定されている印刷条件の一覧を印刷して確認できます。

普通紙または再生紙がセットされている給紙部を優先的に選択します。

印刷する印刷条件が呼び出されていることを確認してから、操作してください。

1. 画面中央下の【ホーム】()を押します。
2. 左にフリックし、【初期設定】アイコン()を押します。
3. 【本体初期設定】を押します。
4. 【プリンター初期設定】を押します。
5. 【テスト印刷】タブが表示されていることを確認し、【印刷条件リスト】を押します。
6. 画面右上の【初期設定】()を押します。
7. 画面中央下の【ホーム】()を押します。

印刷条件リストの見かた

使用している機種や設定によっては、異なる内容が印刷されるときがあります。

RP-GL/2 印刷条件リスト

GL / GL2 印刷条件一覧

1. < システム構成 > S-3-X-M-1-15-15-J-E-0-99-99-1-1-A-3-A-3-1-0-0-0-0-0
 バージョン GL/GL2 8.11 システム MP CW2201 JPN 0.6
 メモリー 3283782 KB フリー 4 KB 最大メモリー 128 KB
 プリンター モデル: WA1R, A2, FREE モデル: NCS, NCS デバイス: A4

2. < 印刷条件 >
 5 プリントのサイズ 0" 46 プリントの向き フォント
 6 プリントのサイズ 755x1000 47 プリントのサイズ A4 48 プリントのサイズ A4
 7 プリントのサイズ 0 mm 49 プリントのサイズ A4
 8 プリントのサイズ 0 mm 50 プリントのサイズ A4
 17 プリントのサイズ 0 mm 51 プリントのサイズ A4
 18 プリントのサイズ 0 mm 52 プリントのサイズ A4
 19 プリントのサイズ 100 % 53 プリントのサイズ A4
 20 プリントのサイズ 100.0 % 54 プリントのサイズ A4
 21 プリントのサイズ 100.00 % 55 プリントのサイズ A4
 22 プリントのサイズ 100.00 % 56 プリントのサイズ A4
 23 プリントのサイズ 100.00 % 57 プリントのサイズ A4
 24 プリントのサイズ 100.00 % 58 プリントのサイズ A4
 25 プリントのサイズ 100.00 % 59 プリントのサイズ A4
 26 プリントのサイズ 100.00 % 60 プリントのサイズ A4
 27 プリントのサイズ 100.00 % 61 プリントのサイズ A4
 28 プリントのサイズ 100.00 % 62 プリントのサイズ A4
 29 プリントのサイズ 100.00 % 63 プリントのサイズ A4
 30 プリントのサイズ 100.00 % 64 プリントのサイズ A4
 31 プリントのサイズ 100.00 % 65 プリントのサイズ A4
 32 プリントのサイズ 100.00 % 66 プリントのサイズ A4
 33 プリントのサイズ 100.00 % 67 プリントのサイズ A4
 34 プリントのサイズ 100.00 % 68 プリントのサイズ A4
 35 プリントのサイズ 100.00 % 69 プリントのサイズ A4
 36 プリントのサイズ 100.00 % 70 プリントのサイズ A4
 37 プリントのサイズ 100.00 % 71 プリントのサイズ A4
 38 プリントのサイズ 100.00 % 72 プリントのサイズ A4
 39 プリントのサイズ 100.00 % 73 プリントのサイズ A4
 40 プリントのサイズ 100.00 % 74 プリントのサイズ A4
 41 プリントのサイズ 100.00 % 75 プリントのサイズ A4
 42 プリントのサイズ 100.00 % 76 プリントのサイズ A4
 43 プリントのサイズ 100.00 % 77 プリントのサイズ A4
 44 プリントのサイズ 100.00 % 78 プリントのサイズ A4
 45-1 プリントのサイズ 100.00 % 79 プリントのサイズ A4
 45-2 プリントのサイズ 100.00 % 80 プリントのサイズ A4

3. < 印刷条件: ペン設定 >
 9 ペン1 1. 線幅 0.40 mm 2. 濃度 100 % 3. 色 001 50 ペン9 1. 線幅 0.35 mm 2. 濃度 100 % 3. 色 012
 10 ペン2 0.20 mm 100 % 002 51 ペン10 0.35 mm 100 % 013
 11 ペン3 0.10 mm 100 % 003 52 ペン11 0.35 mm 100 % 021
 12 ペン4 0.20 mm 100 % 004 53 ペン12 0.35 mm 100 % 035
 13 ペン5 0.20 mm 100 % 005 54 ペン13 0.35 mm 100 % 066
 14 ペン6 0.20 mm 100 % 006 55 ペン14 0.35 mm 100 % 100
 15 ペン7 0.20 mm 100 % 007 56 ペン15 0.35 mm 100 % 110
 16 ペン8 0.20 mm 100 % 008 57 ペン16 0.35 mm 0 % 000

4. < プログラムキー 登録状況 >
 No.1 1. No.5 1. No.9 1. No.13 1.
 No.2 1. No.6 1. No.10 1. No.14 1.
 No.3 1. No.7 1. No.11 1. No.15 1.
 No.4 1. No.8 1. No.12 1. No.16 1.

5. < エラー履歴 >
 15- プリント

DNT103

1. システム構成

エミュレーションやシステムのバージョン、メモリー容量、ホストバッファ、給紙部にセットされている用紙サイズが印刷されます。

以下の用紙サイズは、使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのときだけ印刷されます。

- A0R、A1、B1R、B2、S1、S2、S3、S4、S5、S8、36×48R、34×44R、30×42R、24×36、22×34、21×30

「S1」は、使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのとき、[36 インチ幅ロール紙のカットサイズ仕様] で [日本仕様 (mm)] を選択すると印刷されます。「36×48R」と「24×36」は、[海外仕様 (inch)] を選択すると印刷されます。詳しくは、『プリンター』『システム設定 (EM)』を参照してください。

2. 印刷条件

印刷条件の設定項目と現在の設定値が印刷されます。「*」がついている項目は、初期値から変更されている項目です。

3. 印刷条件：ペン設定

本機で設定したペン設定一覧が印刷されます。「*」がついている項目は、初期値から変更されている項目です。

4. プログラムキー登録状況

本機に登録されているプログラムが印刷されます。「No.1」～「No.16」に登録される名前（RGL.1、RTF.1 など）の数字部分はユーザーメモリースイッチ番号です。ユーザーメモリースイッチ番号は、エミュレーションごとに登録された順番で「1」から自動的に採番されます。

5. エラー履歴

エラーの履歴が印刷されます。

↓ 補足

- RP-GL/2 でエラーが発生したとき、次のページに「エラーリレキ」欄が印刷されます。この欄に RP-GL/2 で発生したエラーの一覧が印刷されます。

RTIFF 印刷条件リスト

1

お使いの機器名

RTIFF PRINTER SYSTEM Ver. XX.XX.XX
Ver.X.XX

1 システム構成

搭載メモリー	3158 MB	プログラム指定	指定なし
受信バッファ	128 KB	印刷部数	1
RTIFF蓄積用メモリー	39553 KB	RTIFF蓄積用ハードディスク	11981 MB

給紙状況

給紙部1	AIR	A2	FREE
給紙部2	**	**	**
手差し	A4		

2 印刷条件

1.給紙部	システムデフォルト	O.中央配置	する
2.用紙サイズ	指定しない	P.自動変倍	しない
4.リットレス給紙	自動	Q.エラー印刷	しない
5.印刷方向	ポートレイト	S.印刷領域	最大
7.エンジン解像度	600dpi	T.実サイズ変倍	する
8.変倍率	100%	U.自動用紙選択	する
9.左余白	0mm	V.用紙超過率	5%
A.右余白	0mm	W.データバッファ	メモリー
B.上余白	0mm	X.不定形オートカット	する
C.下余白	0mm	Z.画像の向き	0度回転画像
D.Xオフセット	0mm	b.自動縮小	縮小しない
E.Yオフセット	0mm	c.自動縮小余白補正	0mm
H.マルチ カラム	1	d.自動縮小無効倍率	5%
I.マルチ ロー	1	e.縮小変倍時細線補正	縦線・横線補正
J.横変倍率	100%	f.カラー/白黒選択	カラー
K.縦変倍率	100%	g.印刷品質	高速
L.白黒反転	しない	h.優先用紙方向	画像方向優先
M.明るさ	100%	i.自動給紙部選択時紙ナシ給紙部選択対象とする	
N.コントラスト	100%		

3 プログラムキー登録状況

No. 1 未登録	No. 5 未登録	No. 9 未登録	No. 13 未登録
No. 2 未登録	No. 6 未登録	No. 10 未登録	No. 14 未登録
No. 3 未登録	No. 7 未登録	No. 11 未登録	No. 15 未登録
No. 4 未登録	No. 8 未登録	No. 12 未登録	No. 16 未登録

DNT104

1. システム構成

メモリー容量、受信バッファ、処理用メモリーの容量、指定されているプログラム、設定されている印刷部数、処理用ディスクの容量、給紙部にセットされている用紙サイズが印刷されます。

以下の用紙サイズは、使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのときだけ印刷されます。

- A0R、A1、B1R、B2、S1、S2、S3、S4、S5、S8、36×48R、34×44R、30×42R、24×36、22×34、21×30

「S1」は、使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのとき、[36 インチ幅ロール紙のカットサイズ仕様] で [日本仕様 (mm)] を選択すると印刷されます。「36×48R」と「24×36」は、[海外仕様 (inch)] を選択すると印刷されます。詳しくは、『プリンター』『システム設定 (EM)』を参照してください。

2. 印刷条件

印刷条件の設定項目と現在の設定値が印刷されます。


3. プログラムキー登録状況

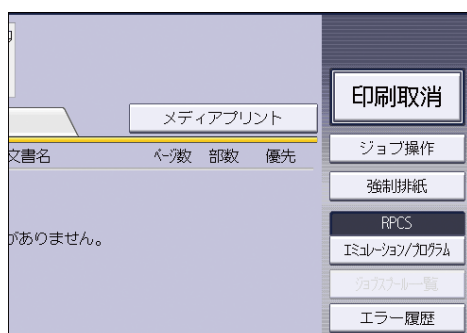
本機に登録されているプログラムが印刷されます。「No.1」～「No.16」の数字はユーザーメモリースイッチ番号です。ユーザーメモリースイッチ番号は、エミュレーションごとに登録された順番で「1」から自動的に採番されます。


プログラムを登録する

1

設定したエミュレーションモードや印刷条件は、電源を切ったり、エミュレーションを切り替えたりすると、すべて工場出荷時の設定に戻ります。使用する頻度が多い印刷条件は、プログラムとして本機に登録しておくことをお勧めします。プログラムは16個まで登録でき、電源を切っても保存されます。

1. 画面中央下の【ホーム】（）を押します。
2. 【プリンター】アイコンを押します。
3. 【エミュレーション/プログラム】を押します。



4. 【呼出】を押してエミュレーションを選択し、【OK】を押します。
5. 【印刷条件】を押して必要な印刷条件を設定します。
6. 【終了】を押して印刷条件設定画面を閉じます。
7. 【プログラム登録/削除】を押します。
8. 【登録】が選択されていることを確認し、登録するプログラム番号を押します。
9. 【OK】を2回押します。
プログラムが登録され、プリンターの画面に戻ります。
10. 画面中央下の【ホーム】（）を押します。

↓ 補足

- 登録済みのプログラム番号には、登録したときのエミュレーション名が表示されます。登録済みのプログラム番号を指定して【OK】を押すと、新たな登録内容に上書きできます。
- プログラムを登録すると、登録した順にユーザーメモリースイッチ番号が設定されます。ユーザーメモリースイッチ番号は、エミュレーションごとに、登録された順番で「1」から自動的に採番されます。ユーザーメモリースイッチ番号は、印刷条件リストの＜プログラムキー登録状況＞で確認できます。印刷条件リストの見かたについては、P.8「印刷条件リストの見かた」を参照してください。

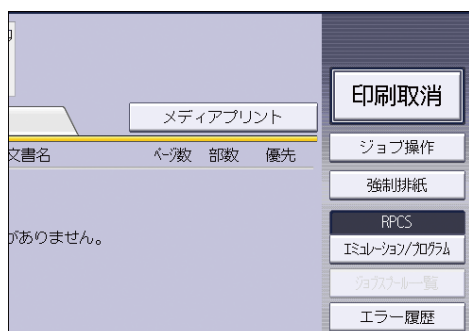
プログラムを呼び出す

プログラム登録した印刷条件で印刷するには、あらかじめプログラムを呼び出します。

★重要

- 本機の設定によっては意図しない印刷結果となるときがあります。P.14「エミュレーション検知に関する注意事項」を参照してください。

1. 画面中央下の【ホーム】(🏠)を押します。
2. 【プリンター】アイコンを押します。
3. 【エミュレーション/プログラム】を押します。



4. 【呼出】を押します。
5. 呼び出すプログラムを押します。



6. 【OK】を押します。
選択したプログラム番号が画面に表示されていることを確認します。
7. 【OK】を押します。
8. 画面中央下の【ホーム】(🏠)を押します。

エミュレーション検知に関する注意事項

意図しない印刷結果となったとき

意図しない印刷結果となったときは、[エミュレーション検知] の設定を確認してください。

[エミュレーション検知] が [する] に設定されていると、各エミュレーションのユーザーメモリースイッチ番号「1」のプログラムが起動します。また、印刷ジョブが変わるたびに検知が働きます。これらの動作によって、意図しない印刷結果となるときがあります。

このとき、[プリンター初期設定] の [システム設定] タブにある [エミュレーション検知] を [しない] に設定してください。[エミュレーション検知] については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。

↓ 補足

- RTIFF エミュレーションでは、RTIFF 以外のエミュレーションやプログラムが呼び出されているときに限り、ユーザーメモリースイッチ番号「1」のプログラムが起動します。RTIFF エミュレーションまたは RTIFF のプログラムが呼び出されているときは、[エミュレーション検知] が [する] になっていても、ユーザーメモリースイッチ番号「1」のプログラムは起動しません。


印刷途中で異なるエミュレーションに切り替わったとき

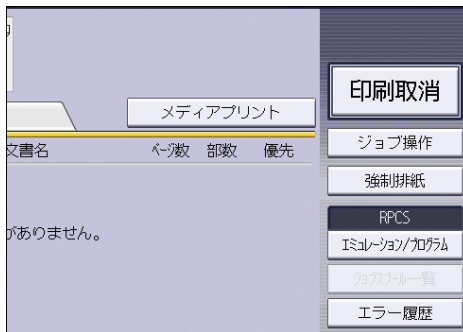
[エミュレーション検知] が [する] に設定されているとき、[インターフェース切替時間] の設定が短いと、データの途中で誤ったエミュレーションに切り替わることがあります。

[インターフェース切替時間] を長めに設定するか、[エミュレーション検知] を [しない] に設定してください。

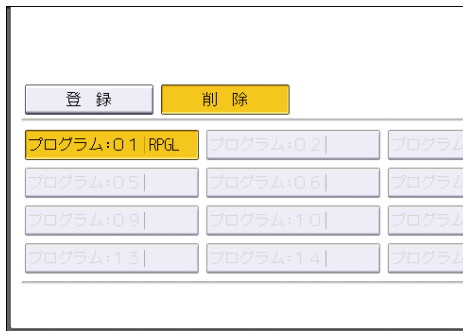
[エミュレーション検知] については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。[インターフェース切替時間] については、『プリンター』「インターフェース設定」を参照してください。


プログラムを削除する

1. 画面中央下の【ホーム】（）を押します。
2. 【プリンター】アイコンを押します。
3. 【エミュレーション/プログラム】を押します。



4. 【プログラム登録/削除】を押します。
5. 【削除】を押します。
6. 削除するプログラムを押します。




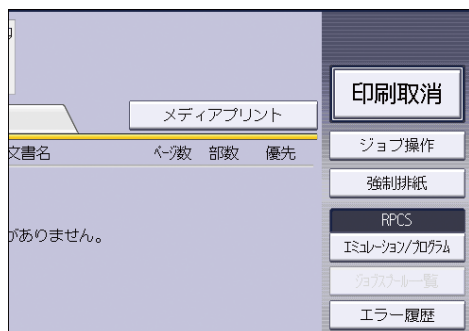
7. 【OK】を押します。
確認画面が表示されます。
8. 【削除する】を押します。
9. 【OK】を押します。
10. 画面中央下の【ホーム】（）を押します。


プログラム内容を印刷する

本機に登録したプログラムの一覧を印刷できます。


1

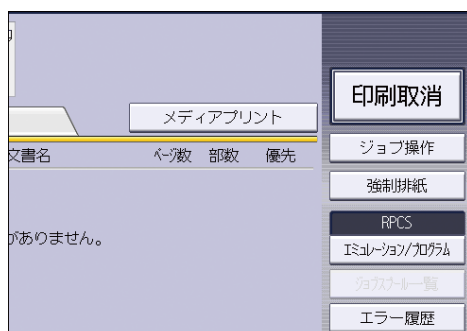
1. 画面中央下の【ホーム】（）を押します。
2. 【プリンター】アイコンを押します。
3. 【エミュレーション/プログラム】を押します。




4. 【呼出】を押して印刷するプログラムを選択し、【OK】を押します。
5. 【プログラム登録/削除】を押します。
6. 【プログラム内容印刷】を押します。
7. 【取消】を押します。
8. 【OK】を押します。
9. 画面中央下の【ホーム】（）を押します。

給紙部を選択する

1. 画面中央下の【ホーム】（）を押します。
2. 【プリンター】アイコンを押します。
3. 【エミュレーション/プログラム】を押します。



4. 【呼出】を押してエミュレーションを選択し、【OK】を押します。
5. 【給紙部選択】を押します。
6. 選択する給紙部を押します。
7. 【OK】を2回押します。
8. 画面中央下の【ホーム】（）を押します。

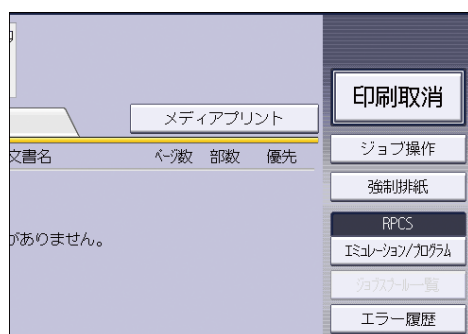
印刷部数を設定する

1

印刷部数は、RTIFF エミュレーションでは 999 部まで、RP-GL/2 エミュレーションでは 99 部まで指定できます。

設定した印刷部数は、印刷データを印刷したあとも保持されます。ただし、本機の電源を切ったときや、エミュレーションを切り替えたときは、設定した印刷部数が初期値（1 部）に戻ります。

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。
2. [プリンター] アイコンを押します。
3. [エミュレーション/プログラム] を押します。



4. [呼出] を押してエミュレーションを選択し、[OK] を押します。
5. [印刷部数] を押します。
6. テンキーで印刷部数を入力します。
7. [OK] を 2 回押します。
8. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

↓ 補足

- RP-GL/2 エミュレーションでは、アプリケーションによっては、操作部で設定した印刷部数が有効にならないことがあります。そのときは、印刷条件「102.印刷部数指定優先」を「機器側設定優先」に設定してください。
- RTIFF エミュレーションでは、印刷オプションの copies や qty で印刷部数を指定すると、操作部で設定した印刷部数は無効になります。

2. RP-GL/2 を使用する

この章では RP-GL/2 エミュレーションの機能や使用方法、印刷条件の設定などを説明しています。

RP-GL/2 エミュレーションとは

2

RP-GL/2 エミュレーションを使用すると、本機をプロッターとして使用し、CAD アプリケーションから印刷できます。

HP (Hewlett-Packard) 社で開発されたペンプロッター制御用の命令セット HP-GL (Hewlett-Packard's Graphics Language)、ラスタプロッター制御用の命令セット HP-GL/2 (Hewlett-Packard's Graphics Language Standard) +HP RTL (HP's Raster Transfer Language) に準拠しています。HP-GL、HP-GL/2、HP RTL で出力できる CAD アプリケーションから印刷できます。

Windows 環境や、DOS/UNIX 環境でも印刷できます。

RP-GL と RP-GL/2 の主な違い

RP-GL/2 エミュレーションは、RP-GL と RP-GL/2 の 2 種類のコマンド体系をサポートしています。

RP-GL は、Hewlett-Packard 社の HP-GL のコマンドに準拠しています。

RP-GL/2 は、Hewlett-Packard 社の HP-GL/2 と HP-RTL のコマンドに準拠しています。

RP-GL と RP-GL/2 の出力機能の違いは以下のとおりです。

機能	RP-GL	RP-GL/2
エミュレートするプロッター	HP7475A、HP7550A、 HP7570A、HP7575A、 HP7576A、HP7580B、 HP7585B、HP7586B、 HP7595A、HP7596A	Type1 : DesignJet600 Type2 : DesignJet650C Type3 : DesignJet700 Type4 : DesignJet750C Plus
座標原点位置	左下または中央	左下
イメージデータの出力	不可	可
座標軸回転	0°、90°	0°、90°、180°、270°
画像の重ね合わせ制御	なし	あり
ベクトル作画命令の圧縮機能	なし	あり
ミラー印刷機能	なし	あり
印刷色の対応	モノクロ（グレースケール） カラー 256 色	Type1、Type3 : モノクロ（グレースケール） Type2、Type4 : モノクロ（グレースケール） カラー 256 色 フルカラー
ペン指定	8 種類	16 種類
ペン属性の指定（モノクロ）	線幅：26 段階 濃度：11 階調	線幅：26 段階 濃度：11 階調
ペン属性の指定（カラー）	線幅：26 段階 ペン色：256 色	線幅：26 段階 ペン色：256 色

↓ 補足

- RP-GL/2 の Type1 または Type3 でカラーデータを印刷するとき、モノクロで印刷されます。ベクトルデータとイメージデータは、グレースケールに置き換えられます。

HP-GL、HP-GL/2、HP RTL について

HP-GL

HP 社で開発されたペンプロッター制御用のコマンドです。HP-GL はもともと HP 社のプロッターを制御するための命令体系ですが、最も標準的なコマンドとして、多くの CAD アプリケーションとプロッターで使用されています。

HP-GL/2

HP 社で開発されたラスタプロッター制御用のコマンドです。

ペンプロッターをベースに考えられた HP-GL とは異なり、HP-GL/2 にはラスタプロッターを想定した高度な作画機能が盛り込まれています。

また、HP-GL/2 は HP-GL にはない次のような拡張機能を持っています。

- ベクトル作画命令の圧縮機能により、出力データ量を大幅に減少させ、パソコンの開放時間を大幅に短縮できます。
- カラーデータに対応し、カラーまたはグレースケールで印刷できます。
- コマンドを使用して HP RTL と切り替えられるため、ベクターデータ、イメージデータが混在したデータも高速に印刷できます。
- 多彩な塗りつぶし（カラー、グレースケール、パターンなど）ができます。
- 仮想的なペンを使用した様々な設定（線幅、線終端処理、接合部処理など）の指定ができます。

HP RTL

HP RTL はイメージデータ（ビットマップ）を作画するために開発されたグラフィック言語です。

イメージデータは、ドットで構成された図形です。通常のプロッターで描画された線などで構成された図形に加えて、イメージデータを組み合わせることで、より表現力に富んだ鮮やかな描画ができます。

HP RTL では、膨大になりがちなイメージデータを圧縮して転送できるため、高速に描画できます。

RP-GL/2 エミュレーション使用時の注意

- 本製品は、CAD アプリケーションでの使用を目的としています。ワープロ、表計算、フォトタッチ、ドローイング系のアプリケーションでは使用しないでください。
- CAD アプリケーションが独自のドライバーを持っていることがあります。そのときは、プリンターの操作部で印刷条件を設定してください。
- 「RP-GL/2 (Type1)」は DesignJet600 の HP-GL/2 の動作モードをエミュレーションしています。ただし、DesignJet600 に存在する「HP7586+GL/2 混在モード」は仕様が異なるため、完全にエミュレーションできません。したがって、「HP7586+GL/2 混在モード」と異なる動作をするときがあり、期待した印刷結果が得られないことがあります。GL-GL/2 切り替えモード時に RP-GL/2 または、RTL データを出力する場合に、うまく印刷できないときは、印刷条件の「プロッタ ID」を「RP-GL/2」に切り替えてみてください。
- HP-GL/2 は「圧縮データ方法」には、8bit と 7bit のモードがあります。RP-GL/2 もこれらの圧縮方法に対応しています。プリンタードライバーでは 8bit モードで圧縮しています。
- 線描画における終端形状と接合部形状の仕様は、コマンド体系処理モードによって次のように異なります。

線属性	RP-GL	RP-GL/2
終端形状	丸め	LA コマンドまたは印刷条件設定により、設定できます。
接合部形状	丸め	LA コマンドまたは印刷条件設定により、設定できます。

太い線幅で描画しているとき、[終端処理設定]、[接合部処理設定] の設定によっては正常に印刷されないことがあります。

[終端処理設定]、[接合部処理設定] は 0.35mm よりも太い線に有効です。

- GL-GL/2 切り替えモードでは、モードを切り替えたあとのペン位置の座標は常に原点 (0,0) です。
- GL-GL/2 切り替えモードでは、RP コマンドによるリプロット機能は無効です。
- 細線をハーフトーンで印刷するとき、描画位置によっては、実線が点線や破線になったり、線が描画されなかったりすることがあります。
- 印刷条件で「6.プロッタ ID」を「RP-GL/2」に変更したとき、RP-GL 用のデータを印刷させようとする、意図した印刷結果にならないことがあります。
- GL-GL/2 切り替えモード、RP-GL/2 モードにかかわらずプログラムを登録すると、登録した順にユーザーメモリースイッチ番号が設定されます。エミュレーション切り替えコマンド付きのデータを印刷する場合に、ユーザーメモリースイッチ番号が「1」となっているプログラム番号が希望するプログラム番号でないときは、希望するプロ

グラム番号のユーザーメモリースイッチ番号が「1」になるように設定してください。ユーザーメモリースイッチ番号は印刷条件を印刷して確認してください。＜プログラムキー登録状況＞の欄に印刷されます。印刷条件の印刷については、P.7「印刷条件リストを印刷する」を参照してください。

- 何種類かのプロッタ ID を使用し、プログラム登録するときは、プロッタ ID が「RP-GL/2」のプログラムを最初に登録しないでください。希望するプログラムで印刷されないことがあります。
- [プリンター初期設定] の [システム設定] タブにある [エミュレーション検知] が [しない] に設定されているとき、PJL コマンド「ENTER LANGUAGE=HPGL2」を受信すると、印刷条件の「6.プロッタ ID」が「RP-GL/2」で最初に登録されたプログラムに切り替わります。

ただし、起動しているプログラムが「RP-GL/2」のプログラムのときは、上記コマンドを受信しても、通常プログラムは切り替わりません。

- [プリンター初期設定] の [システム設定] タブにある [エミュレーション検知] を [する] に設定しているとき、起動しているプログラムにかかわらず、RPGL/GL2 で登録したプログラムに切り替わります。このとき、データによって起動するプログラムは以下のように異なります。
 - PJL コマンドがあるとき：印刷条件「6.プロッタ ID」が「RP-GL/2」に設定されたプログラムの中から、最初に登録されたプログラムが呼び出されます。「RP-GL/2」に設定されているプログラムがひとつもないときは、RP-GL/2 の初期値が呼び出されます。
 - PJL コマンドがないとき：印刷条件「6.プロッタ ID」の設定にかかわらず、RPGL/GL2 のユーザーメモリースイッチ番号「1」のプログラムが呼び出されます。RP-GL、RP-GL/2 で登録されているプログラムがひとつもないときは、RP-GL、RP-GL/2 の初期値が呼び出されます。
- CAD アプリケーションで漢字 ROM の「あり」または「なし」が選べるときは、CAD アプリケーションの設定を次のようにします。
 - 「あり」を選択したとき：漢字フォントを使用します。
 - 「なし」を選択したとき：漢字フォントを使用しません。
- CAD アプリケーションでステップサイズの設定があるときは、「0.025mm」に設定します。

↓ 補足

- ユーザーメモリースイッチ番号とは、プログラムが登録されるときにエミュレーションごとに自動的に「1」から連番をつけたもので、プログラムを登録した順番を表しています。印刷条件を印刷すると＜プログラムキー登録状況＞に記載されます。

印刷するための準備

Windows から使用する

2

1. 本機とパソコンが正しく接続されていることを確認します。
2. 本機に同梱の CD-ROM から、パソコンにプリンタードライバーをインストールします。
3. プリンターに取り付けたオプションをプリンタードライバーで設定します。
4. プリンタードライバーの設定画面を表示し、印刷に関する設定をします。

↓ 補足

- プリンタードライバーのインストール方法やオプションの設定については、『ドライバーインストールガイド』「プリンタードライバーをインストールする」を参照してください。
- CAD アプリケーション独自のドライバーを使用するときは、本機の操作部で印刷条件を設定してください。
- Windows の機能や操作については、Windows の説明書を参照してください。

プリンタードライバーの設定を保存/呼び出しする

印刷するデータや印刷のしかたに応じて最適な設定を保存しておくと、次に印刷するとき簡単に設定し直すことができます。

プリンタードライバーの設定内容を保存する

1. プリンタードライバーの設定画面を表示します。
2. プリンタードライバーを保存する状態に設定します。
3. [基本] タブの [設定の保存/呼び出し...] をクリックします。
4. [ファイル名:] ボックスに保存するファイル名を入力します。

設定ファイルの拡張子は「.rst」です。拡張子を入力しなくても、自動的に拡張子が付加されて保存されます。

5. [保存] をクリックします。

プリンタードライバーの設定内容を呼び出す

1. プリンタードライバーの設定画面を表示します。
2. [基本] タブの [設定の保存/呼び出し...] をクリックします。
3. 呼び出すファイルを選択します。

4. [呼出] をクリックします。

プリンタードライバーの設定内容を削除する

1. プリンタードライバーの設定画面を表示します。
2. [基本] タブの [設定の保存/呼び出し...] をクリックします。
3. 削除するファイルを選択します。
4. [削除] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。

RP-GL/2 ドライバーでできること

プリンタードライバーで設定できるおもな機能の説明です。

変倍して印刷する

作成した図面を拡大または縮小して印刷できます。

白黒で印刷する

ブラックインクだけを使って印刷できます。カラーの図面も白黒で印刷されます。

文字を画面どおりに印刷する

すべての文字をイメージに展開することで、画面表示に最も近い結果が得られます。

データを用紙の中央に印刷する

データを用紙の中央に印刷し、上下左右の余白を均等にできます。

ペンの設定を変更する

アプリケーションで使用している画面色と、それに対応するペンにペン幅、出力色、出力色微調整、ペン濃度を設定できます。

アプリケーションで使用している画面色と、それに対応するペンにペン幅、ペン濃度を設定できます。

画面色を作成する

RP-GL/2 プリンタードライバーでは、アプリケーションで使用している画面色にあわせた色彩の近い色が、各ペンに割り当てられます。選択できる画面色は、初期値で「White」、「Black」、「Blue」、「Red」、「Magenta」、「Green」、「Cyan」、「Yellow」の 8 色です。アプリケーションでほかの色を使用しているときは、画面色を作成して追加できます。

色を調整して印刷する

カラーマッチング、グレー印刷方式、明度、コントラスト、彩度、カラーバランスなどの機能で色を調整して印刷できます。

文字だけを黒ベタで印刷する

図面の文字だけを黒ベタで印刷できます。

線の終端、接合部の処理を設定する

線の終端、接合部の処理を設定できます。

文字や日付をスタンプのように重ねて印刷する

作成した図面に文字や日付をスタンプのように重ねて印刷できます。

スタンプを作成・編集する

新しくスタンプを作成したり、登録したスタンプを編集したりできます。文字列、スタンプ位置、色、フォント、文字サイズ、角度、濃度などが設定できます。

不定形サイズ用の紙に印刷する

不定形の用紙サイズや、用紙の余白を設定できます。

↓ 補足

- その他の機能や設定項目の機能説明は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- ヘルプの表示方法は、『プリンター』「ヘルプを表示する」を参照してください。

DOS/UNIX から使用する

1. パソコンで印刷に関する設定をします。
2. 本機の操作部でエミュレーションを「RPGL」に切り替えます。
3. CAD アプリケーションで設定したプロッターと本機の印刷条件「6.プロッタ ID」を合わせます。

「6.プロッタ ID」の設定により、RP-GL/2 の動作モードが設定されます。

4. 印刷領域やペン幅、ペン濃度などの印刷条件を設定します。

エミュレーション特有の印刷条件を設定できます。

また、[プリンター初期設定] の [システム設定 (EM)] タブで、[白紙排紙]、[自動排紙時間]、[不定形サイズ設定：給紙部 1]、[不定形サイズ設定：給紙部 2]、[水平補正初期値]、[垂直補正初期値] を設定できます。

5. 印刷するファイルをコマンドで送信します。

印刷コマンドの使用方法は、『付録』「Windows からファイルを直接印刷する」を参照してください。

印刷オプションの指定方法は、P.73 「印刷オプションを指定する」を参照してください。

↓ 補足

- パソコンでの印刷に関する設定については、使用している OS とアプリケーションの説明書を参照してください。

- エミュレーションの切り替えについては、P.5「エミュレーションを切り替える」を参照してください。
- [システム設定 (EM)] の設定項目については、『プリンター』『システム設定 (EM)』を参照してください。

RP-GL/2 の動作モード

2

RP-GL/2 の動作モードには GL-GL/2 切り替えモードと RP-GL/2 モードがあり、それぞれ次のように動作します。

★重要

- GL-GL/2 切り替えモードのとき、データによっては印刷部数を指定しても 1 部しか出力されないことがあります。そのときは、RP-GL/2 モードで印刷してください。

GL-GL/2 切り替えモード

送信されてきたコマンドによって、RP-GL と RP-GL/2 を自動的に切り替えます。

以下の環境のとき、このモードに設定することをお勧めします。

- RP-GL 出力だけの環境
- 複数のパソコン、CAD アプリケーションを使用しているときなど RP-GL 出力、RP-GL/2 出力が混在する環境

印刷条件の「6.プロッタ ID」が「7475A」、「7550A」、「7570A」、「7575A」、「7576A」、「7580B」、「7585B」、「7586B」、「7595A」、「7596A」のいずれかに設定されていると、このモードで動作します。

RP-GL/2 モード

RP-GL/2 のコマンド体系で動作します。

以下の環境のとき、このモードに設定することをお勧めします。

- RP-GL/2 出力だけの環境
- 切替コマンド (ESC%-1B) がない HP-GL/2 データを印刷するとき
- RP-GL/2 で印刷するアプリケーションで部数設定をするとき

印刷条件の「6.プロッタ ID」が「RP-GL/2」に設定されているとき、このモードで動作します。

↓補足

- 初期値は GL-GL/2 切り替えモードです。
- GL-GL/2 切り替えモードを使ったときに切り替えられる「RP-GL/2」のタイプは、印刷条件の「6.プロッタ ID」のサブメニュー「11. RP-GL/2」で最後に設定したタイプにしたがいます。たとえば、GL-GL/2 切り替えモードを使用した場合に、確実に「RP-GL/2 (Type1)」に切り替えるときは、印刷条件の「6.プロッタ ID」で「RP-GL/2

(Type1)」に設定後、再度「6.プロッタ ID」で RP-GL モードのプロッタを設定してから切り替えコマンドを使用します。

GL-GL/2 切り替えモードの動作について

2

印刷条件の「6.プロッタ ID」が「RP-GL/2」以外に設定されているとき、このモードで動作します。RP-GL と RP-GL/2 をコマンドにより自動的に切り替えて印刷します。

RP-GL から RP-GL/2 への切り替え

RP-GL/2 移行コマンド「ESC%#B」を受信すると、RP-GL/2 に切り替わり、受信したデータを RP-GL/2 エミュレーションのコマンド体系として処理します。このとき印刷データがあると、データを印刷排紙してから RP-GL/2 へ切り替わります。

RP-GL/2 移行コマンド「ESC%#B」の「#」は、「-1、0、1、2、3」のいずれかを指定します。

RP-GL/2 から RP-GL への切り替え

RP-GL/2 のとき、排紙コマンドで印刷データを排紙すると自動的に RP-GL に切り替わります。

切り替えコマンド

モード	コマンド	コマンド説明
RP-GL→RP-GL/2	ESC%#B	RP-GL/2 切り替えコマンド
RP-GL/2→RP-GL	PG RP	排紙コマンド
RP-GL/2→RP-GL	ESC.R ESC.K	デバイス制御コマンド
RP-GL/2→RP-GL	ESC%-12345X	PJL 切り替えコマンド

↓ 補足

- 「ESC%-12345X」を受信すると、PJL に切り替わります。
- PJL は HP 社の Printer Job Language のエミュレーションです。
- @PJL ENTER LANGUAGE=HPGL2 コマンドを受信すると、RP-GL/2 に切り替わります。

出力プロッターを設定する

CAD アプリケーションで設定したプロッターと、本機の印刷条件「6.プロッタ ID」を合わせます。

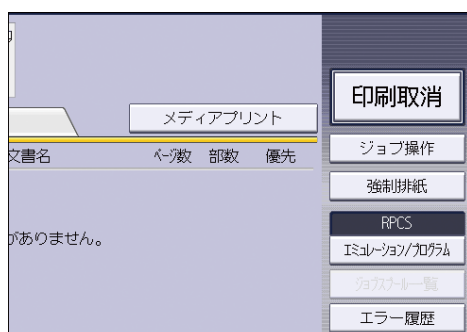
1. CAD アプリケーションで出力するプロッターを選択します。

設定方法は、CAD アプリケーションの説明書を参照してください。

2. 画面中央下の【ホーム】(🏠)を押します。

3. 【プリンター】アイコンを押します。

4. 【エミュレーション/プログラム】を押します。



5. 【呼出】を押してエミュレーションを選択し、【OK】を押します。

6. 【印刷条件】を押します。

7. 【プロッタ ID】を押します。

8. 【▲前へ】または【▼次へ】を押して目的のプロッター名を表示させて選択し、【OK】を押します。

CAD アプリケーションで「7475A」、「7550A」、「7570A」、「7575A」、「7576A」、「7580B」、「7585B」、「7586B」、「7595A」、「7596A」のいずれかを選択したときは、選択したプロッターと同じプロッターを選択します。

CAD アプリケーションで「DesignJet600」、「DesignJet650C」、「DesignJet700」、「DesignJet750C Plus」が選択できるときは、【RP-GL/2】を選択します。

9. 【RP-GL/2】を選択したときは、RP-GL/2 のタイプを選択し、【OK】を押します。

CAD アプリケーションで選択したプロッターと RP-GL/2 のタイプの関係は以下のとおりです。

プロッター	RP-GL/2 のタイプ	印刷色
DesignJet600	Type1	モノクロ
DesignJet650C	Type2	カラー
DesignJet700	Type3	モノクロ
DesignJet750C Plus	Type4	カラー

10. 【終了】を押します。

11. 【OK】を押します。

12. 画面中央下の【ホーム】()を押します。

↓ 補足

- 選択した「プロッタ ID」によって、本機の動作モードが異なります。P.27「RP-GL/2の動作モード」を参照してください。

印刷条件を設定する

印刷条件設定項目の一覧

本機の操作部で設定できる印刷条件の一覧については、P.32「印刷条件設定項目一覧表」を参照してください。

印刷条件の設定項目

RP-GL と RP-GL/2 では、印刷条件の設定項目が異なります。
各項目ページに記載されているマークは、それぞれ次の意味を表します。

マーク	説明
<input type="checkbox"/> GL <input type="checkbox"/> GL/2	RP-GL だけで有効です。
<input type="checkbox"/> GL <input checked="" type="checkbox"/> GL/2	RP-GL/2 だけで有効です。
<input checked="" type="checkbox"/> GL <input checked="" type="checkbox"/> GL/2	RP-GL、RP-GL/2 どちらも有効です。

5.座標軸回転

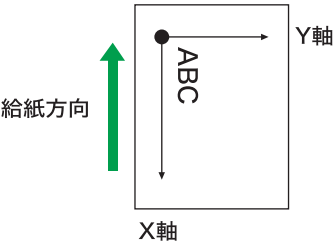
☐ GL ☒ GL/2

印刷時の用紙の座標軸の回転角度を設定します。座標軸は、用紙のセット方向によって決定します。

- 0°
- 90°
- 180°
- 270°

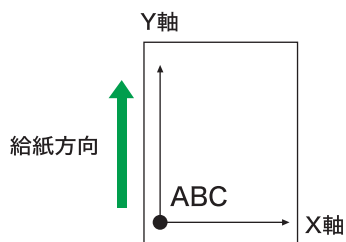
工場出荷時の設定：0°

0°のとき



CLW018

90°のとき



CLW019

↓ 補足

- RP-GL のときは 0 度回転、90 度回転しかできません。180 度に設定すると 0 度回転し、270 度に設定すると 90 度回転します。
- イメージデータの時、この機能は無効です。

6.プロッタ ID

GL GL/2

CAD アプリケーションで指定しているプロッターを設定します。座標系は設定しているプロッターに準じます。

- 7475A
- 7550A
- 7570A
- 7575A
- 7576A
- 7580B
- 7585B
- 7586B
- 7595A
- 7596A
- RP-GL/2

「RP-GL/2」を選択したときは、RP-GL/2 モードのタイプを選択できます。

- Type1

アプリケーション側で DesignJet600 相当を選択できるときに指定します。
モノクロで印刷されます。

- Type2

アプリケーション側で DesignJet650C 相当を選択できるときに指定します。カラーモードで印刷できます。

- Type3

アプリケーション側で DesignJet700 相当を選択できるときに指定します。

モノクロで印刷されます。

- Type4

アプリケーション側で DesignJet750C Plus 相当を選択できるときに指定します。

カラーモードで印刷できます。

工場出荷時の設定：7550A

↓ 補足

- RP-GL/2 を選択したときは RP-GL/2 モードになり、それ以外を選択したときは、GL-GL/2 切り替えモードで動作します。
- 7475A、7550A、RP-GL/2 は左下原点です。そのほかは中央原点です。
- コマンド自体は「HP7550A」準拠となっていますが、「7475A」、「7550A」を選択したときでも、漢字ストロークフォントが使用できます。
- RP-GL/2 切り替えモードと RP-GL/2 モードについては、P.27 「RP-GL/2 の動作モード」を参照してください。
- プロッタ ID の設定方法は、P.28 「出力プロッターを設定する」を参照してください。

7.X 原点補正

GL | GL/2

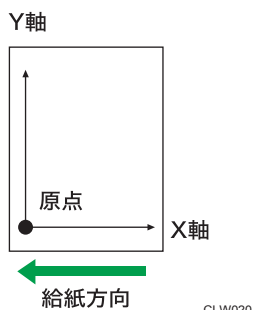
X 軸方向の原点の移動量を設定します。「-」で左方向に、「+」で右方向に移動します。

すでに図面枠が印刷されている用紙を使用するときの位置合わせに有効です。また、印刷した図面の端が切れるときなどに使用すると座標位置が変更されるため、正しく印刷できることがあります。

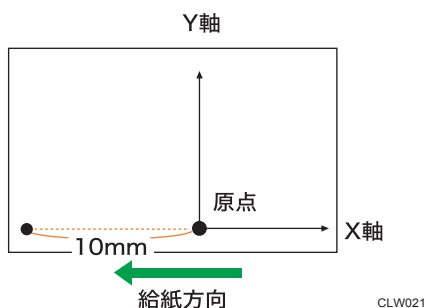
指定範囲は±199mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：0mm

X 方向が「0mm」のとき



X 方向が「+10mm」のとき



8.Y 原点補正

GL **GL/2**

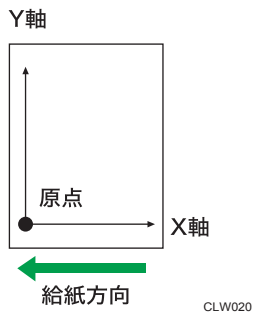
Y 軸方向の原点の移動量を設定します。「-」で下方向「+」で上方向に移動します。

すでに図面枠が印刷されている用紙を使用するときの位置合わせに有効です。また、印刷した図面の端が切れるときなどに使用すると座標位置が変更されるため、正しく印刷できることがあります。

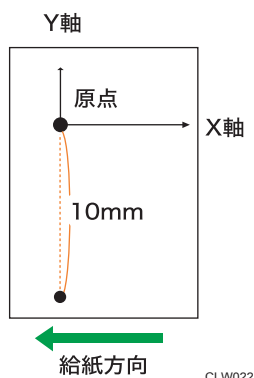
指定範囲は±199mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：0mm

Y 方向が「0mm」のとき



Y 方向が「+10mm」のとき



9.ペン 1 設定 - 16.ペン 8 設定/50.ペン 9 設定 - 57.ペン 0 設定

GL GL/2

ペン番号 0 番から 15 番のそれぞれのペンに描画される線幅、ペン濃度、ペン色を設定します。

ペンの番号は、RP-GL/2 のときは 0 番から 15 番まで、RP-GL のときは 1 番から 8 番までです。

- 線幅

ドット単位で線を作画しているため、指定した線幅と太さが異なることがあります。指定範囲は 0.00～12.0mm です。

- 濃度

指定範囲は 0～100% です。10%単位で設定します。

- ペン色

パレット番号で設定します。指定範囲は 0～255 です。

- 任意線幅 (mm)

任意の線幅を 0.01mm 単位で設定します。指定範囲は 0.00～100.00mm です。

- 任意線幅 (dot)

任意の線幅を 1 ドット単位で設定します。指定範囲は 0～2362 ドットです。

↓ 補足

- RP-GL/2 のときは、印刷条件「40.ペン設定選択」が「印刷条件」に設定されているときに有効です。
- 印刷条件「81.カラーモード」の設定が「カラー」に設定されているとき、ペン濃度の設定は無効です。
- 印刷条件「81.カラーモード」の設定が「モノクロ」に設定されているとき、ペン色の設定は無効です。

- パレット番号はカラーサンプルで確認します。カラーサンプルについては、P.62「カラーサンプルを印刷する」を参照してください。

17.SP コマンド

GL GL/2

「SP；」または「SP0；」のコマンドを受信したときに排紙するかどうかを設定します。

- 排紙する
コマンドを受信したときに排紙します。
- 排紙しない
コマンドを受信しても、次のデータを待ちます。

工場出荷時の設定：**排紙する**

↓ 補足

- SP コマンドは、ペン番号を指定するコマンドです。ここでは、SP コマンドに番号を指定するパラメーターがなかったとき、または 0 番が指定されたときの処理を選択してください。

18.IW コマンド

GL GL/2

IW コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。

- 有効
IW コマンドで指定された描画領域内を印字します。
- 無効
IW コマンドを受信しても、無効にします。

工場出荷時の設定：**有効**

↓ 補足

- IW コマンドは、印刷領域を X、Y 座標値で指定するコマンドです。

19.線パターン比率

GL GL/2

LT コマンドで指定される線パターン長の変倍の比率を設定します。

指定範囲は 20～255%です。1%単位で指定できます。

工場出荷時の設定：**100%**

20.変倍率

GL **GL/2**

印刷するときの縮小率または拡大率を指定します。

指定範囲は 20.0～400.0% です。0.1%単位で指定できます。

工場出荷時の設定：100%

縮小・拡大は座標原点を基にします。

変倍率を設定するときは、目安として次の表を参考にしてください。

データサイズ	用紙サイズ
A0	A0 : 100.0%、A1 : 71.0%、A2 : 50.0%、A3 : 35.0%、A4 : 25.0%
A1	A0 : 141.0%、A1 : 100.0%、A2 : 71.0%、A3 : 50.0%、A4 : 35.0%
A2	A0 : 200.0%、A1 : 141.0%、A2 : 100.0%、A3 : 71.0%、A4 : 50.0%
A3	A0 : 282.0%、A1 : 200.0%、A2 : 141.0%、A3 : 100.0%、A4 : 71.0%
A4	A0 : 400.0%、A1 : 282.0%、A2 : 200.0%、A3 : 141.0%、A4 : 100.0%
B1	A0 : 115.0%、A1 : 82.0%、A2 : 58.0%、A3 : 41.0%、A4 : 29.0%
B2	A0 : 163.0%、A1 : 115.0%、A2 : 82.0%、A3 : 58.0%、A4 : 41.0%
B3	A0 : 231.0%、A1 : 163.0%、A2 : 115.0%、A3 : 82.0%、A4 : 58.0%
B4	A0 : 328.0%、A1 : 231.0%、A2 : 163.0%、A3 : 115.0%、A4 : 82.0%

↓ 補足

- 以下の用紙サイズは、使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのときだけ印刷できます。
 - A0、B1

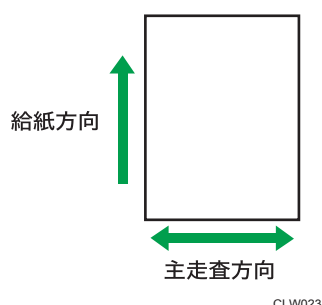
21.水平補正

GL **GL/2**

印刷するときの主走査方向（給紙方向に対しての垂直方向）の長さを補正します。

指定範囲は 99.00～101.00% です。0.01%単位で指定できます。

工場出荷時の設定：100.00%



↓ 補足

- この印刷条件の初期値は、[プリンター初期設定] の [システム初期設定 (EM)] タブにある、[水平補正初期値] の設定値です。[水平補正初期値] については、『プリンター』「プリンター初期設定」を参照してください。
- [水平補正] をプログラム登録したあとに [水平補正初期値] を変更しても、値は反映されません。

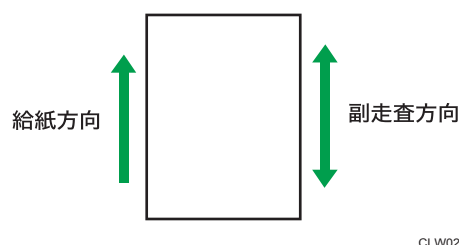
22. 垂直補正

GL **GL/2**

印刷時の副走査方向（給紙方向に対しての水平方向）の長さを補正します。

指定範囲は 99.00～101.00% です。0.01% 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：100.00%



↓ 補足

- この印刷条件の初期値は、[プリンター初期設定] の [システム初期設定 (EM)] タブにある、[垂直補正初期値] の設定値です。[垂直補正初期値] については、『プリンター』「プリンター初期設定」を参照してください。
- [垂直補正] をプログラム登録したあとに [垂直補正初期値] を変更しても、値は反映されません。

23. ハードクリップ

GL **GL/2**

用紙の印字領域を設定します。

- プロッタサイズ
印刷条件の「6.プロッタ ID」で設定したプロッターと同じ印字領域です。
- 標準サイズ
用紙の上下左右に約 5mm ずつ余白をとった印字領域です。
- 用紙サイズ
用紙サイズいっぱいを印字領域にするときに指定します。

工場出荷時の設定：用紙サイズ

↓ 補足

- 用紙の上下左右の端から 5mm の領域は印刷保証範囲外です。
- RP-GL/2 では「プロッタサイズ」に設定しても「標準サイズ」と同じ印字領域です。

24.給紙部

GL GL/2

使用する給紙部を設定します。「システムデフォルト」に設定したときは、現在選択されている給紙部から給紙されます。

設定値	選択される給紙部
給紙部 1：定形タテ	給紙部 1：定形サイズ□の給紙部
給紙部 1：定形ヨコ	給紙部 1：定形サイズ□の給紙部
システムデフォルト	現在選択されている給紙部
給紙部 1：不定形	給紙部 1：不定形サイズの給紙部
給紙部 2：定形タテ	給紙部 2：定形サイズ□の給紙部
給紙部 2：定形ヨコ	給紙部 2：定形サイズ□の給紙部
手差し給紙部	手差し給紙部
給紙部 2：不定形	給紙部 2：不定形サイズの給紙部

↓ 補足

- 給紙部が「システムデフォルト」に設定されているプログラムやエミュレーションに切り替わったとき、[システム初期設定] の [用紙設定] タブにある [給紙部優先設定：プリンター] で設定されている給紙部が選択されます。
- 「給紙部 2：定形タテ」、「給紙部 2：定形ヨコ」、「給紙部 2：不定形」は、給紙部 2 を装着しているときだけ表示されます。

25. リミットレス給紙

GL **GL/2**

印刷中の給紙部の用紙がなくなったとき、ほかの給紙部に自動的に切り替えるかどうかを設定します。

切り替え対象の給紙部は、同サイズ、同紙種の用紙がセットされている給紙部です。

- しない

給紙部の切り替えはしません。用紙を補給してください。

- する

プリンターが自動的に給紙部を切り替えます。

工場出荷時の設定：**しない**

↓ 補足

- 印刷条件「43.紙サイズ切替」の設定が「手動」になっているとき、リミットレス給紙は無効です。
- [プリンター初期設定] の [システム設定] タブにある [拡張リミットレス給紙] が [する] になっているとき、印刷条件で [しない] を設定していても、リミットレス給紙機能は有効です。

26. エンジン解像度

印刷する解像度を設定します。

- 600dpi

29. 自動変倍

GL **GL/2**

印刷条件の「47.原稿サイズ判定」と、「39.変倍余白補正」の設定によって、送信されたデータからプリンターが図面の大きさを判断し、選択されている給紙部の用紙サイズに収まるように自動的に縮小、拡大する機能です。

- しない

自動変倍しません。

- 自動 1

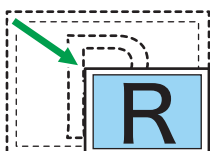
用紙に入りきる最大のサイズで印刷されるよう、図面を拡大、縮小、回転します。(RP-GL/2 のときは「自動 2」と同じ動作です。)

1. 印刷するデータが横長のときの例です。



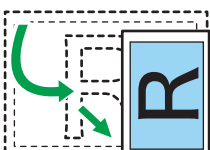
CLW053

2. 横長の用紙には変倍して印刷します。



CLW054

3. 縦長の用紙には、図面の方向と用紙の方向を合わせて、変倍します。



CLW055

• 自動 2

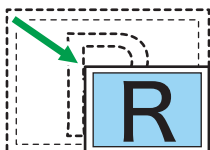
図面の回転をしないでセットされた用紙方向に収まるように変倍して印刷します。

1. 印刷するデータが横長のときの例です。



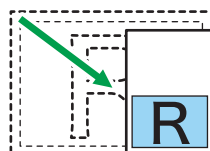
CLW053

2. 横長の用紙には変倍して印刷します。



CLW054

3. 縦長の用紙には、図面の方向を変更しないで、変倍して印刷します。



CLW056

工場出荷時の設定：しない

↓ 補足

- 印刷するデータサイズは印刷条件の「47.原稿サイズ判定」で選択されたサイズです。
- 「47.原稿サイズ判定」の設定が「PS/IP コマンド」に設定されているとき、RP-GL/2 で PS コマンドのないデータや、RP-GL で IP コマンドのないデータでは自動変倍できません。印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定を「作画」または「Auto」にしてください。
- RP-GL/2 の場合、印刷条件の「43.紙サイズ切替」が「手動」に設定されているとき有効です。
- RP-GL の場合、「43.紙サイズ切替」が「手動」または「自動」に設定されているとき有効です。
- RP-GL で自動変倍された結果と RP-GL/2 で自動変倍された結果では、変倍率が異なる場合があります。
- RP-GL のとき、印刷条件の「23.ハードクリップ」の設定によって変倍率が異なります。
- PS コマンドは、印字する用紙の大きさを縦と横の長さで設定するコマンドです。
- IP コマンドは、スケーリングポイントを指定するコマンドです。スケーリングポイントとは、ユーザーが独自に座標系を設定するときに参照する値です。

30.文字描画

GL GL/2

図面中の文字に使用するフォントを選択します。

- ストローク
- 明朝 L（明朝体 L アウトラインフォント）
- ゴシック B（ゴシック体 B アウトラインフォント）

工場出荷時の設定：ストローク

↓ 補足

- アプリケーション側では「ストロークフォント」を選択するか、文字コードで文字を扱う設定にします。文字コードで文字を扱えないアプリケーションのとき、ここでの設定は無効です。アプリケーションの説明書を参照してください。
- 特殊文字や記号を印刷するときは「ストローク」以外を選択してください。
- 補助漢字はコードで印刷できません。

39.変倍余白補正

GL GL/2

自動変倍に使用する用紙サイズの出紙端からの余白を指定します。

指定範囲は±50mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：0mm

印刷条件の「29.自動変倍」で「自動 1」と「自動 2」のどちらか、または「43.紙サイズ切替」で「全自動+変倍」を設定しているとき、この設定が有効です。

GL モードと GL/2 モードで用紙端の取り扱いが異なります。

- GL モード動作時

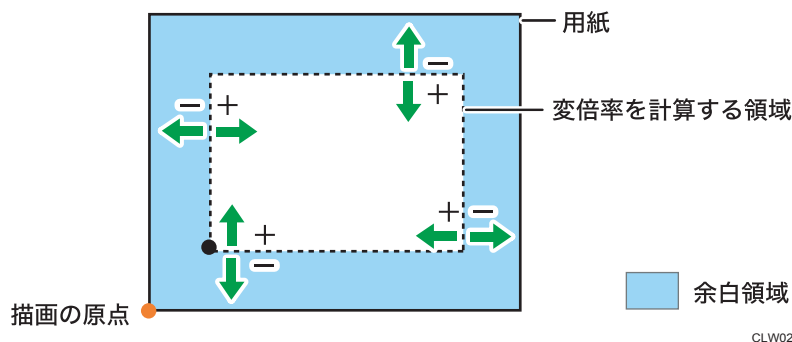
プラスの値を指定したとき、印刷条件の「23.ハードクリップ」で設定した位置の 10mm 内側から指定値分だけ小さなサイズとして扱います。

マイナスの値を指定したとき、印刷条件の「23.ハードクリップ」で設定した位置の 10mm 内側から指定値分だけ大きなサイズとして扱います。

- GL2 モード動作時

プラスの値を指定したとき、用紙端の 7mm 内側から指定値分だけ小さなサイズとして扱います。

マイナスの値を指定したとき、用紙端の 7mm 内側から指定値分だけ大きなサイズとして扱います。



左下原点のとき、描画の原点は印刷条件の「23.ハードクリップ」で指定された領域の左下隅です。

↓ 補足

- この印刷条件の設定値と印刷条件の「47.原稿サイズ判定」により、「29.自動変倍」や「43.紙サイズ切替」の「全自動+変倍」変倍時の基準サイズが決定します。
- 印刷条件の「47.原稿サイズ判定」で判定された用紙サイズと、この印刷条件の設定値により計算された値が 1mm より小さくなるときは、1mm として計算されます。
- 印刷条件の「47.原稿サイズ判定」で判定された用紙サイズと、この印刷条件の設定値により計算された値により求められる変倍率には上限があります。
 - 印刷条件の「43.紙サイズ切替」で [全自動+変倍] 設定しているとき：100.0%
 - それ以外のとき：400.0%（自動変倍の上限）

40.ペン設定選択

GL **GL/2**

ペンの設定をアプリケーションからコマンドで設定するか、印刷条件で設定するかを選択します。

- ソフトウェア
アプリケーションの設定が有効になります。
- 印刷条件
印刷条件の設定が有効になります。

工場出荷時の設定：ソフトウェア

↓ 補足

- ペンの設定については、P.37 「9.ペン 1 設定 - 16.ペン 8 設定/50.ペン 9 設定 - 57.ペン 0 設定」を参照してください。

41.マージコントロール

GL **GL/2**

図形の重ね合わせの処理を設定します。

- ON
図形は、重ね合わせ（or）で処理されます。
- OFF
図形は、置き換え（replace）で処理されます。

工場出荷時の設定：OFF

↓ 補足

- MC コマンドを受信したときは MC コマンドの設定が有効です。

42.ミラー

GL **GL/2**

ミラー印刷するかどうかを設定します。

- ON
- OFF

工場出荷時の設定：OFF

43.紙サイズ切替

GL **GL/2**

印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定により判定されたサイズ用の用紙がセットされている給紙部を、自動選択するかしないかを設定します。

- 手動

給紙部を自動選択しません。

- 自動

印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定によって用紙サイズを判断し、データの長辺の長さから給紙部を自動選択します。

- 全自動

印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定によって用紙サイズを判断し、データの長辺と短辺の両方のサイズから、給紙部を自動選択します。

RP-GL/2 のとき、イメージデータを、必要に応じて用紙に収まるように回転して印刷できます。

また、印刷条件の「20.変倍率」の設定が「100.0%」以外のときに、給紙部を自動選択するときも「全自動」に設定します。

- 全自動+変倍

印刷する用紙サイズを以下の設定値から選択して設定します。使用している機種に対応した用紙サイズだけが指定した用紙サイズで印刷できます。

- A3、B4、A4、A2、A1、A0、A3/等倍、B4/等倍、A4/等倍、A2/等倍、B3/等倍、A1/等倍、B2/等倍、A0/等倍、B1/等倍、B3、B2、B1、LT/等倍、DL/等倍、LG/等倍、12×18/等倍、9×12/等倍、36×48/等倍、34×44/等倍、30×42/等倍、24×36/等倍、22×34/等倍、21×30/等倍、18×24/等倍、17×22/等倍、LT、DL、LG、12×18、9×12、36×48、34×44、30×42、24×36、22×34、21×30、18×24、17×22、15×20/等倍、8¹/₂×13²/₅/等倍、15×20、8¹/₂×13²/₅

以下の用紙サイズは、使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのときだけ選択できます。

- A0、A0/等倍、B1、B1/等倍、36×48、36×48/等倍、34×44、34×44/等倍、30×42、30×42/等倍、21×30、21×30/等倍

印刷条件の「47.原稿サイズ判定」と「39.変倍余白補正」の設定により、データの長辺と短辺の両方のサイズから、設定した用紙サイズへの変倍率を判断して、給紙部を自動選択します。

- 「/等倍」の表示がない設定値を選択したとき

データのサイズが設定した用紙サイズより大きいとき、用紙に合わせて縮小して印刷されます。

データのサイズが設定した用紙サイズより小さいとき、設定値に「/等倍」があるかないかで動作が異なります。

設定値	送信データサイズ	結果
A1	A2	A2 データが A1 サイズに等倍で印刷されます。
A1/等倍	A2	A2 サイズの用紙が自動選択されて等倍で印刷されます。

• 全自動カット

印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定により、送信されてきたデータのサイズと変倍率から判断し、自動で不定形サイズを含んだ給紙部を検索します。

給紙部の検索は定形サイズを優先します。データサイズにおさまる定形サイズがないか、データサイズにサブメニューで選択した値を加えたサイズより定形サイズが大きいときは、不定形サイズが選択されます。不定形サイズが選択されたときは、余白がもっとも少なくなる給紙部を使用します。

サブメニューの値は、定形・不定形サイズをともに使用しているときに、定形サイズより多少小さめのデータを定形サイズの用紙に印刷するときなどに指定します。定形サイズより多少小さめのデータとは、印刷データサイズが、定形サイズ-150mm 以内のデータを指します。このため、サブメニューの値を大きくすると定形サイズが選択されやすくなります。

工場出荷時の設定：全自動

↓ 補足

- RP-GL/2 では「手動」、「自動」、「全自動」、「全自動+変倍」、「全自動カット」の設定値が有効です。
- RP-GL では「全自動」、「全自動+変倍」、「全自動カット」の設定値が有効です。「手動」、「自動」の設定値は対応していません。「手動」または「自動」に設定したときは、現在選択されている給紙部から印刷されます。
- RP-GL/2 で「手動」または「自動」に設定しているとき、印刷条件の「5.座標軸回転」の設定は有効です。また、用紙を横給紙方向にセットすると、正常に印刷されないことがあります。
- 「全自動+変倍」に設定しているとき、印刷条件の「20.変倍率」の設定は無効になります。
- 印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定が「PS/IP コマンド」に設定されているとき、RP-GL/2 で PS コマンドのないデータや、RP-GL で IP コマンドのないデータでは給紙部を自動的に切り替えて印刷できません。印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定を「作画」または「Auto」にしてください。
- PS コマンドは、印字する用紙の大きさを縦と横の長さで設定するコマンドです。
- IP コマンドは、スケーリングポイントを指定するコマンドです。スケーリングポイントとは、ユーザーが独自に座標系を設定するときに参照する値です。
- アプリケーションで作成した GL/GL2 データを出力するとき、想定したサイズとは異なって出力されることがあります。定形サイズのデータを出力するときは、「手動」、

「自動」、「全自動」のいずれかに設定するか、「全自動カット」のサブメニュー値を変更し定形サイズとして検知できるように設定してください。

- 不定形サイズのデータを出力するときは、「手動」または「全自動カット」を選択してください。
- 「自動」、「全自動」、「全自動変倍」、「全自動カット」に設定しているとき、「46.給紙部切替紙種」で選択した用紙種類の給紙部だけが選択の対象となります。設定以外の紙種の給紙部や手差し給紙部は選択の対象となりません。
- RP-GL/2 データを選択しているとき、印刷条件の有効な組み合わせは次のとおりです。

	手動	自動	全自動	全自動+変倍	全自動カット
20.変倍率	OK	OK	OK	-	OK
5.座標軸回転	OK	OK	-	-	-
29.自動変倍	OK	-	-	-	-

- RP-GL データを選択しているとき、印刷条件の有効な組み合わせは次のとおりです。

	手動	自動	全自動	全自動+変倍	全自動カット
20.変倍率	OK	OK	OK	-	OK
5.座標軸回転	OK	OK	-	-	-
29.自動変倍	OK	OK	-	-	-

- 「43.紙サイズ切替」の設定方法は、P.67「給紙部を自動選択する」を参照してください。

44.イメージ濃度

GL **GL/2**

イメージデータの印刷濃度を設定します。

- うすく
- こく

工場出荷時の設定：うすく

↓ 補足

- イメージ濃度の設定は、印刷条件の「6.プロッタ ID」の設定が「RP-GL/2 (Type1)」以外に設定されているときは無効です。





45.線属性設定

GL **GL/2**

印刷時の線の終端処理と線の接合部の処理を設定します。

• 45-1.終端処理

線の終端の処理

設定値	処理結果
角タイプ	
三角タイプ	
丸タイプ	
処理なし	

- 指定なし
終端処理を指定しません。
- 角タイプ
線の端から、線幅の半分だけ長く描画されます。
- 三角タイプ
線の端から、線幅の半分の高さの三角形が描画されます。
- 丸タイプ
線の端に、線幅を直径とする半円が描画されます。
- 処理なし
終端の処理はしません。

工場出荷時の設定：指定なし

• 45-2.接合処理

線の接合部の処理

設定値	処理結果
延長タイプ	

設定値	処理結果
延長／斜めタイプ	
三角タイプ	
丸タイプ	
斜めタイプ	
処理なし	

- 指定なし
接合処理を指定しません。
- 延長タイプ
2本の直線の延長が交差するまで、外側の辺を延長します。
- 延長／斜めタイプ
延長部分が長くなり過ぎるときは斜めタイプで処理され、短いときは延長タイプで処理されます。
- 三角タイプ
2本の線の終端から線幅の半分の高さでとがった形にします。
- 丸タイプ
線幅を直径とする半円を描画します。
- 斜めタイプ
2本の直線の外側の辺を結びます。
- 処理なし
接合部の処理はしません。

工場出荷時の設定：指定なし

↓ 補足

- 太い線幅で描画しているとき、[終端処理]、[接合処理] の設定によっては、正常に印刷されないことがあります。
- 線幅が 0.35mm よりも太い線のとき有効です。
- 線幅が 0.35mm 以下の線のときは、「終端処理」と「接合処理」は「丸タイプ」で処理します。
- 印刷条件で「指定なし」以外の項目が指定されているとき、LA コマンドにより線属性の指定は無効です。LA コマンドが有効になるのは、印刷条件の「終端処理」と「接合処理」がともに「指定なし」のときだけです。
- 線属性の各サブメニューの設定が「指定なし」のときの初期設定（標準値）は、終端処理は「処理なし」、接合処理は「延長タイプ」です。
- アプリケーションによっては、設定が有効にならない場合があります。

46. 給紙部切替紙種

GL GL/2

印刷条件「43. 紙サイズ切替」によって給紙部を自動選択するときに、検索の対象とする用紙種類を設定します。

- 普通紙
- トレーシングペーパー
- 再生紙
- インクジェット普通紙
- 特殊紙
- マットフィルム
- コート紙（CAD）
- コート紙
- 薄紙

工場出荷時の設定：**普通紙**

47. 原稿サイズ判定

GL GL/2

原稿サイズの判定方法を選択します。

判定した原稿サイズは、印刷条件の「29. 自動変倍」、「43. 紙サイズ切替」、「49. センタリング」の処理をするときの基準サイズです。

- PS/IP コマンド

RP-GL のとき、描画データ中の IP コマンドで指定した範囲が原稿サイズです。

RP-GL/2 のとき、描画データ中の PS コマンドで指定した範囲が原稿サイズです。

- 作画

描画した全領域を、原稿サイズとします。

- Auto

PS/IP コマンドがあるかないかで、自動的に原稿サイズを判定します。

- RP-GL のとき：

描画データ中に IP コマンドがあるときは、IP コマンドで原稿サイズを判定します。

描画データ中に IP コマンドがないときは、内部的に「作画」で動作します。

- RP-GL/2 のとき：

描画データ中に PS コマンドがあるときは、PS コマンドで原稿サイズを判定します。

描画データ中に PS コマンドがないときは、内部的に「作画」で動作します。

工場出荷時の設定：Auto

↓ 補足

- 印刷条件の「18.IW コマンド」が「有効」のとき、IW コマンドで指定された領域外のデータは原稿サイズには含まれません。
- ペンの中心で描画領域を判定します。線幅、線属性は考慮しません。
- アウトラインフォント描画のとき、フォントセルが描画領域です。
- 「Auto」を選択時、PS/IP コマンドが用紙サイズを指定していない描画データでは、意図した用紙サイズが選択できません。そのときは、「作画」を選択してください。

48.原稿サイズマージン

GL **GL/2**

「47.原稿サイズ判定」で決定されたサイズを調整します。目的のサイズより大きいサイズ用の用紙が選択されたときは、[+] 方向に調整し、逆に小さいサイズの用紙が選択されたときは [-] 方向に調整します。

指定範囲は±99mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：1mm

↓ 補足

- 印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定を「作画」にしたときにだけ有効です。

49. センタリング

GL **GL/2**

図面の印刷領域の中心と用紙の中心を合わせて用紙の中央に印刷できます。

- しない
センタリングしません。
- する
センタリングします。
 - 全領域
図面全体を印刷領域としてセンタリングします。
 - プラス領域
図面の座標原点位置を左下としたときの X 軸、Y 軸のプラス領域を印刷領域としてセンタリングします。

工場出荷時の設定： **しない**

↓ 補足

- 図面の中心は、印刷条件の「47.原稿サイズ判定」と、「39.変倍余白補正」で設定された値により調整されたサイズによる印刷領域の中心です。
- 用紙の中心は、印刷条件の「23.ハードクリップ」で設定された印刷領域の中心です。
- 印刷条件の「47.原稿サイズ判定」に「PS/IP コマンド」が設定されているときで、描画中のデータに RP-GL/2 は PS コマンド、RP-GL は IP コマンドがないときは、センタリングの機能は無効です。
- 「プラス領域」の設定は、印刷条件の「6.プロッタ ID」に「7475A」、「7550A」、または「RP-GL/2」を設定し、「47.原稿サイズ判定」に「作画」または「Auto」を設定したとき有効です。
- 印刷条件の「20.変倍率」、「29.自動変倍」または「43.紙サイズ切替」の設定によって変倍するとき、変倍処理した図面をセンタリングします。
- 印刷条件の「5.座標軸回転」、「29.自動変倍」または「43.紙サイズ切替」の設定によって回転するとき、回転処理した図面をセンタリングします。
- センタリング処理をしたあとに、印刷条件の「7.X 原点補正」、「8.Y 原点補正」で設定した補正量分移動します。
- 印刷条件の「43.紙サイズ切替」で「全自動カット」を設定して、不定形サイズが選択されたとき、原稿サイズがそのまま用紙サイズとなるため、「する」に設定されていても、印字結果はセンタリングされたようには見えないことがあります。

81. カラーモード

GL **GL/2**

カラーモードを選択します。

- カラー
- モノクロ

工場出荷時の設定：カラー



- 「6.プロッタ ID」で「RP-GL/2 (Type1、Type3)」が選択されているとき、この項目での設定にかかわらずモノクロで印刷されます。

2

83. グレー印刷処理

GL **GL/2**

画像の黒またはグレー部分の印刷方法を選択します。

- 自動

線画や文字は、黒インク 1 色で印刷されます。イメージデータは、使用する色が白または RGB 値がすべて 255 のとき、黒または RGB 値がすべて 0 のとき、グレーまたは RGB 値がすべて同一の値のときに黒インク 1 色で印刷されます。それ以外のときは CMYK4 色で印刷されます。

- CMYK

図面の黒とグレーを CMYK4 色で印刷します。

- CMY

図面の黒とグレーを CMY3 色で印刷します。

- 黒一色

図面の黒とグレーを黒インク 1 色で印刷します。CMYK を使って黒を表現するとき比べ、色味や光沢が抑えられ、純粋な黒色を再現できます。

工場出荷時の設定：自動



- グレー印刷処理の設定は、印刷条件「81.カラーモード」の設定が「カラー」に設定されているときに有効です。
- 使用しているアプリケーションや印刷データによっては、設定内容が反映されないことがあります。たとえば、「黒一色」を選択して黒またはグレー部分を黒インクで印刷しようとしても、CMYK4 色で印刷されることがあります。
- 「CMYK」を選択したとき、アプリケーションや印刷データによってはオブジェクトの重なり部分が正しく印刷されないことがあります。このときは、「CMY」を選択してください。
- 「CMY」を選択したとき、色味がかって印刷されることがあります。また、塗りつぶしや線画で CMY3 色が重なった部分は、黒インクで印字します。このとき、細かいパターンが印字されることがあります。

- 「グレー印刷処理」の設定方法は、P.66 「色やグレースケールを調整して印刷する」を参照してください。

85.画質調整

GL **GL/2**

色の明度・彩度またはグレースケールの明度を設定します。

- 85-1.明度

明るさを調整します。明度を上げると、明るさが増します。±50 の範囲で設定できます。

工場出荷時の設定：0

- 85-2.彩度

色の鮮やかさを調整します。彩度を上げると鮮やかな色になり、彩度を下げるとグレーに近づき色の深みが増します。±50 の範囲で設定できます。

工場出荷時の設定：0

↓ 補足

- ベクターデータの白色、黒色部位は無効です。
- イメージデータの白黒2値イメージと、白色、黒色部位は無効です。
- 印刷条件の「6.プロッタ ID」で「RP-GL/2 (Type1)」に設定しているとき、ベクターデータにだけ有効です。
- 「85.画質調整」の設定方法は、P.66 「色やグレースケールを調整して印刷する」を参照してください。

86.印刷品質

GL **GL/2**

印刷品質を設定します。

- 高速
- 標準
- きれい
- 高速モード（線画）

工場出荷時の設定：高速モード（線画）

↓ 補足

- 普通紙、再生紙、インクジェット普通紙、薄紙、コート紙（CAD 用）以外の用紙を用紙種類に選択したとき、工場出荷値は「高速」になります。

87.インクセーブ

GL GL/2

インクの消費を抑えて印刷するかどうかを設定します。インクの消費を抑えて印刷するときは、その割合を設定します。

- 通常

インクセーブは行わず、通常の濃さで印刷します。

- やや薄い

「通常」に比べて 75%の濃さで印刷します。

- 薄い

「通常」に比べて 50%の濃さで印刷します。

- インクセーブ詳細

印刷条件の「88.インクセーブ詳細」で設定した値で印刷します。

工場出荷時の設定：通常

↓ 補足

- 「通常」、「やや薄い」、「薄い」を選択したとき、文字以外のオブジェクトにインクセーブをします。
- 設定を変更すると、印刷がかすれたり、細い線が印刷されなかったりすることがあります。
- 印刷条件「6.プロッタ ID」を「RP-GL/2」の「Type1」に設定しているとき、イメージデータにはインクセーブが無効です。
- 設定を変更しても、データによっては結果が変わらないことがあります。

88.インクセーブ詳細

GL GL/2

インクの消費を抑える割合をオブジェクトごとに設定します。設定できるオブジェクトの種類は、「イメージ」、「塗り」、「線」、「文字」です。ここで設定した内容は、印刷条件の「87.インクセーブ」で「インクセーブ詳細」が設定されているときに有効です。

- 通常

インクセーブは行わず、通常の濃さで印刷します。

- やや薄い

「通常」に比べて 75%の濃さで印刷します。

- 薄い

「通常」に比べて 50%の濃さで印刷します。

工場出荷時の設定：通常

↓ 補足

- 設定を変更すると、印刷がかすれたり、細い線が印刷されなかったりすることがあります。
- 印刷条件「6.プロット ID」を「RP-GL/2」の「Type1」に設定しているとき、イメージデータにはインクセーブが無効です。
- 設定を変更しても、データによっては結果が変わらないことがあります。

93.横給紙処理

GL **GL/2**

縦給紙方向にセットされた用紙に印刷するように作成したデータを横給紙方向にセットされた用紙に印刷するとき、用紙のセット方向に合わせて、データを回転して印刷するかどうかを設定します。

- する
印刷データを回転して印刷します。
- しない
印刷データを給紙部にセットされている用紙方向に合わせないで、そのまま印刷します。

工場出荷時の設定：しない

↓ 補足

- 印刷条件「43.紙サイズ切替」の設定が「手動」または「自動」になっているときに有効です。
- 縦給紙方向にセットされている用紙に印刷するとき、この設定は無効です。
- 横給紙方向にセットされた用紙にしか正常に印刷できないデータを印刷するときは、この印刷条件を「しない」に設定するか、印刷条件「5.座標軸回転」の設定を「90°」にしてください。

95.上端余白

GL **GL/2**

印刷するデータの上端に付加する余白を設定します。

印刷条件の「43.紙サイズ切替」を「全自動カット」に設定して、不定形サイズの設定されている給紙部が選択されたときに有効です。

指定範囲は 0～200mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：0mm

↓ 補足

- 図面の長さ、上端余白、下端余白の合計が、本機で印刷できる最大の用紙長を超えたときは、余白を付加しません。

96. 下端余白

GL GL/2

印刷するデータの下端に付加する余白を設定します。

印刷条件の「43.紙サイズ切替」を「全自動カット」に設定して、不定形サイズの設定されている給紙部が選択されたときに有効です。

指定範囲は 0～200mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：0mm

↓ 補足

- 図面の長さ、上端余白、下端余白の合計が、本機で印刷できる最大の用紙長を超えたときは、余白を付加しません。

97. 左端余白

GL GL/2

印刷するデータの左端に付加する余白を設定します。

印刷条件の「43.紙サイズ切替」を「全自動カット」に設定して、不定形サイズの設定されている給紙部が選択されたときに有効です。

指定範囲は 0～200mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：0mm

↓ 補足

- 図面の幅と、左端余白、右端余白の合計が、本機で印刷できる最大の用紙幅を超えたときは、余白を付加しません。

98. 右端余白

GL GL/2

印刷するデータの右端に付加する余白を設定します。

印刷条件の「43.紙サイズ切替」を「全自動カット」に設定して、不定形サイズの設定されている給紙部が選択されたときに有効です。

指定範囲は 0～200mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：0mm

↓ 補足

- 図面の幅と、左端余白、右端余白の合計が、本機で印刷できる最大の用紙幅を超えたときは、余白を付加しません。

99.不定形印字位置

GL **GL/2**

不定形サイズで印刷するデータの位置を設定します。

印刷条件の「43.紙サイズ切替」を「全自動カット」に設定して、不定形サイズの設定されている給紙部が選択されたときに有効です。

- 中央
- 右寄せ
- 左寄せ

工場出荷時の設定：**左寄せ**

101.画像の向き

GL **GL/2**

印刷オプション指定コマンドで後処理を指定したときの向きを設定します。

- 左 90 度回転画像
- 0 度回転画像
- 右 90 度回転画像
- 180 度回転画像

工場出荷時の設定：**左 90 度回転画像**

↓ 補足

- 印刷オプション指定コマンドについては、P.78「印刷オプション指定コマンド」を参照してください。

102.印刷部数指定優先

GL **GL/2**

印刷部数をソフトウェアコマンドで指定するか、操作部で指定するかどうかを設定します。

- ソフトウェア優先
ソフトウェアコマンドの印刷部数指定を優先します。
- 機器側設定優先

操作部の印刷部数指定を優先します。

工場出荷時の設定：ソフトウェア優先

↓ 補足

- 「ソフトウェア優先」に設定しても、ソフトウェアから送信した描画データ内に、印刷部数指定コマンドが含まれていないときは操作部の印刷部数指定が優先されます。
- 操作部から印刷部数を設定する方法は、P.18「印刷部数を設定する」を参照してください。

2

103.優先用紙方向

GL GL/2

印刷条件「43.紙サイズ切替」で「全自動」、「全自動+変倍」、または「全自動カット」を指定したときに、優先する用紙の方向を設定します。

- ヨコ置き用紙優先
- タテ置き用紙優先

工場出荷時の設定：ヨコ置き用紙優先

印刷する





いろいろな印刷方法を説明します。

2

カラーサンプルを印刷する

カラーサンプルを印刷すると、印刷条件でペン色を指定するときの指定値や、色を調整したときの結果を確認できます。

エミュレーションが RP-GL/2 になっていることを確認してから、操作してください。

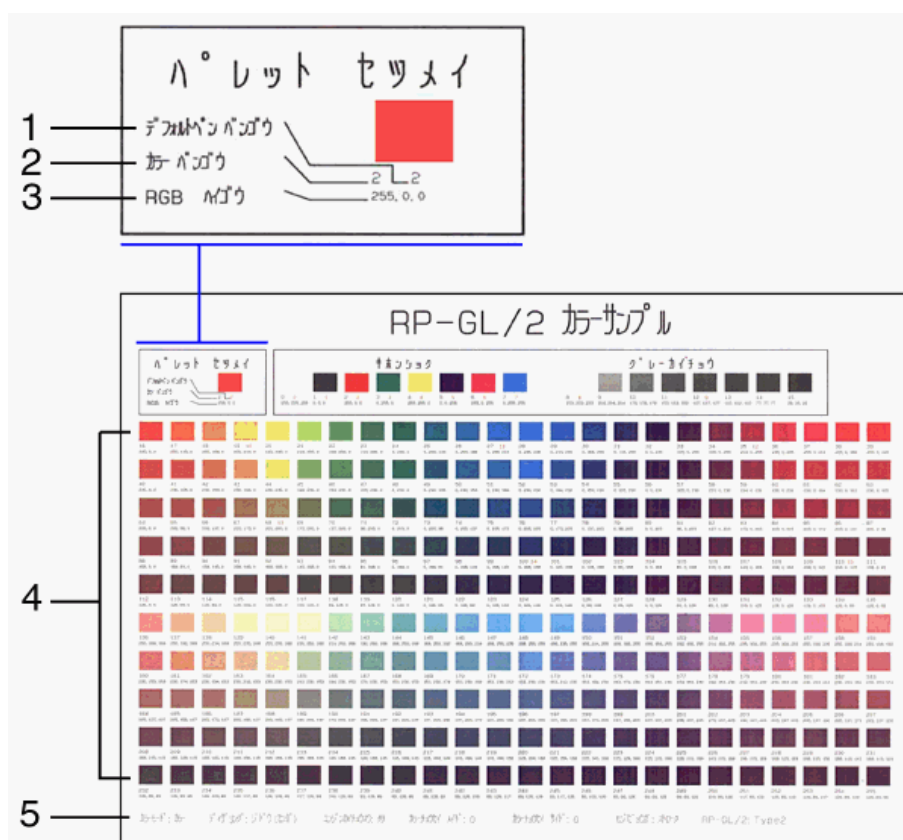
1. 画面中央下の【ホーム】()を押します。
2. 左にフリックし、【初期設定】アイコン()を押します。
3. 【本体初期設定】を押します。
4. 【プリンター初期設定】を押します。
5. 【テスト印刷】タブが表示されていることを確認し、【カラーサンプル】を押します。
6. 画面右上の【初期設定】()を押します。
7. 画面中央下の【ホーム】()を押します。

↓ 補足

- カラーサンプルを印刷するときは、A4 サイズの用紙を選択することをお勧めします。
- 現在選択されている給紙部から給紙します。
- カラーサンプルを使ってペン色を指定する方法は、P.64「操作部でペン色を指定して印刷する」を参照してください。

カラーサンプルの見かた

カラーサンプルには操作部で指定できる色のパレットが一覧で印刷されます。パレットは 256 パターンあります。



1. デフォルトペンバンゴウ

印刷条件「9.ペン1設定」～「16.ペン8設定」、「50.ペン9設定」～「57.ペン0設定」のペン番号です。ペン番号が表示されているパレットは、各ペン設定の工場出荷時の色（設定内容）です。上のサンプルでは「2」と表示されているため、パレットは「10.ペン2設定」の工場出荷時の色です。

工場出荷時の色以外のパレットには、「デフォルトペンバンゴウ」は表示されません。

2. カラーバンゴウ

印刷条件「9.ペン1設定」～「16.ペン8設定」、「50.ペン9設定」～「57.ペン0設定」の「ペン色」で設定するペン番号です。設定方法はP.64「操作部でペン色を指定して印刷する」を参照してください。

3. RGB ハイゴウ

パレットの色に含まれるR（赤：Red）、G（緑：Green）、B（青：Blue）の3色の割合が0（黒）～255（白）で表示されます。色の割合は指定できません。

4. パレット

操作部で指定できる色のパレットです。

5. 現在の設定内容

カラーサンプルを印刷したときの色の調整項目と設定内容が表示されます。以下の設定項目が表示されます。

- カラーモード
- 画質調整
- 文字描画
- プロッタ ID

2

操作部でペン色を指定して印刷する

アプリケーションで使用しているペン番号に対応するペン色を、操作部で指定できます。エミュレーションが RP-GL/2 になっていることを確認してから、操作してください。ペン 1 の設定を例に説明します。

1. カラーサンプルを印刷します。

カラーサンプルの印刷方法は、P.62「カラーサンプルを印刷する」を参照してください。

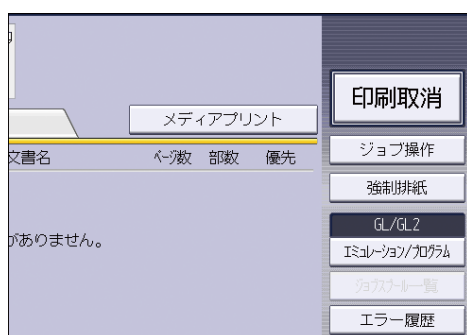
2. 印刷したカラーサンプルを確認して、設定するペン色の指定値を決めます。

指定するペン番号は、パレットの「カラーバンゴウ」に表示されている数値です。

3. 画面中央下の【ホーム】(🏠)を押します。

4. 【プリンター】アイコンを押します。

5. 【エミュレーション/プログラム】を押します。



6. 【印刷条件】を押します。

7. 【ペン 1 設定】を押します。

8. 【ペン 1 色】を押します。

9. テンキーで数値を変更します。

10. 【OK】を押します。

11. 【閉じる】を押します。

12. すべての設定が終わったら、【終了】を押します。

13. [OK] を押します。

14. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

15. パソコンから印刷を指示します。

↓ 補足

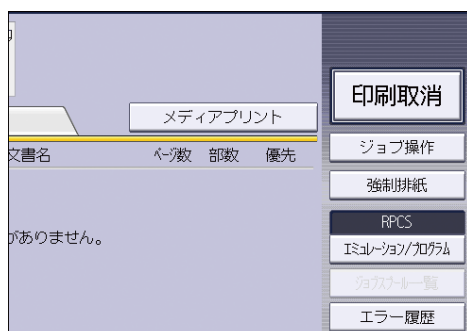
- 「81.カラーモード」が「カラー」に設定されているときに有効です。
- RP-GL/2 の場合、ペン色の設定は「40.ペン設定選択」が「印刷条件」に設定されているときに有効です。
- カラーサンプルの印刷方法は、P.62「カラーサンプルを印刷する」を参照してください。
- カラーサンプルの見かたについては、P.62「カラーサンプルの見かた」を参照してください。

2

モノクロで印刷する

黒インクだけを使って印刷します。カラーの画像もモノクロで印刷されます。

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。
2. [プリンター] アイコンを押します。
3. [エミュレーション/プログラム] を押します。



4. エミュレーションを RP-GL/2 に切り替えます。
5. [印刷条件] を押します。
6. [カラーモード] が表示されるまで [▼次へ] を押します。
7. [カラーモード] を押します。
8. [モノクロ] を押します。
9. [OK] を押します。
10. [終了] を押します。

11. [OK] を押します。

12. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

13. パソコンから印刷を指示します。

↓ 補足

- 白黒の画像をカラー印刷したとき、黒の部分は CMYK のインクを使って印刷されることがあります。よりはっきりとした黒色を再現するために、白黒の画像はモノクロモードで印刷することをお勧めします。
- アプリケーションでモノクロ印刷を指定したときは、「81.カラーモード」で必ず「モノクロ」を選択してください。「カラー」を選択すると、黒色の部分が CMYK のインクを使って印刷されることがあります。

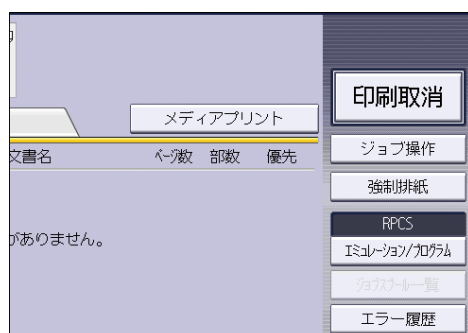
色やグレースケールを調整して印刷する

調整項目には、グレー印刷処理、画質調整があります。これらの項目を調整して印刷すると、よりよい印刷結果が得られます。

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

2. [プリンター] アイコンを押します。

3. [エミュレーション/プログラム] を押します。



4. エミュレーションを RP-GL/2 に切り替えます。

5. [印刷条件] を押します。

6. [カラーモード] が表示されるまで [▼次へ] を押します。

7. [カラーモード] を押します。

8. [カラー] を押して、[OK] を押します。

9. [グレー印刷処理]、[画質調整] など、色の調整をします。

[グレー印刷処理] の設定は、[カラーモード] と同様の手順で設定します。

[画質調整] は [明度] または [彩度] を押し、テンキーで数値を変更します。

10. [終了] を押します。
11. [OK] を押します。
12. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。
13. 色の調整がすべて終了したら、カラーサンプルを印刷して確認します。
色の状態を確認し、変更するときは設定し直します。
14. パソコンから印刷を指示します。

↓ 補足

- 「RP-GL/2 (Type1、Type3)」のときはグレー印刷処理の設定は無効です。「RP-GL/2 (Type1)」のときは、ラスタデータでは画質調整の設定が無効です。
- カラーサンプルの印刷方法は、P.62 「カラーサンプルを印刷する」を参照してください。
- カラーサンプルの見かたについては、P.62 「カラーサンプルの見かた」を参照してください。

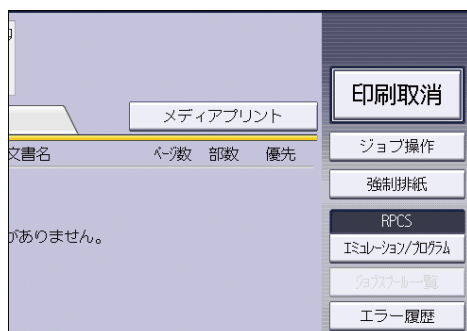
給紙部を自動選択する

印刷するデータのサイズに応じて、給紙部を自動選択できます。

給紙部を自動選択する - 等倍で印刷する

印刷するデータと用紙サイズが一致するときに、給紙部を自動選択するための設定です。

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。
2. [プリンター] アイコンを押します。
3. [エミュレーション/プログラム] を押します。



4. エミュレーションを RP-GL/2 に切り替えます。
5. [印刷条件] を押します。

6. [紙サイズ切替] が表示されるまで [▼次へ] を押します。

7. [紙サイズ切替] を押します。

8. [全自動] または [自動] を押して、[OK] を押します。

RP-GL のときは「全自動」に、RP-GL/2 のときは「全自動」または「自動」に設定します。

9. [▲前へ] を押します。


10. [変倍率] を押します。

11. 変倍率が「100.0%」に設定されていることを確認し、[OK] を押します。

別の値が表示されているときは、テンキーで数値を「100.0%」に設定します。

12. [終了] を押します。

13. [OK] を押します。

14. 画面中央下の [ホーム] () を押します。

15. パソコンから印刷を指示します。

「47.原稿サイズ判定」によって判定されたサイズ用の紙がセットされている給紙部から、給紙されます。


↓ 補足

- 「43.紙サイズ切替」の設定値については、P.47 「43.紙サイズ切替」を参照してください。

給紙部を自動選択する - 用紙サイズを指定して縮小印刷する

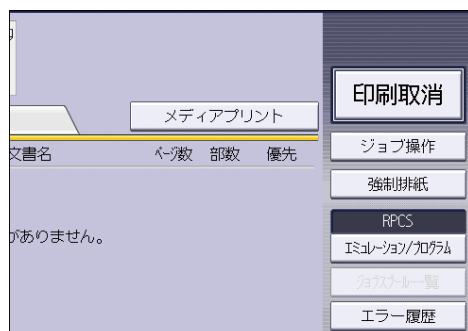
印刷する用紙サイズよりもデータのサイズのほうが大きいときに、指定した用紙サイズに収まるように縮小して印刷するための設定です。

A2 サイズのデータを A3 サイズの用紙に縮小して印刷する例で説明します。

1. 画面中央下の [ホーム] () を押します。

2. [プリンター] アイコンを押します。

3. [エミュレーション/プログラム] を押します。



4. エミュレーションを RP-GL/2 に切り替えます。

5. [印刷条件] を押します。

6. [紙サイズ切替] が表示されるまで [▼次へ] を押します。

7. [紙サイズ切替] を押します。

8. [全自動+変倍] を押します。

9. [A3] が選択されていることを確認し、[OK] を押します。

10. [終了] を押します。

11. [OK] を押します。

12. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

13. パソコンから印刷を指示します。

印刷条件「47.原稿サイズ判定」の設定によって判定されたサイズが、A3 の用紙に収まるように縮小されて印刷されます。

↓ 補足

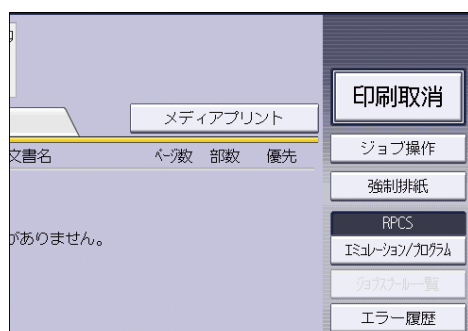
- RP-GL のとき、「23.ハードクリップ」で指定した位置から上下左右 10mm 余白をとったサイズに縮小されるため、自動的に縮小されて用紙よりも小さく印刷されます。
- RP-GL/2 のとき、指定した用紙サイズから上下左右 7mm 余白をとったサイズに縮小されるため、自動的に縮小されて用紙よりも小さく印刷されます。
- 「43.紙サイズ切替」の設定値については、P.47「43.紙サイズ切替」を参照してください。

給紙部を自動選択する - 不定形サイズを印刷する

印刷するデータのサイズが不定形となるときに、データのサイズに適した給紙部を自動選択します。

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

2. [プリンター] アイコンを押します。
3. [エミュレーション/プログラム] を押します。



4. エミュレーションを RP-GL/2 に切り替えます。
5. [印刷条件] を押します。
6. [紙サイズ切替] が表示されるまで [▼次へ] を押します。
7. [紙サイズ切替] を押します。
8. [全自動カット] を押します。
9. サブメニュー値を選択して [OK] を押します。
10. [終了] を押します。
11. [OK] を押します。
12. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。
13. パソコンから印刷を指示します。
「47.原稿サイズ判定」によって判定されたサイズ用の紙がセットされている給紙部から、給紙されます。

↓ 補足

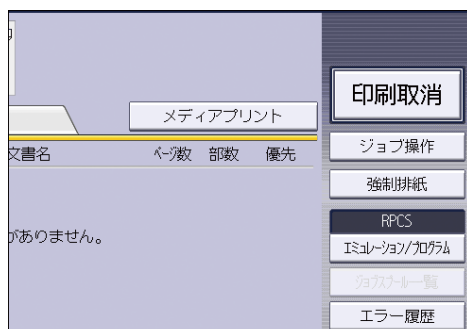
- 「43.紙サイズ切替」の設定値については、P.47「43.紙サイズ切替」を参照してください。

横給紙の用紙に印刷する

縦給紙方向に印刷されるように作成したデータを横給紙方向にしか用紙をセットできない給紙部で印刷するとき、「93.横給紙処理」でデータを回転できます。

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。
2. [プリンター] アイコンを押します。

3. [エミュレーション/プログラム] を押します。



4. エミュレーションを RP-GL/2 に切り替えます。

5. [印刷条件] を押します。

6. [横給紙処理] が表示されるまで [▼次へ] を押します。

7. [横給紙処理] を押します。

8. [する] を押して、[OK] を押します。

9. [終了] を押します。

10. [OK] を押します。

11. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

12. パソコンから印刷を指示します。

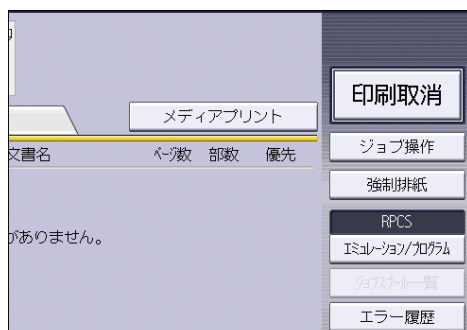
用紙の排紙方向を変更する


「43.紙サイズ切替」で給紙部が自動選択されるときに、用紙の排紙方向を変更できます。

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

2. [プリンター] アイコンを押します。

3. [エミュレーション/プログラム] を押します。



4. エミュレーションを RP-GL/2 に切り替えます。
5. [印刷条件] を押します。
6. [優先用紙方向] が表示されるまで [▼次へ] を押します。
7. [優先用紙方向] を押します。
8. [タテ置き用紙優先] を押して、[OK] を押します。
9. [終了] を押します。
10. [OK] を押します。
11. 画面中央下の [ホーム] () を押します。
12. パソコンから印刷を指示します。

印刷オプションを指定する

印刷オプションとは

印刷オプションとは、UNIX ワークステーションやパソコンからネットワークプリンターに印刷するときに、印刷コマンドとともに入力する文字列のことです。

印刷オプションを使用すると、画像の回転やユーザーコードの指定ができます。

↓ 補足

- 印刷コマンドで印刷オプションを指定できるのは、ネットワークプロトコルが TCP/IP のときだけです。

印刷オプションの指定方法

印刷オプションの指定方法は、印刷コマンドにより異なります。たとえば UNIX ワークステーションからの印刷に ftp コマンドを使用するとき、印刷コマンドのあとに半角スペースを入力し、続けて印刷オプションを入力します。

- 例 1：印刷部数を 3 部に指定する

```
ftp> put (GL ファイル名) pjl=on,filetype=(RGL または GL2),qty=3
```

- 例 2：登録したプログラム 1 を呼び出して印刷する

```
ftp> put (GL ファイル名),filetype=P1
```

複数の印刷オプションを指定するときは、それぞれを「,」で区切ります。

印刷オプションには、指定値が必要なものとそうでないものがあります。指定値は、印刷オプション名のうしろに「=」を入力し、続けて指定値を入力します。

「=」を含まない印刷オプションを単独で指定するときは、印刷オプションの先頭に「,」を追加します。

↓ 補足

- 印刷コマンドの使用方法は、『付録』「Windows からファイルを直接印刷する」を参照してください。
- 「=」が使用できない OS では、代わりに「_」（アンダースコア）を使用してください。
- 印刷オプションとして指定できる文字数には、OS やネットワーク環境、本機の機能によって制限があります。
- 範囲外の値や誤った印刷オプションを指定すると、正常に印刷できないことがあります。

印刷オプション一覧表

印刷オプション名	指定値	機能概要
filetype	RGL、GL2 P1～P16	印刷に使用するエミュレーションまたはプログラムを指定します。
imagedirection	reverse、normal	用紙内の画像の向きを 180 度回転します。
pjl	on	後処理関係の印刷オプション (qty) を有効にします。
qty	ソート部数 (1～999)	ソートします。
usercode	数字 8 桁	ユーザーコードを指定します。

印刷オプションの指定項目

印刷オプションのそれぞれの指定項目を説明します。

filetype

本機が RP-GL/2 以外のエミュレーションになっているときに、印刷に使用するエミュレーションを指定します。また、エミュレーションの代わりに登録されているプログラムも指定できます。

書式

filetype=エミュレーション名

filetype=プログラム番号

または

fil=エミュレーション名

fil=プログラム番号

指定値と動作

- 「エミュレーション名」は 3 文字の省略名です。RP-GL エミュレーションに切り替えるときは「RGL」を、RP-GL/2 エミュレーションに切り替えるときは「GL2」を指定します。印刷条件は RP-GL/2 エミュレーションの初期値が呼び出されます。
- 「プログラム番号」は、「P1」から「P16」のプログラム番号を指定します。RP-GL/2 エミュレーションが登録されているプログラムを指定してください。印刷条件はプログラムに登録されている設定値が呼び出されます。

説明

- この印刷オプションを指定しなかったときは、操作部で呼び出されているエミュレーションで印刷されます。RP-GL/2 エミュレーションが呼び出されていないと、正常に印刷されないことがあります。[プリンター初期設定] の [システム設定] タブにある [エミュレーション検知] を [する] に設定しているときは、RP-GL/2 に対応したファイルを送信すると自動的に RP-GL/2 に切り替わります。

imagedirection

用紙内の画像の向きを 180 度回転するように指定します。

書式

imagedirection=reverse

imagedirection=normal

指定値と動作

指定値	動作
reverse	用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されます。
normal	通常の向きで印刷されます。

説明

- pjl = on を指定しなくても使用できます。

pjl

pjl を指定すると、qty の指定を有効にできます。

書式

pjl = on

説明

- 「qty」を使用するときは、必ず pjl = on と指定します。指定がないとき、「qty」の印刷オプションは無効です。

qty

ソートの指定をします。

書式

qty=ソート部数

指定値と動作

- ソート部数は、1～999 の範囲の整数で指定します。

説明

- 「ソート部数」を指定するときは、同時に印刷オプション `pjl = on` も指定してください。 `pjl = on` が指定されていないと、「qty」の指定は無効です。
- 「qty」を指定したとき、操作部や印刷データ内のコマンドで設定された印刷部数は無効です。

2

usercode

ユーザーコードを指定できます。

書式

`usercode = "ユーザーコード"`

説明

- ユーザーコードには半角数字 8 桁を指定できます。
- ユーザーコードの前後に `"¥"` の指定が必要です。
- Windows の FTP クライアントのとき、`usercode` は指定できません。

↓ 補足

- OS によってはダブルクォーテーションが送信されないため、バックslash シュ `"¥"` (0x5c) などのエスケープ記号が必要となることがあります。
- ftp でユーザーコードを指定するときは、以下のように大文字で指定してください。
 - `ftp> put filename USERCODE=¥"12345¥"`

コマンドを指定する

エミュレーション切り替えコマンド

エミュレーション切り替えコマンドを使用すると、エミュレーションを切り替えたり、プログラムを呼び出したりできます。RP-GL/2 エミュレーションでは、RP-GL/2 ファイルまたは CALS ファイルの直前または直後に以下の形式で指定します。

書式（ESC シーケンスのとき）

```
ESC DC2 ! {p} @ CODE-ID ESC SP
<例：プログラム No1 呼び出し>
ESC DC2 ! 0 @ P1 ESC SP
```

書式（16 進コードのとき）

```
1B 12 21 {p} 40 CODE-ID 1B 20
<例：プログラム No1 呼び出し>
1B 12 21 30 40 50 31 1B 20
```

パラメーター	指定値	説明
p	-1	CODE-ID で指定されているエミュレーションに切り替えます。 印刷条件は初期値です。
	0	CODE-ID で指定されているプログラム番号のエミュレーションに切り替えます。 印刷条件はプログラムに登録されている設定値です。
	1～16	CODE-ID で指定されているエミュレーションに切り替えます。 印刷条件は、この指定値に対応するユーザーメモリースイッチ番号の設定値です。（ユーザーメモリースイッチ番号は、プログラム登録時、エミュレーションごとに自動的に付加される番号です。印刷条件リストに印刷されます。）
	省略時	「1」が指定されます。

パラメーター	指定値	説明
CODE-ID	3文字のエミュレーション名	指定したエミュレーション名のエミュレーションに切り替わります。 パラメーター「p」の指定値は、「0」以外を指定してください。
	P1～P16	指定したプログラム番号のエミュレーションに切り替わります。 パラメーター「p」の指定値は、「0」を指定してください。

指定したエミュレーションが存在しないときやプログラムが登録されていないとき、このコマンドは無視されます。

3文字のエミュレーション名で指定できる値は以下のとおりです。

- RGL：RP-GL エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- GL2：RP-GL/2 エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- RTF：RTIFF エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- RPS：PS3 エミュレーションに切り替えるときに指定します。

印刷オプション指定コマンド

印刷オプション指定コマンドを使用すると、印刷オプションを指定できます。HP-GL ファイルまたは HP-GL/2 ファイルの直前または直後に以下の形式で指定します。

コマンドを指定する前に、本機のエミュレーションを RP-GL/2 に切り替えてください。

書式（ESC シーケンスのとき）

ESC DC2 ? z {, option { = value}} {, option { = value}} ... {, option { = value}} ESC SP

<例：ソート部数を 10 部にする>

ESC DC2 ? z, emlqty=10 ESC SP

書式（16 進コードのとき）

1B 12 3F 7A {2C option {3D value}} {2C option {3D value}} ... {2C option {3D value}} 1B 20

<例：ソート部数を 10 部にする>

1B 12 3F 7A 2C 65 6D 6C 71 74 79 3D 31 30 1B 20

パラメーター	指定値	説明
option	印刷オプション名の文字列	印刷オプションを指定します。

パラメーター	指定値	説明
option	省略時	このパラメーターと対になる value が無視されます。

対応していない指定値を指定したとき、このパラメーターと対になる value は無視されます。

このパラメーターと value の対は、連続して複数指定できます。ただし、このパラメーターと同じ値を指定された対が複数あるときは、最後に指定されている対が有効です。

パラメーター	指定値	説明
value	印刷オプションの指定値の文字列	印刷オプションを指定します。

対応していない指定値を指定したとき、このパラメーターと対になる option は無視されます。

↓ 補足

- 文字列の合計は 1,023 バイト以内で入力してください。
- 印刷オプション指定コマンドは、一度コマンドを指定するとそれ以降に受信したデータの印刷に有効です。ただし、次のときはリセットされます。
 - エミュレーションが切り替わったとき
 - 新しい印刷オプション指定コマンドが指定されたとき

印刷オプション指定コマンド一覧表

印刷オプション指定コマンドを使用すると、オプションのフィニッシャーなどの機能を使用できます。使用できる印刷オプション指定コマンドは次のとおりです。

印刷オプション名	指定値	機能概要
emlqty	ソート部数 (1~999)	ソート部数を指定します。
emlimagedirection	reverse、normal	用紙内の画像の向きを 180 度回転します。
emlusercode	ユーザーコード	ユーザーコードを指定します。

印刷オプション指定コマンドの指定項目

emlqty

ソート部数を指定します。

書式

emlqty=ソート部数

指定値と動作

- ソート部数は、1～999 の範囲の整数で指定します。

説明

- 「emlqty」を指定したとき、操作部や印刷データ内のコマンドで設定された印刷部数は無効です。

emlimagedirection

用紙内の画像の向きを 180 度回転するように指定します。

書式

emlimagedirection=reverse

emlimagedirection=normal

指定値と動作

指定値	動作
reverse	用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されます。
normal	通常の向きで印刷されます。

emlusercode

ユーザーコードを指定します。

書式

emlusercode =ユーザーコード

説明

- ユーザーコードには半角数字 8 桁を指定できます。

図面サイズと用紙サイズによる縮尺率

Windows ドライバーで図面サイズと印刷する用紙サイズを指定すると自動的に拡大率または縮小率が設定されます。

拡大率または縮小率は以下のとおりです。最小単位は、0.1%です。

図面サイズ	A0	A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4
A0	100.0	71.0	50.0	35.0	25.0	87.0	61.0	43.0	31.0
A1	141.0	100.0	71.0	50.0	35.0	123.0	87.0	61.0	43.0
A2	200.0	141.0	100.0	71.0	50.0	173.0	123.0	87.0	61.0
A3	283.0	200.0	141.0	100.0	71.0	245.0	173.0	123.0	87.0
A4	400.0	283.0	200.0	141.0	100.0	345.0	245.0	173.0	123.0
B1	115.0	82.0	58.0	41.0	29.0	100.0	71.0	50.0	35.0
B2	163.0	115.0	82.0	58.0	41.0	141.0	100.0	71.0	50.0
B3	230.0	163.0	115.0	82.0	58.0	200.0	141.0	100.0	71.0
B4	325.0	230.0	163.0	115.0	82.0	283.0	200.0	141.0	100.0

↓ 補足

- 以下の用紙サイズは、使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのときだけ印刷できます。
 - A0、B1

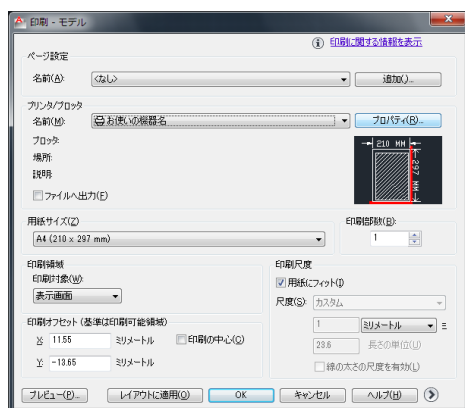
HDI ドライバーのヘルプを表示する

ヘルプを表示する

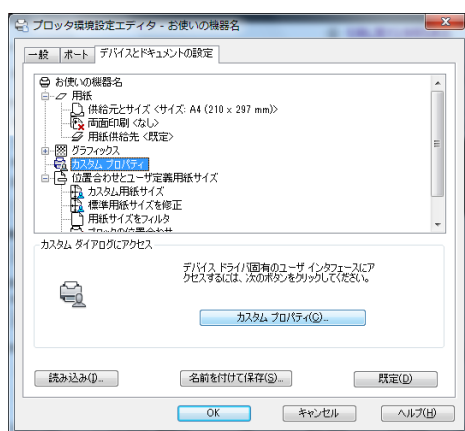
2

AutoCAD 2012 の画面を例にして説明します。

1. [印刷] ウィンドウを表示します。



2. [プリンタ/プロッタ] グループの [名前:] プルダウンメニューから、使用している機種種の HDI ドライバーを選択します。
3. [プロパティ...] をクリックします。
4. [デバイスとドキュメントの設定] タブで [カスタムプロパティ] ボタンをクリックします。



5. [ヘルプ] をクリックします。

ヘルプを印刷する

★重要

- ヘルプを印刷するときは、RP-GL/2 以外のプリンタードライバーを使用してください。

目次からブックを印刷する

次の画面が表示されたときは、印刷するブックを選択して、[印刷] をクリックします。

[選択された見出しおよびすべてのサブトピックを印刷] を選択して [OK] をクリックします。

ブックに含まれている複数のトピックをまとめて印刷できます。

目次からトピックを印刷する

次の画面が表示されたときは、印刷するトピックを選択して、[印刷] をクリックします。

[選択されたトピックの印刷] を選択して [OK] をクリックします。

プリンタードライバーで給紙部を選択するとき

本機の給紙部は、操作部だけでなくプリンタードライバーでも選択できます。

本機では、給紙部にセットされているロール用紙のカット方法を選択することで、1つの給紙部に3種類の用紙がセットされているかのように動作させる「仮想給紙部」機能を備えています。

用紙のカット方法とカットされる状態は、次のとおりです。

カット方法	カットされる状態
縦カット	給紙方向に対して用紙が縦長にカットされます。
横カット	給紙方向に対して用紙が横長にカットされます。
不定形	設定した長さに用紙がカットされます。

たとえば、A1 用紙の長辺と同じ幅（814mm 幅）のロール紙がセットされている給紙部で縦カットの仮想給紙部を選択すると、A0□サイズにカットされます。また、このとき横カットの仮想給紙部を選択すると、A1□サイズにカットされます。

RP-GL/2 エミュレーションのトラブルシューティング

思いどおりに印刷できないとき

2

DOS/UNIX で思いどおりに印刷できないときの対処方法です。

Windows で思いどおりに印刷できないときの対処方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ヘルプの表示方法は、『プリンター』『ヘルプを表示する』を参照してください。

図面の端が切れてしまう

出力する図面の大きさが用紙の端まで指定されているか、データの座標位置がずれていません。

印刷条件の「23.ハードクリップ」を「用紙サイズ」にすると、本機の印刷可能範囲を無視して用紙の端までが印刷領域になります。ただし、用紙の上下左右の端から 5mm の印刷は印刷保証範囲外です。

1 枚の用紙に収まる図面が数枚に分かれて印刷される

本機の「プリンター初期設定」にある「自動排紙時間」の設定を確認してください。

「自動排紙時間」の設定が短いと、このような現象が生じることがあります。ソフトウェアやシステム環境によってデータ転送中にデータが途切れる時間が異なるため、使用している環境に合わせて設定してください。

図面がずれて印刷される

パソコンから送られたデータの座標位置がずれています。印刷条件の「7.X 原点補正」、「8.Y 原点補正」の設定で図面を適切な位置に移動させてください。

イメージデータがかすれる

「6.プロッタ ID」で「RP-GL/2 (Type1)」に設定しているときは、印刷条件の「44.イメージ濃度」を「こく」にしてください。

線がかすれる

以下の設定を変更してください。

- 線幅を太くしてください。
- 濃い色を選択してください。

また、印刷条件で「9.ペン 1 設定」～「16.ペン 8 設定」、「50.ペン 9 設定」～「57.ペン 0 設定」を設定している場合、カラー印刷のときは色の設定を、モノクロ印刷のときはペン濃度の設定を変更してください。

線が描画されない

アプリケーションによっては0番ペンを使用して描画していることがあります。印刷条件の「40.ペン設定選択」が「印刷条件」に設定されている場合、モノクロ印刷のときは、0番ペンの濃度を初期値（0%）のまま印刷するとなにも印刷されません。0番ペンの濃度を濃く設定してください。カラー印刷のときは、0番ペンのペン色を初期値（白）のまま印刷するとなにも印刷されません。0番ペンの色を白以外に設定してください。

モノクロ印刷のときに細線をハーフトーンで印刷すると、描画位置によっては実線が点線や破線になったり、線が印刷されなかったりすることがあります。そのときは線を太くするか、濃度を上げて印刷してください。

カラー印刷のときに細線を中間色で印刷すると、描画位置によっては実線が点線や破線になったり、線が印刷されなかったりすることがあります。そのときは線を太くするか、濃い目の色で印刷してください。

「40.ペン設定選択」はRP-GL/2のときに有効な項目です。

DOS/UNIX アプリケーションから「エミュレーション検知」を「する」にして印刷したとき意図した印刷結果にならない

「プリンター初期設定」の「システム設定」タブにある「エミュレーション検知」を「する」に設定しているとき、起動しているプログラムにかかわらず、RPGL/GL2で登録したプログラムに切り替わります。このとき、データによって起動するプログラムは以下のように異なります。

- PJI コマンドがあるとき：印刷条件「6.プロッタ ID」が「RP-GL/2」に設定されたプログラムの中から、最初に登録されたプログラムが呼び出されます。「RP-GL/2」に設定されているプログラムがひとつもないときは、RP-GL/2の初期値が呼び出されます。
- PJI コマンドがないとき：印刷条件「6.プロッタ ID」の設定にかかわらず、RP-GL、RP-GL/2のユーザーメモリスイッチ番号「1」のプログラムが呼び出されます。RP-GL、RP-GL/2で登録されているプログラムがひとつもないときは、RP-GL、RP-GL/2の初期値が呼び出されます。

意図した印刷結果にならないときは、「エミュレーション検知」を「しない」に設定し、印刷するときに操作部でプログラムを呼び出してから印刷してください。

「エミュレーション検知」については『プリンター』『システム設定』を参照してください。

ユーザーメモリスイッチ番号は印刷条件リストで確認できます。印刷条件リストの印刷方法は、P.7「印刷条件リストを印刷する」を参照してください。

アウトラインフォントで文字が描画できない

アウトラインフォントで印刷できるのは、文字描画のコマンド（LB コマンド）で送信したときに限られます。アプリケーションから文字コードで出力する設定にしてください。

漢字が印刷されない

アプリケーション側で漢字 ROM の使用が選択できるときは、使用する設定にしてください。

図面が全体的に右上にずれる

原点位置が合っていません。印刷条件の「6.プロッタ ID」の設定を確認してください。7475A、7550A、RP-GL/2 は左下原点です。そのほかは中央原点です。

印刷条件でペン幅、ペン濃度、ペン色を設定したのに、設定どおりに印刷されない

印刷条件の「40.ペン設定選択」が「ソフトウェア」に設定されていると印刷条件で設定したペン幅、ペン濃度、ペン色は無効になり、アプリケーション側の設定が有効になります。

印刷条件でペン幅、ペン濃度、ペン色を設定するときは「40.ペン設定選択」を「印刷条件」に設定してください。

「40.ペン設定選択」は RP-GL/2 のときに有効な項目です。

画面に表示された色と印刷された色が異なる

カラーインクを混合して得られる色調は、画面の色調とは発色のしかたが異なります。操作部で印刷条件を以下のように設定してください。

- 「85.画質調整」の「85-1.明度」と「85-2.彩度」の設定を確認してください。
- 「40. ペン設定選択」を「印刷条件」に設定しているときは、ペン色を適当な色に設定してください。

カラーの原稿が白黒で印刷される

操作部で印刷条件の「81.カラーモード」で「カラー」に設定してください。

印刷条件の「6.プロッタ ID」が「RP-GL/2 (Type1、Type3)」に設定されていると、常にモノクロで印刷されます。

黒ベタの部分で C (シアン)、M (マゼンタ)、Y (イエロー) が重なってギラギラする

操作部で印刷条件の「83.グレー印刷処理」を「黒 1 色」に設定してください。

グラデーションの途中で黒の発色が不自然になる

操作部で印刷条件の「83.グレー印刷処理」を「CMYK」に設定してください。

イメージデータなどの重なった部分がきれいに印刷されない

操作部で印刷条件の「83.グレー印刷処理」を「CMY」に設定してください。

印刷データが 90 度回転されず、正常に印刷されない

横給紙方向にセットされている用紙に印刷するとき、印刷条件の「93.横給紙処理」を「する」に設定します。「する」に設定していてもこの現象が発生するときは、「しない」に設定するか、印刷条件の「5.座標軸回転」で「90°」または「270°」に設定します。

縦給紙方向にセットされている用紙に印刷するときは、印刷条件の「5.座標軸回転」で「90°」または「270°」に設定します。

■ RP-GL データで自動用紙選択ができない

印刷条件の「43.紙サイズ切替」を「全自動」または「全自動+変倍」に設定してください。それでも給紙部が自動選択されないときは、印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定を「作画」または「Auto」に設定してください。

■ RP-GL/2 データで自動用紙選択ができない

印刷条件の「47.原稿サイズ判定」で「作画」または「Auto」を選択してください。

■ 「49.センタリング」を「する」にしても、正しくセンタリングされない

- RP-GL で印刷条件の「47.原稿サイズ判定」が「PS/IP コマンド」のとき、正しくセンタリングされないことがあります。そのときは「作画」に設定してください。
- RP-GL/2 で印刷条件の「47.原稿サイズ判定」が「PS/IP コマンド」のとき、余白が含まれるため、正しくセンタリングされないことがあります。そのときは「作画」に設定してください。

■ 定形サイズの印刷で、意図した用紙サイズが選択されない

印刷条件「47.原稿サイズ判定」を「作画」に設定するか、「48.原稿サイズマージン」を設定してください。

■ 不定形サイズの用紙が自動用紙選択されない

印刷条件「43.紙サイズ切替」で「全自動カット」を選択してください。

■ 印刷条件「43.紙サイズ切替」で「全自動カット」選択時、定形サイズが不定形で印刷される

サブメニュー値を設定してください。

■ 不定形サイズで印刷したとき、不定形サイズの給紙部から給紙されない

印刷条件リストで不定形サイズを確認してください。

■ 意図する方向に用紙が排紙されない

印刷条件「103.優先用紙方向」の設定を変更してください。詳しくは P.71 「用紙の排紙方向を変更する」を参照してください。

↓ 補足

- 印刷条件の動作や設定方法は、P.31 「印刷条件を設定する」を参照してください。

3. RTIFF を使用する

この章では RTIFF エミュレーションの機能や使用方法、印刷条件の設定などを説明します。

RTIFF エミュレーションとは

RTIFF エミュレーションとは、UNIX ワークステーションやパソコンから TIFF、CALS、または JPEG 形式のビットマップイメージデータを印刷できる拡張エミュレーションです。

RTIFF エミュレーションでは、本機の内部で TIFF、CALS、または JPEG ファイルがラスターライズされます。ラスターライズとは、ビットマップイメージデータに基づいて 1 ドットずつ描画することをいいます。このため、プリンタードライバーは必要なく、印刷条件は本機の操作部で設定します。

また、本機が TCP/IP ネットワークに接続されているとき、UNIX ワークステーションやパソコンから印刷するときに、印刷のコマンドに印刷オプションを付けて印刷条件を一時的に変更できます。印刷オプションで指定しない条件は、本機の操作部で設定した印刷条件にしたがいます。

PJL (Ricoh Specific) について

PJL (Ricoh Specific) は、Hewlett-Packard 社のプリンタージョブコントロール言語 (Printer Job Language) に準拠し、コマンドの一部はリコー独自の拡張仕様により、プリンター機能を十分に活用できます。

RTIFF では、PJL (Ricoh Specific) をサポートし、印刷オプションの指定によって使用できます。

- PJL は、HP 社の Printer Job Language のエミュレーションです。
- PJL (Ricoh Specific) を PJL と記載します。

↓ 補足

- ファイルの形式によっては、印刷できないこともあります。ファイルの形式については、P.163 「入力データの仕様」を参照してください。

印刷するための準備

1. 本機とパソコンが正しく接続されていることを確認します。
2. 印刷する TIFF ファイルを用意します。
3. 本機の操作部でエミュレーションを [RTIFF] に切り替えます。
4. 必要な印刷条件を設定します。

エミュレーション特有の印刷条件を設定できます。

また、[プリンター初期設定] の [システム設定 (EM)] タブで、[不定形サイズ設定：給紙部 1] と [不定形サイズ設定：給紙部 2] を設定できます。

↓ 補足

- エミュレーションの切り替えについては、P.5「エミュレーションを切り替える」を参照してください。
- [システム設定 (EM)] の設定項目については、『プリンター』『システム設定 (EM)』を参照してください。

使用時の注意事項

- ビットマップ画像データを、印刷条件や印刷オプションを指定して変倍印刷すると、何も指定しないで印刷するときに比べて、印刷に時間がかかることがあります。
- ビットマップ画像データを回転して印刷するとき、印刷に時間がかかることがあります。回転は、印刷条件や印刷オプションで指定したときのほか、状況によっては意図しないときにも起こります。
- TIFF ファイルまたは CALS ファイルの形式によっては、印刷できないこともあります。
- TIFF 形式のビットマップイメージデータには、EOF（ファイルの終端）または EOD（データの終端）を明示するデータや構造が存在しません。このため、RTIFF エミュレーションでは、タグ情報で与えられた幅と高さ分のビットマップデータを受信した時点をも EOD とし、印刷指示があったものとして処理します。
- 印刷できるビットマップイメージの幅とデータサイズには、制限があります。
- 印刷中や印刷データの受信中は、以下の操作は行わないでください。
 - 印刷条件の設定
 - システム条件の設定
 - テスト印刷の操作
 - エミュレーションプログラムの呼び出し
 - プログラムの登録

↓ 補足

- ファイルの形式や印刷できるビットマップイメージについては、P.163「入力データの仕様」を参照してください。

印刷する

UNIX ワークステーションから使用する

UNIX ワークステーションでは、コマンドシェルで印刷する TIFF ファイルを指定して印刷を実行します。印刷する前に、本機の操作部で印刷条件を設定してください。

コマンド例（ftp コマンドを使用するとき）

```
ftp> put tiff-filename
```

コマンド例（ftp コマンドを使用し、印刷オプションを指定したとき）

```
ftp> put tiff-filename,filetype=RTF,copies=3
```

「tiff-filename」のところは、印刷する TIFF ファイル名を指定してください。

↓ 補足

- 印刷コマンドの使用方法は、『付録』「Windows からファイルを直接印刷する」を参照してください。
- 印刷オプションの指定は、ネットワークプロトコルに TCP/IP を使用しているときに有効です。
- 印刷オプションをコマンドに指定すると、本機に設定されている印刷条件を一時的に変更して印刷できます。

DOS/V パソコンから使用する

DOS/V パソコンでは、コマンドプロンプトから印刷を実行します。印刷する前に、本機の操作部で印刷条件を設定してください。

ネットワーク接続したプリンターのとき

1. コマンドプロンプトに移ります。

コマンドプロンプトの表示方法は、Windows のヘルプを参照してください。

2. NetBEUI でのネットワークパス名を、パソコンの空いているプリンターポートに割り当てます。

コマンド例

```
C:\WINDOWS>net use lpt3: pathname
```

「pathname」のところは、本機のネットワークパス名を指定します。

3. 割り当てたプリンターポートで、印刷のコマンドを実行します。

コマンド例

```
C:\WINDOWS>copy /b tiff-filename lpt3
```

「tiff-filename」のところは、印刷する TIFF ファイル名を指定します。

4. 手順 2 で割り当てたプリンターポートを開放するときは、以下のコマンドを実行します。

コマンド例

```
C:\WINDOWS>net use lpt3: /d
```

↓ 補足

- 本機のネットワークパス名は、システム設定リストを印刷すると確認できます。システム設定リストの印刷方法は、『プリンター』『テスト印刷する』を参照してください。

ftp コマンドで印刷する

ネットワークプロトコルに TCP/IP を使用しているとき、ftp コマンドを使用しても印刷できます。

1. コマンドプロンプトに移ります。

コマンドプロンプトの表示方法は、Windows のヘルプを参照してください。

2. ftp コマンドを入力します。

ftp IPaddress

「IPaddress」には、TIFF ファイルまたは CALS ファイルを送信するプリンターの IP アドレスを指定します。

ftp が起動し、ユーザー名を入力するプロンプトが表示されます。

User:

3. ユーザー名に任意の文字列を入力し、[Enter] キーを押します。

パスワードを入力するプロンプトが表示されます。

Password:

4. [Enter] キーを押します。

パスワードの入力は必要ありません。

ftp プロンプトが表示されます。

ftp>

5. 「bin」と入力し、バイナリモードで TIFF ファイルを送信する設定にします。

バイナリモードに変更しないと、TIFF ファイルまたは CALS ファイルが正常に印刷されません。

```
ftp> bin
```

6. ftp プロンプトで印刷するファイルを転送します。

```
ftp> put tiff-filename
```

「tiff-filename」のところは、印刷する TIFF ファイルまたは CALS ファイル名を指定します。

put サブコマンドに印刷オプションを指定すると、本機に設定されている印刷条件を一時的に変更して印刷できます。

コマンド例

```
ftp> put tiff-filename filetype=RTF,copies=3,center
```

7. ftp を終了するときは、ftp プロンプトで「bye」と入力します。

↓ 補足

- lpr コマンドや rcp コマンドを使用しても印刷できます。
- 印刷コマンドの使用方法は、『付録』「Windows からファイルを直接印刷する」を参照してください。
- 印刷オプションについては、P.120 「印刷オプションを指定する」を参照してください。

印刷条件の設定

印刷条件設定項目の一覧

本機の操作部で設定できる印刷条件の一覧については、P.95「印刷条件設定項目一覧表」を参照してください。

印刷条件設定項目一覽表

印刷条件設定項目一覧表

(注) マークが付いた数値は、各項目の初期値です。

「1. 給紙部」の「給紙部2: 定形タテ」、「給紙部2: 定形ヨコ」、「給紙部2: 不定形」は、給紙部2を落着いているときだけ表示されます。

*2. 用紙サイズ: の「A6R₁」、「A1₁」、「B1R₁」、「B2₁」、「S1₁」、「S2₁」、「S3₁」、「S4₁」、「S5₁」、「S8₁」、「36 × 48R₁」、「34 × 44R₁」、「30 × 42R₁」、「24 × 36₁」、「22 × 34₁」、「21 × 30₁」は、使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのときだけ表示されます。

「2. 用紙サイズ」の「S1」は、使用している機種が Ricoh MP Cw2201 シリーズのとき、[36 インチ幅ロール紙のカットサイズ仕様] で

「2. 月賦サービス」の「51」は、使っている機種がPC04MP-CW2211シリーズの場合は、[36インチ幅口用紙]の「カッターサービス仕様」で「×36」は、[海外仕様 (mch)] を選択すると表示されます。詳しくは、「プリンター」[システム設定 (EM)] を参照してください。

[†]g. 印刷品質の初期値は、普通紙、再生紙、インクジェット普通紙、薄紙、コート紙（CAD 用）以外の用紙を用紙種類に選択したとき、「高速」になります。

		計測値							
		1	2	3	4	5	6		
項目	7	8	9	10	11	12			
	13	14	15	16	17	18			
	19	20	21	22	23	24			
	25	26	27	28	29	30			
	31	32	33	34	35	36			
	37	38	39	40	41	42			
	43	44	45	46	47	48			
	49	50							
	51	52	53	54	55	56			
	57	58	59	60	61	62			
1. 基礎部	コンクリート柱・フォーム 土留め・基礎部	基礎部1：鉄筋付柱 土留め・基礎部	基礎部1：鉄筋付柱 土留め・基礎部	基礎部1：不安定	基礎部2：鉄筋付柱 土留め・基礎部	基礎部2：鉄筋付柱 土留め・基礎部	基礎部2：鉄筋付柱 土留め・基礎部	基礎部2：鉄筋付柱 土留め・基礎部	基礎部2：鉄筋付柱 土留め・基礎部
2. 躯体部・土台	「躯体部」ない A01	A01	A1	A101	A2	A01	A2	A01	A2
	A03	A03	A03	A03	B01	B01	B01	B01	B01
	B02	B02	B02	B02	S4	S4	S4	S4	S4
	C1	C1	C1	C1	A2	A2	A2	A2	A2
	D1	D1	D1	D1	L5	L5	L5	L5	L5
	12 × 12	12 × 12			30 × 403	30 × 403	30 × 403	30 × 403	30 × 403
	20 × 403	20 × 403	24 × 301	24 × 301	22 × 34	22 × 34	22 × 34	22 × 34	22 × 34
	18 × 240	18 × 240							
	「土留め」	「土留め」							
4. 柱・土台・土留め	「土留め」	「土留め」							
5. 基礎部・土台	「ゴート・プレート」	「ラング・スラブ」							
6. 2. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
7. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
8. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
9. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
10. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
11. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
12. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
13. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
14. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
15. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
16. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
17. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
18. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
19. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
20. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
21. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
22. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
23. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
24. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
25. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
26. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
27. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
28. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
29. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
30. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
31. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
32. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
33. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
34. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
35. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
36. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
37. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
38. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
39. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
40. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
41. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
42. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
43. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
44. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
45. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
46. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
47. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
48. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
49. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
50. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
51. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
52. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
53. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
54. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
55. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
56. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
57. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
58. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
59. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
60. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
61. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
62. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
63. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
64. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
65. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
66. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
67. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
68. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
69. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
70. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
71. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
72. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
73. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
74. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
75. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
76. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
77. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
78. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
79. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
80. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
81. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
82. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
83. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
84. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
85. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
86. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
87. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
88. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
89. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
90. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
91. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
92. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
93. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
94. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
95. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
96. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
97. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
98. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
99. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
100. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
101. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
102. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
103. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
104. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
105. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
106. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
107. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
108. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
109. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
110. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
111. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
112. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
113. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
114. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
115. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
116. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
117. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
118. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
119. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
120. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
121. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
122. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
123. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
124. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
125. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
126. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
127. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
128. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
129. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
130. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
131. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
132. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
133. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
134. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
135. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
136. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
137. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
138. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
139. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
140. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
141. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
142. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
143. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
144. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
145. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
146. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
147. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
148. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
149. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
150. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
151. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
152. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
153. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
154. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
155. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
156. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
157. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
158. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
159. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
160. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
161. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
162. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
163. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
164. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
165. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
166. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
167. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
168. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
169. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
170. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
171. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
172. 躯体部・土台	「躯体部」	「躯体部」							
173. 躯体部・土台	「躯体部」								

印刷条件の設定項目

1.給紙部

使用する給紙部を選択します。

設定値

- システムデフォルト
- 給紙部 1：定形タテ

- 給紙部 1：定形ヨコ
- 給紙部 1：不定形
- 給紙部 2：定形タテ
- 給紙部 2：定形ヨコ
- 給紙部 2：不定形
- 手差し給紙部

工場出荷時の設定：システムデフォルト

動作

- 給紙部が「システムデフォルト」に設定されているプログラムやエミュレーションに切り替わったとき、[システム初期設定] の [用紙設定] タブにある [給紙部優先設定：プリンター] で設定した給紙部が選択されます。

条件

- 印刷条件の「2.用紙サイズ」で用紙サイズを指定するとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷条件の「U.自動用紙選択」を「する」に設定するとき、この項目の設定は無効です。
- 本機のプリンター機能の制限によってここで設定する給紙部から給紙できなかったとき、操作部に表示されている給紙部から給紙されます。
- 印刷オプションで tray、paper、autopaper のどれかを指定するとき、この項目の設定は無効です。
- P/L または関連の印刷オプションで回転ソートを指定しているとき、選択されている給紙部とは異なる給紙部から給紙されることがあります。

↓ 補足

- リミットレス給紙の設定を有効にしていると、設定した給紙部とは異なる給紙部から給紙されることがあります。給紙部を特定するときは、印刷条件の「4.リミットレス給紙」を「自動」または「しない」に設定するか、印刷オプションで noautotray を指定してください。
- 「給紙部 2：定形タテ」、「給紙部 2：定形ヨコ」、「給紙部 2：不定形」は、給紙部 2 を装着しているときだけ表示されます。

2.用紙サイズ

印刷する用紙のサイズと向きを設定します。

設定値

- 指定しない、A0R、A1、A1R、A2、A2R、A3、A3R、A4、B1R、B2、B2R、B3、B3R、B4、S1、S2、S3、S4、S5、S6、S7、S8、S9、AC、ACR、LT、DL、DLR、

LG、12×18、12×18R、18×24、9×12、36×48R、34×44R、30×42R、24×36、
24×36R、22×34、22×34R、21×30、18×24R、15×20R

工場出荷時の設定：**指定しない**

動作

- ここで設定したサイズと向きの用紙がいずれの給紙部にもセットされていないとき、操作部に表示されている給紙部から給紙されます。
- 「指定しない」を設定すると、印刷条件の「1.給紙部」で設定された給紙部から給紙されます。

条件

- 「指定しない」以外を設定すると、印刷条件の「1.給紙部」の設定は無効になります。
- 印刷条件の「U.自動用紙選択」を「する」に設定するとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで tray、paper、autopaper のどれかを指定するとき、この項目の設定は無効です。
- 選択の対象にならない給紙部があります。

↓ 補足

- 以下の設定値は、使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのときだけ表示されます。
 - A0R、A1、B1R、B2、S1、S2、S3、S4、S5、S8、36×48R、34×44R、30×42R、24×36、22×34、21×30
- リミットレス給紙の設定を有効にしていると、設定した給紙部とは異なる給紙部から給紙されることがあります。給紙部を特定するときは、印刷条件の「4.リミットレス給紙」を「しない」に設定するか、印刷オプションで noautotray を指定してください。
- 使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのとき、[36 インチ幅ロール紙のカットサイズ仕様] で [日本仕様 (mm)] を選択すると [S1] が表示されます。[海外仕様 (inch)] を選択すると [36×48] と [24×36] が表示されます。詳しくは、『プリンター』「システム設定 (EM)」を参照してください。

4.リミットレス給紙

印刷中に給紙部の用紙がなくなったとき、ほかの給紙部に自動的に切り替えて印刷するかどうかを設定します。

切り替え対象の給紙部は、同サイズ、同紙種の用紙がセットされている給紙部です。

設定値

- 自動
- する

- しない

工場出荷時の設定：自動

動作

- 「自動」または「する」に設定すると、自動的に給紙部を切り替えます。
- 「しない」に設定すると、給紙部の切り替えはしません。用紙を補給してください。

条件

- 印刷オプションで autotray または noautotray を指定したとき、この項目の設定は無効です。
- 「自動」に設定したときでも、印刷条件の「1.給紙部」で給紙部を指定したときや、印刷オプションの tray で給紙部を指定したときは、給紙部の自動切り替えはしません。

3

5.印刷方向

画像が印刷される向きを設定します。

設定値

- ポートレイト
- ランドスケープ

工場出荷時の設定：ポートレイト

ポートレイトのときの仕上がり



CLW028

ランドスケープのときの仕上がり



CLW029

条件

- 印刷条件の「U.自動用紙選択」を「する」に設定し、かつ印刷オプションの tray、paper のどちらも指定しないとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで portrait、landscape、autopaper のいずれかを指定したとき、この項目の設定は無効です。
- P/L または関連の印刷オプションで、逆方向印刷を指定しているとき、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。

7.エンジン解像度

印刷に使用する解像度を設定します。

設定値

- 600dpi

8.変倍率

画像を拡大または縮小して印刷するときの変倍率を設定します。拡大または縮小しても、画像の縦横比は保持されます。

指定範囲は 25～1,000% です。1%単位で指定できます。

工場出荷時の設定：100%

条件

- 印刷オプションの xmag、ymag、fit、nofit、tiffit、notiffit、autoreduce が指定されているとき、または印刷条件で「J.横変倍率」、「K.縦変倍率」、「P.自動変倍」、「T.実サイズ変倍」、「b.自動縮小」が設定されているとき、その変倍率とこの印刷オプションで指定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- 印刷オプションで mag を指定したとき、この項目の設定は無効です。

↓ 補足

- 印刷条件の「P.自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「b.自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

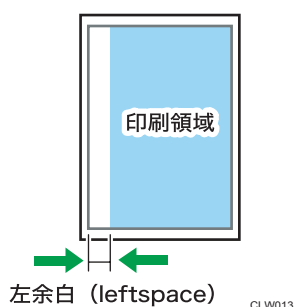
9.左余白

印刷領域の左端から印刷開始位置までの寸法（mm）を設定します。

ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。

指定範囲は 0～100mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：0mm



3

↓ 補足

- 印刷オプションで leftspace を指定したとき、余白は、この項目の設定値と leftspace の指定値を加えた値です。

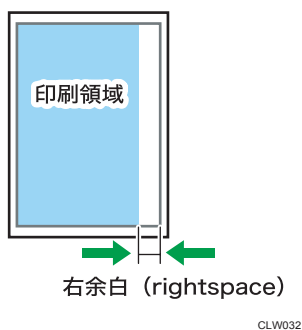
A. 右余白

印刷領域の右端から印刷終了位置までの寸法 (mm) を設定します。

ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。

指定範囲は 0～100mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：0mm



↓ 補足

- 印刷オプションで rightspace を指定したとき、余白は、この項目の設定値と rightspace の指定値を加えた値です。
- 中央配置が有効になっている状態で右余白を指定すると、指定した寸法を用紙幅から除いた領域を元にして、画像の中央位置が定められます。そのため、画像によっては、印刷範囲が用紙に収まりきらずに画像の左側が削られることがあります。

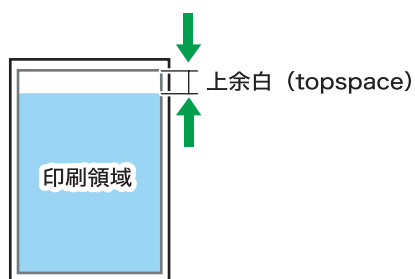
B. 上余白

印刷領域の上端から印刷開始位置までの寸法 (mm) を設定します。

ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。

指定範囲は 0～100mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：0mm



CLW042

↓ 補足

- 印刷オプションで topspace を指定したとき、余白は、この項目の設定値と topspace の指定値を加えた値です。

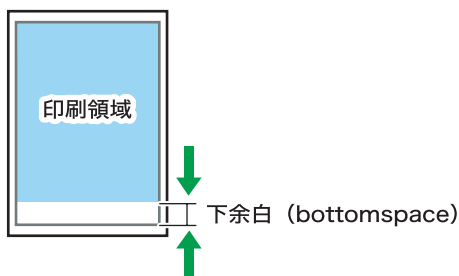
C. 下余白

印刷領域の下端から印刷終了位置までの寸法 (mm) を設定します。

ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。

指定範囲は 0～100mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：0mm



CLW033

↓ 補足

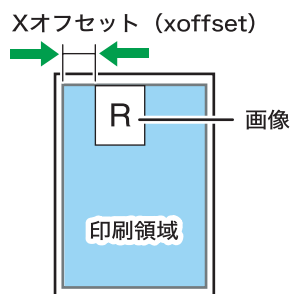
- 印刷オプションで bottomspace を指定したとき、余白は、この項目の設定値と bottomspace の指定値を加えた値です。

D.X オフセット

印刷位置の横方向の移動量を設定します。マイナスの値を設定すると左に、プラスの値を設定すると右に移動します。

指定範囲は±100mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：0mm



↓ 補足

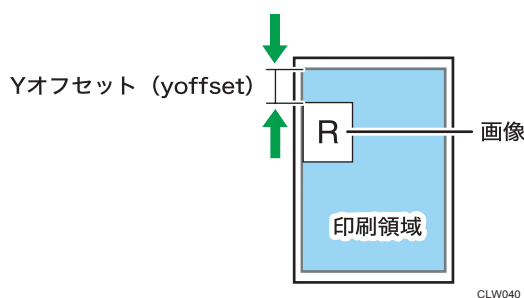
- 印刷オプションで xoffset を指定したとき、移動量は、この項目の設定値に xoffset の指定値を加えた値です。
- 印刷条件で「O.中央配置」が設定されているとき、または印刷オプションで center、nocenter のいずれかが指定されているとき、その設定値とこの項目で設定した設定値にしたがって横方向に移動します。

E.Y オフセット

印刷位置の縦方向の移動量を設定します。マイナスの値を設定すると上に、プラスの値を設定すると下に移動します。

指定範囲は±100mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：0mm



↓ 補足

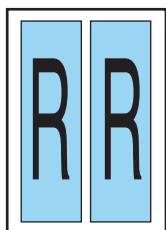
- 印刷オプションで yoffset を指定したとき、移動量は、この項目の設定値に yoffset の指定値を加えた値です。
- 印刷条件で「O.中央配置」が設定されているとき、または印刷オプションで center、nocenter のいずれかが指定されているとき、その設定値とこの項目で設定した設定値にしたがって縦方向に移動します。

H.マルチカラム

複数の画像を 1 枚の用紙に印刷されるように設定します。横方向に並べる画像数（列数）を設定します。

指定範囲は 1～10 です。1 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：1



CLW016

3

条件

- 印刷条件の「U.自動用紙選択」を「する」に設定する場合、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定していないときは、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで multicolors または autopaper を指定したとき、この項目の設定は無効です。

↓ 補足

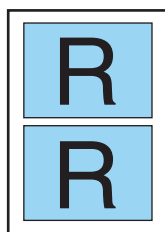
- 縦方向に並べる画像数（行数）は、「I.マルチロー」または印刷オプションの multirows で設定します。
- 各画像のサイズは、指定した画像数と印刷領域の設定によって変わります。
- 複数の画像の印刷を設定したとき、設定した画像の数に満たなくても以下のときは印刷されます。
 - エミュレーション切り替えコマンドなどの ESC シーケンスコマンドを受信したとき
 - 本機がネットワークに接続されているときに、「EOF」を受信したとき

I.マルチロー

複数の画像を 1 枚の用紙に印刷するように設定します。縦方向に並べる画像数（行数）を設定します。

指定範囲は 1～10 です。1 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：1



CLW017

条件

3

- 印刷条件の「U.自動用紙選択」を「する」に設定する場合で、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定していないときは、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで multirows または autopaper を指定したとき、この項目の設定は無効です。

↓ 補足

- 横方向に並べる画像数(列数)は、「H.マルチカラム」または印刷オプションの multicols で設定します。
- 各画像のサイズは、指定した画像の数と印刷領域の設定によって変わります。
- 複数の画像の印刷を設定したとき、設定した画像の数に満たなくても以下のときは印刷されます。
 - エミュレーション切り替えコマンドなどの ESC シーケンスコマンドを受信したとき
 - 本機がネットワークに接続されているときに、「EOF」を受信したとき

J.横変倍率

横方向の変倍率を設定します。画像が横方向に拡大、縮小して印刷されます。

指定範囲は 25～1,000% です。1%単位で指定できます。

工場出荷時の設定：100%

条件

- 印刷オプションの mag、fit、nofit、tiffit、notiffit、autoreduce が指定されているとき、または印刷条件で「8.変倍率」、「P.自動変倍」、「T.実サイズ変倍」、「b.自動縮小」が設定されているとき、その変倍率とこの印刷条件で指定した変倍率をかけた合わせた変倍率で印刷されます。
- 印刷オプションで xmag を指定したとき、この項目の設定は無効です。

↓ 補足

- 印刷条件の「P.自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「b.自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

K.縦変倍率

縦方向の変倍率を設定します。画像が縦方向に拡大、縮小して印刷されます。

指定範囲は 25～1,000% です。1%単位で指定できます。

工場出荷時の設定：100%

条件

- 印刷オプションの mag、fit、nofit、tiffit、notiffit、autoreduce が指定されているとき、または印刷条件で「8.変倍率」、「P.自動変倍」、「T.実サイズ変倍」、「b.自動縮小」が設定されているとき、その変倍率とこの印刷条件で指定した変倍率をかけた合わせた変倍率で印刷されます。
- 印刷オプションで ymag を指定したとき、この項目の設定は無効です。

↓ 補足

- 印刷条件の「P.自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「b.自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

L.白黒反転

画像の白黒を反転して印刷するかどうかを設定します。

設定値

- しない
- する

工場出荷時の設定：しない

条件

- 印刷オプションで positive または negative を指定したとき、この項目の設定は無効です。

M.明るさ

多値画像（グレースケール）の明るさを設定します。「100%」よりも大きい値を設定すると画像が全体的に明るく（白っぽく）、小さい値を設定すると全体的に暗く（黒っぽく）印刷されます。

指定範囲は 1～1,000% です。1%単位で指定できます。

工場出荷時の設定：100%

条件

- 黒と白だけの 2 値画像のとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで brightness を指定したとき、この項目の設定は無効です。
- 一部のカラーデータでは、この印刷条件が無効となることがあります。

N.コントラスト

多値画像（グレースケール）のコントラストを設定します。「100%」よりも大きい値を設定すると画像の明暗の差が大きく、小さい値を設定すると明暗の差が小さく印刷されます。

指定範囲は 1～1,000% です。1%単位で指定できます。

工場出荷時の設定：100%

条件

- 黒と白だけの 2 値画像のとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで contrast を指定したとき、この項目の設定は無効です。
- 一部のカラーデータでは、この印刷条件が無効となることがあります。

O.中央配置

印刷領域の中央に画像を印刷するかどうかを設定します。

設定値

- しない
- する

工場出荷時の設定：する

動作

- 「しない」に設定すると、印刷領域の左上端が印刷開始位置（画像の左上端）になります。
- 「する」に設定しているときでも、印刷条件の「D.X オフセット」、「E.Y オフセット」を設定するか、印刷オプションの xoffset、yoffset、を指定すると、その設定値の分だけ中央から移動して印刷されます。

条件

- 印刷オプションで center または nocenter を指定したとき、この項目の設定は無効です。

↓ 補足

- 印刷領域は、印刷条件の「S.印刷領域」の設定値、または印刷オプションの maxarea と normalarea の指定値で決まる印刷領域から、印刷条件の「9.左余白」、「A.右余白」、「B.上余白」、「C.下余白」、「H.マルチカラム」、「I.マルチロー」の設定値と、印刷オプションの leftspace、rightspace、topspace、bottomspace、multicols、multirows の設定値にしたがって印刷される領域です。

P.自動変倍

受信した画像の大きさが、印刷領域に収まるように自動的に拡大、縮小して印刷するかどうかを設定します。画像の縦横比は保持されます。

設定値

- しない
- する

工場出荷時の設定：しない

動作

- 「しない」に設定すると、画像が等倍で印刷されます。
- 「する」に設定しているときでも、印刷条件の「8.変倍率」、「J.横変倍率」、「K.縦変倍率」、「T.実サイズ変倍」を設定するか、印刷オプションの mag、xmag、ymag、tiffit、notiffit のいずれかを指定すると、その変倍率とこの項目で設定した印刷領域に合わせた変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。

条件

- 印刷オプションで fit または nofit を指定したとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷条件の「b.自動縮小」で縮小サイズを設定したとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで autoreduce を指定したとき、この項目の設定は無効です。

↓ 補足

- 印刷領域は、印刷条件の「S.印刷領域」の設定値、または印刷オプションの maxarea と normalarea の指定値で決まる印刷領域から、印刷条件の「9.左余白」、「A.右余白」、「B.上余白」、「C.下余白」、「H.マルチカラム」、「I.マルチロー」の設定値と、印刷オプションの leftspace、rightspace、topspace、bottomspace、multicols、multirows の設定値にしたがって印刷される領域です。

Q.エラー印刷

エラーが発生したときに、エラーメッセージを印刷するかどうかを設定します。

設定値

- しない
- する

工場出荷時の設定：しない

動作

- 「する」に設定すると、RTIFF エミュレーションに切り替えたあとに発生したエラー、または前回のエラーメッセージの印刷後に発生したエラーについてエラーメッセージが印刷されます。

条件

- 印刷オプションで errorprint または noerrorprint を指定したとき、この項目の設定は無効です。

↓ 補足

- 「する」に設定していても、RTIFF エミュレーションがリセットされたときは、エラーメッセージは印刷されません。
- 「しない」に設定していても、操作部やサマリー印刷指定コマンドで印刷条件リストを印刷すると、エラー欄にエラーメッセージが印刷されます。
- エラーメッセージについては、P.175 「エラーメッセージ」を参照してください。

3

S.印刷領域

用紙に余白をとって印刷するか、用紙の端まで印刷するかを設定します。ただし、印刷領域を設定しても、実際の用紙の印刷位置が想定どおりにならないことがあります。

設定値

- 標準
- 最大

工場出荷時の設定：**最大**

動作

- 「標準」に設定すると、印刷領域の上下左右に約 5mm ずつの余白ができます。
- 「最大」に設定すると、ほぼ用紙の端までが印刷領域になります。

条件

- 印刷オプションで maxarea または normalarea を指定したとき、この項目の設定は無効です。

T.実サイズ変倍

受信した画像を自動的に拡大、縮小して、実物大で印刷するかどうかを設定します。

設定値

- しない
- する

工場出荷時の設定：**する**

動作

- 「しない」に設定すると、受信した画像が実物大で印刷されません。等倍の大きさで印刷されます。

- 「する」に設定しているときでも、印刷条件の「8.変倍率」、「J.横変倍率」、「K.縦変倍率」、「P.自動変倍」を設定するか、印刷オプションの mag、xmag、ymag、fit、nofit、autoreduce を指定すると、その変倍率とこの印刷条件による画像を実物大にするための変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- TIFF 形式と CALS 形式以外のイメージデータのときは、設定は無効です。
- 拡大、縮小の倍率は、TIFF データのタグに記述されている横と縦方向の解像度情報と印刷時のエンジン解像度を基に計算できます。たとえば、横方向の解像度が 200dpi、縦方向の解像度が 400dpi のタグを持つ TIFF データを 600dpi のエンジン解像度で印刷したとき、横方向は 3.0 倍 (600/200)、縦方向は 1.5 倍 (600/400) で印刷されます。
- マルチページの TIFF データのとき、各ページの解像度情報を基に拡大、縮小されます。

条件

- 「する」に設定していても、解像度情報のタグがない TIFF データやページ、またはヘッダーレコードがない CALS データのとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで tiffit または notiffit を指定したとき、この項目の設定は無効です。

↓ 補足

- 印刷オプションの autoreduce と、印刷条件の「P.自動変倍」の「する」、または印刷オプションの fit を同時に指定したとき、autoreduce の指定または印刷条件「b.自動縮小」の設定が優先されます。

U.自動用紙選択

画像の大きさに適した用紙サイズの給紙部が自動的に選択され、画像の向きも適切な方向で印刷されるように設定できます。

設定値

- しない
- する

工場出荷時の設定：**する**

動作

- 「しない」に設定すると、自動的に選択されません。
- 「する」に設定すると、自動的に選択されます。
- 「する」を設定すると、印刷条件の「1.給紙部」、「2.用紙サイズ」、「5.印刷方向」、「H.マルチカラム」、「I.マルチロー」の設定と、印刷オプションの portrait、landscape、multicols、multirows の指定は無効になります。
- 選択の対象にならない給紙部があります。すべての給紙部が選択対象外のときは、操作部に表示されている給紙部から給紙されます。

- 印刷条件の「8.変倍率」、「J.横変倍率」、「K.縦変倍率」、「T.実サイズ変倍」、「b.自動縮小」、「9.左余白」、「A.右余白」、「B.上余白」、「C.下余白」、「D.X オフセット」、「E.Y オフセット」のいずれかを設定しているか、印刷オプションの mag、xmag、ymag、tiffit、notiffit、autoreduce、leftspace、rightspace、topspace、bottomspace、xoffset、yoffset のいずれかを指定しているときは、これらの設定や指定が反映された画像の大きさを基準に給紙部が選択されます。
- 適切な用紙サイズから画像がはみ出したり余白ができたりする許容範囲を、印刷条件の「V.用紙超過率」で設定できます。
- 選択の対象となっている給紙部の最大の用紙サイズよりも画像が大きいとき、給紙部の中で最大の用紙サイズの給紙部が選択されます。
- 印刷条件の「X.不定形オートカット」を「する」に設定したときや、印刷オプションの autopaper に指定値 freecut をつけて指定したとき、不定形サイズが設定されている給紙部を優先できます。

条件

- 印刷オプションで tray、paper、autopaper のいずれかを指定したとき、この項目の設定は無効です。
- PjL または関連の印刷オプションで、逆方向印刷を指定しているとき、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。

V.用紙超過率

画像の大きさに適した用紙サイズの給紙部を自動的に選択するとき、適切な用紙サイズから画像がはみ出したり余白ができたりする許容範囲を設定します。

指定範囲は±50%です。1%単位で指定できます。

工場出荷時の設定：5%

動作

- 超過率を「10%」と指定すると、用紙が 10%分大きいサイズ（110%の大きさ）まで印刷できるものとして給紙部が選択されます。「-10%」と指定すると、用紙が 10%分小さいサイズ（90%の大きさ）しか印刷できないものとして給紙部が選択されます。

条件

- 印刷条件の「U.自動用紙選択」の設定が「しない」になっているとき、または印刷オプションの tray、paper を指定して autopaper を指定しないとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションの autopaper で超過率を指定したとき、この項目の設定は無効です。

↓ 補足

- 画像の大きさに適した用紙サイズの給紙部を自動的に選択するには、印刷条件の「U. 自動用紙選択」または印刷オプションの autopaper で設定します。

W.データバッファ

本機で TIFF データをラスタライズする間、入力データを一時的に記憶しておくためのデータバッファ（デバイス）を設定します。

★ 重要

- 「ハードディスク」に設定しているとき、入力データの処理中にプリンターの電源を切らないでください。入力データの処理中にプリンターの電源を切ると、ハードディスクが破損することがあります。

設定値

- メモリー
- ハードディスク

工場出荷時の設定：メモリー

動作

- 「メモリー」に設定すると、データバッファにメモリーが使用されます。
- 「ハードディスク」に設定すると、データバッファにハードディスクが使用されます。データの格納順序の制約やデータサイズの制限のためエラーが発生して印刷できない TIFF ファイル、または CALS ファイルが印刷することがあります。ただし、入力データによっては設定しないときに比べて印刷に時間がかかることがあります。

条件

- 印刷オプションで diskbuffer または memorybuffer を指定したとき、この項目の設定は無効です。

↓ 補足

- TIFF データの格納順序の制約やデータサイズの制限については、P.163 「入力データの仕様」を参照してください。

X.不定形オートカット

印刷画像のサイズ判別をして、不定形サイズの印刷画像を最小の大きさに印刷されるように設定できます。

設定値

- しない
- する

工場出荷時の設定：する

動作

- 「しない」に設定すると、不定形サイズの印刷画像が最小の大きさを印刷されません。
- 「する」に設定すると、不定形サイズの印刷画像が最小の大きさを印刷されます。

条件

- 印刷画像が定形サイズの画像か不定形サイズの画像かを判別し、不定形サイズの画像であったとき、画像の幅に最適な不定形サイズを設定した給紙部を選択して、給紙部のカット長を画像の縦サイズに合わせて印刷します。
- 印刷画像サイズに合わせて変更した不定形用紙の縦、横の値は、「プリンター初期設定：システム設定（EM）」の「不定形サイズ設定：給紙部 1」、「不定形サイズ設定：給紙部 2」には反映されません。
- 印刷画像サイズに合わせて変更した不定形用紙の縦、横の値は、印刷条件リストのシステム構成欄に「不定形サイズ」として表示されます。
- 定形サイズ用の紙サイズから±10mm の範囲で、画像を回転させて収まらない大きさを不定形サイズと判定します。
- 定形の印刷画像サイズを判別するとき、超過率は含まれません。
- 不定形サイズが設定されている給紙部を検索するときの印刷画像サイズは、超過率を含みます。
- 印刷条件の「U.自動用紙選択」が「しない」に設定されていて、印刷オプションの autopaper を指定しないとき、この項目の設定が無効になります。
- 印刷オプションで tray、paper、のどれかを指定して、印刷オプションの autopaper を指定しないとき、この項目の設定が無効になります。
- 印刷オプションの autopaper で freecut または nofreecut を指定したときか、印刷オプションの freesize を指定したときは、この印刷条件は無効になります。
- 印刷画像が定形サイズと判定される、または印刷できる給紙部がないとき、この項目の設定が無効になります。
- 給紙部検索方法は以下のとおりです。
 1. 印刷画像サイズを判定します。
 2. 不定形サイズのとき、幅の小さい不定形サイズが設定されている給紙部から画像が収まる給紙部を検索します。
 - 画像の長辺が不定形サイズの設定されている給紙部の幅に収まるとき、その給紙部に印刷します。
 - 画像の短辺が不定形サイズの設定されている給紙部の幅に収まるとき、その給紙部に印刷します。
 3. 画像が収まる不定形サイズの設定されている給紙部がないとき、この項目の設定が無効になり、「U.自動用紙選択」と同じ動作になります。

4. 不定形サイズが設定されている給紙部に印刷したとき、不定形サイズが設定されている給紙部のサイズは「不定形サイズ設定：給紙部 1」、「不定形サイズ設定：給紙部 2」の設定値には反映されません。

↓ 補足

- 不定形サイズが設定されている給紙部の最小カット長以下の画像サイズの場合は、最小カット長で印刷されます。

Z.画像の向き

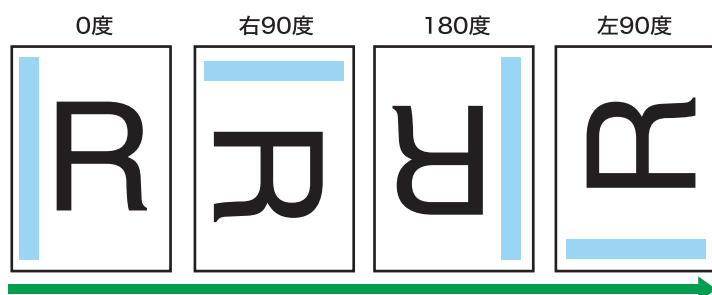
後処理が含まれる印刷データで、画素の方向に画像の向きを変更できます。指定した後処理の位置は、変更した画像の向きを考慮して処理されます。

設定値

- 0 度回転画像
- 右 90 度回転画像
- 180 度回転画像
- 左 90 度回転画像

工場出荷時の設定：0 度回転画像

後処理を「左」に指定したとき



■ 後処理の位置
→ 画素の方向

CLW030

動作

- 「0 度回転画像」に設定すると、画像の向きと画素方向が同一の画像データとして後処理をします。
- 「右 90 度回転画像」に設定すると、画像の向きが画素方向に対し 90 度回転している画像データとして後処理をします。
- 「180 度回転画像」に設定すると、画像の向きが画素方向に対し 180 度回転している画像データとして後処理をします。

- 「左 90 度回転画像」に設定すると、画像の向きが画素方向に対し 270 度回転している画像データとして後処理をします。

↓ 補足

- 印刷オプションの orientation を指定したとき、「Z.画像の向き」の設定は無効です。

b.自動縮小

用紙より大きい画像を用紙に収まるように縮小できます。

設定値

- 縮小しない、A3 に縮小、A4 に縮小、A5 に縮小、A6 に縮小、B4 に縮小、B5 に縮小、B6 に縮小、ハガキに縮小、LT に縮小、HL に縮小、DL に縮小、LG に縮小、AC に縮小、A0 に縮小、A1 に縮小、A2 に縮小、B1 に縮小、B2 に縮小、B3 に縮小、12×18 に縮小、18×24 に縮小、9×12 に縮小、8¹/₂×13 に縮小、36×48 に縮小、34×44 に縮小、30×42 に縮小、24×36 に縮小、22×34 に縮小、21×30 に縮小、15×20 に縮小

工場出荷時の設定：**縮小しない**

動作

- 画像サイズが用紙サイズより大きいとき、用紙に収まるように縮小して印刷します。
- 画像サイズが用紙サイズより小さいとき、等倍で印刷します。
- 画像サイズは印刷条件「d.自動縮小無効倍率」の設定値で判断します。
- 「縮小しない」に設定すると自動縮小しません。
- 画像サイズは、印刷条件の「T.実サイズ変倍」、「8.変倍率」、「J.横変倍率」、「K.縦変倍率」の設定値、または印刷オプションの tiffit、mag、xmag、ymag の指定値にしたがって拡大・縮小された画像に自動縮小するかどうか判断します。
- この印刷条件を設定すると、印刷条件の「P.自動変倍」の「する」、または印刷オプションの fit の指定は無効になります。

↓ 補足

- 印刷オプションの autoreduce を指定したとき、「b.自動縮小」の設定は無効です。

c.自動縮小余白補正

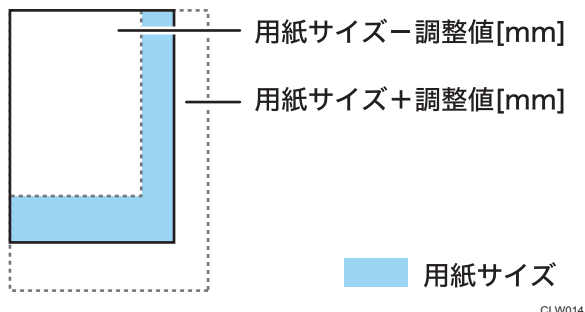
印刷条件の「b.自動縮小」、または印刷オプションの autoreduce で設定した用紙サイズを調整できます。

指定範囲は±100mm です。1mm 単位で指定できます。

工場出荷時の設定：**0mm**

動作

- 印刷条件の「b.自動縮小」で設定した用紙サイズの大きさを調整して印刷します。
- 調整した値は、縮小するときの縮小率算出だけに影響し、縮小判定サイズには影響しません。
- 設定値と用紙サイズが画像サイズより大きいとき、画像が拡大されることがあります。



↓ 補足

- 印刷条件の「b.自動縮小」で設定した「用紙」の短辺より設定値が大きいとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷条件の「b.自動縮小」を「縮小しない」に設定して、印刷オプションの autoreduce を指定しないとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションの autoreduce に余白補正値を指定したとき、この印刷条件は無効です。

d.自動縮小無効倍率

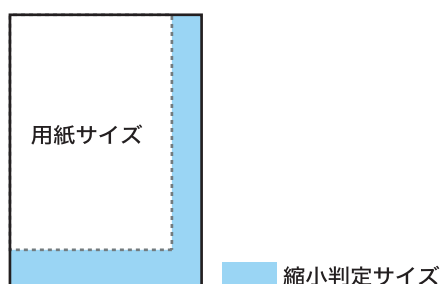
印刷条件の「b.自動縮小」、または印刷オプションの autoreduce で設定した縮小判定サイズを調整できます。

指定範囲は±50%です。1%単位で指定できます。

工場出荷時の設定：5%

動作

- 調整した用紙サイズの大きさは、縮小判定サイズだけに影響し、縮小するときの縮小率算出には影響しません。
- 設定値には、縮小判定サイズを調整する値を設定します。
- 「縮小判定サイズ」は、用紙サイズに自動縮小無効倍率の設定値を乗じたサイズです。このサイズに収まらないときだけ画像を縮小します。



CLW015

3

↓ 補足

- 印刷条件の「b.自動縮小」を「縮小しない」に設定して、印刷オプションの autoreduce を指定しないとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションの autoreduce に無効倍率が指定されたとき、この項目の設定は無効です。

e.縮小変倍時細線補正

ドットの間引きまたは画素補正を考慮して変倍できます。縮小印刷したときに細線が消えることを回避できます。

設定値

- 画素間引き
- 横線補正
- 縦線補正
- 縦線・横線補正

工場出荷時の設定：**縦線・横線補正**

動作

- 「画素間引き」を設定すると、ドットを間引いて変倍されます。
- 「横線補正」を設定すると、画像の横方向の細線を画素補正して変倍されます。
- 「縦線補正」を設定すると、画像の縦方向の細線を画素補正して変倍されます。
- 「縦線・横線補正」を設定すると、画像の縦方向と横方向の細線を画素補正して変倍されます。

条件

- 「画素間引き」を設定すると、画像縮小したときに細線が消えることがあります。
- 画素補正の変倍を指定すると変倍処理が変わるため、設定によって印刷結果が異なることがあります。
- 等倍または拡大印刷時は、この印刷条件の指定による効果はありません。
- この印刷条件は、画像系の TIFF データには適しません。

- 印刷オプションの magprocess、magprocessx、magprocessy、magprocessxy が指定されたとき、この印刷条件の設定は無効です。
- 「横線補正」、「縦線補正」、または「縦線・横線補正」を設定したとき、メモリーに十分な余裕がないと縮小できないことがあります。

f.カラー/白黒選択

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを選択できます。

設定値

- 白黒
- カラー

工場出荷時の設定：**カラー**

動作

- 「白黒」を設定すると、モノクロで印刷されます。
- 「カラー」を設定すると、カラーで印刷されます。

条件

- 印刷オプションの colormode、monomode が指定されたとき、この印刷条件の設定は無効です。

g.印刷品質

印刷品質を設定します。

設定値

- 高速
- 標準
- きれい
- 高速モード（線画）

工場出荷時の設定：**高速モード（線画）**

動作

- 「高速」を設定すると、印刷速度を優先する設定で印刷します。
- 「標準」を設定すると、画質と速度のバランスが取れた設定で印刷します。
- 「きれい」を設定すると、画質を優先した設定で印刷します。
- 「高速モード（線画）」を設定すると、印刷速度を優先しつつ、細い線を含んだ表や CAD の印刷に適した設定で印刷します。

条件

- 印刷オプションの printquality が指定されたとき、この印刷条件の設定は無効です。

↓ 補足

- 普通紙、再生紙、インクジェット普通紙、薄紙、コート紙（CAD 用）以外の用紙を用紙種類に選択したとき、工場出荷値は「高速」になります。

3

h.優先用紙方向

優先する給紙部の用紙方向を設定します。

設定値

- 画像方向優先
- ヨコ置き用紙優先
- タテ置き用紙優先

工場出荷時の設定：**画像方向優先**

動作

- 「画像方向優先」を設定すると、縦長の印刷画像は縦置き、横長であれば横置きの給紙部を優先して選択します。
- 「ヨコ置き用紙優先」を設定すると、横置きの給紙部を優先して選択します。
- 「タテ置き用紙優先」を設定すると、縦置きの給紙部を優先して選択します。

条件

- 印刷条件の「U.自動用紙選択」の設定が「しない」の場合で、かつ印刷オプションの autopaper を指定しないとき、この項目の設定は無効となります。
- 印刷オプションの tray、paper のいずれかを指定した場合で、かつ印刷オプションの autopaper を指定しないとき、この項目の設定は無効となります。
- 印刷オプションの autopaper に speedpriority、lefpriority、sefpriority のいずれかの指定値をつけて指定したとき、この項目の設定は無効となります。

i.自動給紙部選択時紙ナシ給紙部

用紙切れの給紙部を用紙選択の検索対象に含めるかどうかを設定します。

設定値

- 選択対象とする
- 選択対象外

工場出荷時の設定：**選択対象とする**

動作

- 「選択対象とする」を設定すると、用紙切れの給紙部を用紙選択の対象にし、「選択対象外」に設定すると用紙切れの給紙部を用紙選択の対象にしません。

条件

- 印刷オプションの emptytray、noemptytray のいずれかを指定したとき、この項目の設定は無効となります。

印刷オプションを指定する

印刷オプションとは

印刷オプションとは、UNIX ワークステーションやパソコンからネットワークプリンターに印刷するときに、印刷のコマンドとともに入力する文字列のことです。

印刷オプションによって印刷条件を指定できます。印刷オプションによる指定は、本機の操作部で設定した印刷条件よりも優先されます。ただし、印刷オプションは本機の操作部で設定した内容の一部を一時的に変更して印刷するためのものであり、その印刷のコマンドが終了した時点で無効です。

↓ 補足

- 印刷のコマンドで印刷オプションを指定できるのは、ネットワークプロトコルが TCP/IP のときだけです。印刷オプション指定コマンドについては、P.173 「印刷オプション指定コマンド」を参照してください。
- 印刷オプションによっては、指定したオプションの値と本機の操作部で設定した印刷条件の値が組み合わされるものがあります。

印刷オプションの指定方法

印刷オプションの指定方法は、印刷に使用するコマンドによって異なります。たとえば UNIX ワークステーションからの印刷に ftp コマンドを使用するとき、印刷コマンドの後ろに半角スペースを入力し、続けて印刷オプションを入力します。

RTIFF エミュレーションに切り替え、給紙部 1 から給紙し、印刷部数を 3 部、印刷領域の中央に画像を印刷するには、以下のように指定します。

```
ftp> put (TIFF ファイル名) , filetype=RTF, tray=1, copies=3, center
```

印刷のコマンド TIFFファイル名

印刷オプション

- 複数の印刷オプションを指定するときは、それぞれを「,」で区切ります。
- 印刷オプションには、指定値が必要なものとそうでないものがあります。指定値は、印刷オプション名の後ろに「=」を入力し、続けて指定値を入力します。
- 「=」を含まない印刷オプションを単独で指定するときは、印刷オプションの先頭に「,」を追加します。

↓ 補足

- 印刷コマンドの使用方法は、『付録』「Windows からファイルを直接印刷する」を参照してください。
- 「=」が使用できない OS では、代わりに「_」（アンダースコア）を使用してください。

- 印刷オプションとして指定できる文字数は 1,023 バイト以内です。ただし、OS やネットワークインターフェース、アプリケーションなどの環境によって、これよりも少なくなることがあります。
- 範囲外の値や誤った印刷オプションを指定すると、正常に印刷できないことがあります。

印刷オプション一覧表

印刷オプション名	指定値	機能概要
filetype	RTF	印刷に使用するエミュレーションを指定します。
	P1～P16	印刷に使用するプログラムを指定します。
tray	1、2、3、4*、5*、6*、T	給紙部を指定します。 *付きの指定値は、関連の給紙オプションが未装着のときは無効となります。
paper	用紙	指定した条件に合う用紙がセットされている給紙部を指定します。
	用紙/紙種 1/紙種 2/.../紙種 n	指定した条件に合う用紙がセットされている給紙部を指定します。
autotray	指定値なし	用紙切れのときにほかの給紙部に切り替えます。
noautotray		
portrait	指定値なし	用紙内の画像の向きを指定します。
landscape		
600dpi	指定値なし	エンジン解像度を選択します。
copies	1～999	印刷部数を指定します。
mag	0.002～500	画像を縦横同率で拡大、縮小します。
	用紙 1.用紙 2	画像を縦横同率で拡大、縮小します。
leftspace	±30cm	用紙の左側の余白を指定します。
rightspace	±30cm	用紙の右側の余白を指定します。
topspace	±30cm	用紙の上側の余白を指定します。
bottomspace	±30cm	用紙の下側の余白を指定します。
xoffset	±100cm	画像を横方向に移動します。

印刷オプション名	指定値	機能概要
yoffset	±100cm	画像を縦方向に移動します。
multicols	1～10	複数の画像を 1 枚の用紙に印刷するときの列数を指定します。
multirows	1～10	複数の画像を 1 枚の用紙に印刷するときの行数を指定します。
xmag	0.002～500	画像を横方向に拡大、縮小します。
ymag	0.002～500	画像を縦方向に拡大、縮小します。
negative	指定値なし	画像を白黒反転します。
positive		
brightness	0.01～999	多値画像（グレースケール）の明るさを変更します。
contrast	0.01～999	多値画像（グレースケール）のコントラストを変更します。
center	指定値なし	画像を印刷領域の中央に配置します。
nocenter		
fit	指定値なし	画像を印刷領域に合わせて拡大、縮小します。
nofit		
tiffit	指定値なし	画像が実物大になるように拡大、縮小します。
notiffit		

印刷オプション名	指定値	機能概要
autopaper	指定値なし	画像の大きさに適した給紙部と用紙内の画像の向きを自動的に選択します。
	用紙 1/用紙 2/.../用紙 n	画像の大きさに適した給紙部と用紙内の画像の向きを自動的に選択します。
	紙種 1/紙種 2/.../紙種 n	画像の大きさに適した給紙部と用紙内の画像の向きを自動的に選択します。
	超過率	画像の大きさに適した給紙部と用紙内の画像の向きを自動的に選択します。
	用紙 1/用紙 2/.../用紙 n/紙種 1/紙種 2/.../紙種 n/超過率	画像の大きさに適した給紙部と用紙内の画像の向きを自動的に選択します。
	/freecut または/nofreecut	不定形サイズの画像に最適な不定形サイズが設定されている給紙部から印刷します。
	/speedpriority、/lefpriority、/sefpriority	画像サイズに最適な給紙部と用紙の向きを自動的に選択します。
errorprint	指定値なし	エラーメッセージを印刷します。
noerrorprint		
colormode	指定値なし	カラーで印刷します。
monomode		モノクロで印刷します。
maxarea	指定値なし	印刷領域を選択します。
normalarea		
printquality	speedpriority、standard、qualitypriority、speedpriorityline	印刷品質を指定します。
diskbuffer	指定値なし	データバッファを選択します。
memorybuffer		
orientation	画像方向 (0、90、180、270)	画像方向を選択します。

印刷オプション名	指定値	機能概要
autoreduce	用紙サイズ (a0、a1、a2 など)	画像の大きさが指定用紙サイズよりも大きいときは、指定用紙サイズに縮小します。
	余白補正值 (±30cm)	自動縮小機能で用紙サイズの大きさを指定します。
	無効倍率 (-99%～)	自動縮小判定サイズの無効倍率を指定します。
freesize	幅×高さ (/tr または/tt)	不定形サイズを mm 単位で指定します。
magprocess	指定値なし	間引きまたは画像補正を考慮した変倍をするか指定します。
magprocessx		
magprocessy		
magprocessxy		
imagedirection	reverse、normal	用紙内の画像の向きを 180 度回転します。
emlimagedirection	reverse、normal	用紙内の画像の向きを 180 度回転します。
emlusercode	ユーザーコード (半角数字 8 桁以内)	ユーザーコードを指定します。
emlqty	ソート部数 (1～999)	ソートします。
usercode	ユーザーコード (半角数字 8 桁以内)	ユーザーコードを指定します。
pjl	on	後処理関係の印刷オプション (qty) を有効にします。
qty	ソート部数 (1～999)	ソートします。
emptytray	指定値なし	用紙切れの給紙部を用紙選択対象に含めます。
noemptytray	指定値なし	用紙切れの給紙部を用紙選択対象に含めません。

印刷オプションの指定項目

filetype

印刷に使用するエミュレーションを指定します。また、エミュレーションの代わりに登録されているプログラムも指定できます。

書式

filetype=エミュレーション名

filetype=プログラム番号

または

fil=エミュレーション名

fil=プログラム番号

指定値と動作

- 「エミュレーション名」は 3 文字の省略名です。RTIFF エミュレーションに切り替えるときは「RTF」を指定します。印刷条件は RTIFF エミュレーションの初期値が呼び出されます。
- 「プログラム番号」は、「P1」から「P16」のプログラム番号を指定します。RTIFF エミュレーションが登録されているプログラムを指定してください。印刷条件はプログラムに登録されている設定値が呼び出されます。

説明

- この印刷オプションを指定しなかったときは、操作部で呼び出されているエミュレーションで印刷されます。RTIFF エミュレーションになっていないときは、正常に印刷されないことがあります。[プリンター初期設定] の [システム設定] タブにある [エミュレーション検知] を [する] に設定しているときは、正しい TIFF ファイルを送信すると RTIFF モードに自動的に切り替わります。

tray

印刷に使用する給紙部を指定します。

書式

tray=給紙部番号

指定値と動作

給紙部番号を指定します。指定した給紙部番号によって給紙部が選択されます。

設定値	選択される給紙部
1	給紙部 1：定形サイズ□
2	給紙部 1：定形サイズ□
3	給紙部 1：不定形サイズ
4	給紙部 2：定形サイズ□
5	給紙部 2：定形サイズ□
6	給紙部 2：不定形サイズ
T	手差し給紙部

説明

- 装着されていない給紙オプションに関する指定値を指定したときはこの印刷オプションは無効です。
- ここで指定した給紙部に、本機で給紙できない用紙や、RTIFF エミュレーションに対応していない用紙サイズ、紙種の用紙がセットされているとき、この印刷オプションの指定が無効になり、操作部に表示されている給紙部から給紙されます。
- この印刷オプションを指定したとき、本機の操作部で設定した印刷条件の「1.給紙部」、「2.用紙サイズ」、「U.自動用紙選択」、「V.用紙超過率」は無効です。
- この印刷オプション指定しないとき、給紙部は印刷オプションの paper、autopaper の指定、または印刷条件の「1.給紙部」、「2.用紙サイズ」、「U.自動用紙選択」、「V.用紙超過率」の設定に従い選択します。
- 印刷オプションの paper または autopaper のどちらかを同時に指定したとき、この印刷オプションは無効です。
- P/L または関連の印刷オプションで回転ソートを指定しているとき、選択されている給紙部とは異なる給紙部から給紙されることがあります。

↓ 補足

- リミットレス給紙の設定を有効にしていると、設定した給紙部とは異なる給紙部から給紙されることがあります。給紙部を特定するときは、印刷条件の「4.リミットレス給紙」を「自動」または「しない」に設定するか、印刷オプションで noautotray を指定してください。
- 設定値 4、設定値 5、設定値 6 は、給紙部 2 を装着しているときだけ指定できます。

paper

指定した用紙のサイズと向き、用紙の種類の条件に合った給紙部を指定します。

書式

paper=用紙

paper=用紙/紙種 1/紙種 2/.../紙種 n

↓ 補足

- 指定値は「/」で区切ってください。

指定値と動作

給紙部を、用紙のサイズと向き（「用紙」）、用紙の種類（「紙種 1」、「紙種 2」、...、「紙種 n」）で指定します。

用紙のサイズと向き

指定値	動作
a0r	A0 タテ (D) の給紙部から給紙されます。

指定値	動作
a1	A1 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
a1r	A1 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
a2	A2 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
a2r	A2 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
a3	A3 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
a3r	A3 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
a4	A4 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
b1r	B1 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
b2	B2 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
b2r	B2 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
b3	B3 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
b3r	B3 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
b4	B4 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
s1	S1 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
s2	S2 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
s3	S3 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
s4	S4 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
s5	S5 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
s6	S6 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
s7	S7 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
s8	S8 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
s9	S9 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
ac	17×22 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
acr	17×22 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
lt	8 ¹ / ₂ ×11 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
dl	11×17 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
dlr	11×17 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
lg	8 ¹ / ₂ ×14 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
12x18	12×18 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
12x18r	12×18 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
36x48r	36×48 タテ (□) の給紙部から給紙されます。

指定値	動作
34x44r	34×44 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
30x42r	30×42 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
24x36	24×36 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
24x36r	24×36 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
22x34	22×34 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
22x34r	22×34 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
21x30	21×30 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
18x24	18×24 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
18x24r	18×24 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
9x12	9×12 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
15x20r	15×20 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
free	不定形サイズが設定されている給紙部から給紙されます。

用紙の種類

指定値	動作
plain	普通紙の給紙部から給紙されます。
thin	薄紙の給紙部から給紙されます。
middlethick	中厚口の給紙部から給紙されます。
thick	厚紙 1 の給紙部から給紙されます。
thick2	厚紙 2 の給紙部から給紙されます。
recycled	再生紙の給紙部から給紙されます。
inkjetplain	インクジェット普通紙の給紙部から給紙されます。
special	特殊紙の給紙部から給紙されます。
matfilm	フィルム（マット加工）の給紙部から給紙されます。
cadcoated	コート紙（CAD 用）の給紙部から給紙されます。
coated	コート紙の給紙部から給紙されます。
translucent	トレーシングペーパー（第二原図用紙）の給紙部から給紙されます。

以下の指定値は使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのときだけ指定できます。

- a0r、a1、b1r、b2、s1、s2、s3、s4、s5、s8、36×48r、34×44r、30×42r、24×36、22×34、21×30

使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのとき、[36 インチ幅ロール紙のカットサイズ仕様] で [日本仕様 (mm)] を選択すると [S1] が指定できます。[海外仕様 (inch)] を選択すると [36×48] と [24×36] が指定できます。詳しくは、『プリンター』『システム設定 (EM)』を参照してください。

説明

- 指定値「紙種 1」、「紙種 2」、...、「紙種 n」を指定したとき、用紙サイズと向き、条件が一致し、さらに紙種が一致する給紙部から給紙されます。紙種を指定していないときは、「普通紙」、「再生紙」のどちらかの用紙がセットされている給紙部から給紙されます。
- この印刷オプションで指定した用紙のサイズと向き、種類の条件を満たす給紙部がセットされていないときは、操作部に表示されている給紙部から給紙されません。
- 選択の対象にならない給紙部があります。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷オプションの tray、本機の操作部で設定した印刷条件の「1.給紙部」、「2.用紙サイズ」、「U.自動用紙選択」、「V.用紙超過率」は無効です。
- 印刷オプションの autopaper を同時に指定したとき、この印刷オプションは無効です。

↓ 補足

- リミットレス給紙の設定を有効にしていると、設定した給紙部とは異なる給紙部から給紙されることがあります。給紙部を特定するときは、印刷条件の「4.リミットレス給紙」を「しない」に設定するか、印刷オプションで noautotray を指定してください。

autotray、noautotray

印刷中に給紙部の用紙がなくなったとき、ほかの給紙部に自動的に切り替えて印刷するかどうかを指定します。

切り替え対象の給紙部は、同サイズ、同紙種の用紙がセットされている給紙部です。

書式

autotray

noautotray

指定値と動作

印刷オプション名	動作
autotray	給紙部が自動的に切り替えられます。
noautotray	給紙部は自動的に切り替えられません。

説明

- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「4.リミットレス給紙」は無効です。

portrait、landscape

画像が印刷される向きを指定します。

書式

portrait

landscape

指定値と動作

portrait のときの仕上がり



CLW028

landscape のときの仕上がり



CLW029

説明

- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「5.印刷方向」は無効です。
- 印刷条件の「U.自動用紙選択」を「する」に設定する場合で、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定しないときは、これらの印刷オプションは無効です。
- 印刷オプションの autopaper を同時に指定したとき、これらの印刷オプションは無効です。
- PjL または関連の印刷オプションで、逆方向印刷を指定しているとき、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。

600dpi

印刷に使用する解像度を指定します。

書式

600dpi

指定値と動作

印刷オプション名	動作
600dpi	600dpi で印刷されます。

3

copies

印刷する部数を指定します。指定した部数で各ページが複写印刷されます。

書式

copies=印刷部数

指定値と動作

- 「印刷部数」は、1～999 の範囲の整数で指定します。

説明

- この印刷オプションを指定したとき、本機の操作部で設定した「印刷部数」は無効です。

mag

画像を拡大または縮小して印刷する変倍率を指定します。拡大または縮小しても、画像の縦横比は保持されます。

書式

mag=変倍率

mag=用紙 1.用紙 2

指定値は、「.」で区切ってください。

指定値と動作

- 「変倍率」は、0.002～500 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると拡大、小さい値を指定すると縮小されます。
- 「用紙 1」と「用紙 2」の 2 つのサイズを指定します。「用紙 1」のサイズが「用紙 2」のサイズになるような変倍率で印刷されます。指定値とその用紙サイズは、以下のとおりです。

指定値	用紙サイズ
a0	A0

指定値	用紙サイズ
a1	A1
a2	A2
a3	A3
a4	A4
b1	B1
b2	B2
b3	B3
b4	B4

以下の指定値は使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのときだけ指定できます。

- a0、b1

説明

- 印刷オプションの xmag、ymag、fit、nofit、tiffit、notiffit、autoreduce が指定されているとき、または印刷条件で「J.横変倍率」、「K.縦変倍率」、「P.自動変倍」、「T.実サイズ変倍」、「b.自動縮小」が設定されているとき、その変倍率とこの印刷オプションで指定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「8.変倍率」は無効です。

↓ 補足

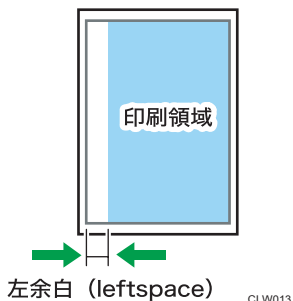
- 印刷条件の「P.自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「b.自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

leftspace

左側の余白を指定します。

書式

leftspace=寸法



指定値と動作

- 「寸法」は、印刷領域の左端から印刷開始位置までの寸法を±30cmの範囲で単位付きの整数または小数で指定します。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。
- 上記の寸法内であれば、mm や inch (約 25.4mm)、pt (ポイント)、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

`leftspace=25mm`

単位を省略すると、cm で指定したことになります。

説明

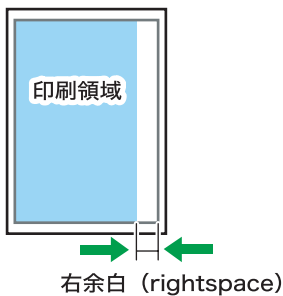
- この印刷オプションを指定したとき、余白は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「9.左余白」の設定値を加えた値です。

rightspace

右側の余白を指定します。

書式

`rightspace=寸法`



CLW032

指定値と動作

- 「寸法」は、印刷領域の右端から印刷終了位置までの寸法を±30cmの範囲で単位付きの整数または小数で指定します。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。
- 上記の寸法内であれば、mm や inch (約 25.4mm)、pt (ポイント)、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

`rightspace=25mm`

単位を省略すると、cm で指定したことになります。

説明

- この印刷オプションを指定したとき、余白は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「A.右余白」の設定値を加えた値です。

↓ 補足

- 中央配置が有効になっている状態で `rightspace` を指定すると、指定した寸法を用紙幅から除いた領域を元にして、画像の中央位置が定められます。そのため、画像によっては、印刷範囲が用紙に収まりきらずに画像の左側が削られることがあります。

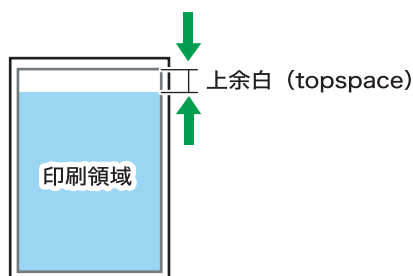
3

topspace

上側の余白を指定します。

書式

`topspace=寸法`



CLW042

指定値と動作

- 「寸法」は、印刷領域の上端から印刷開始位置までの寸法を±30cmの範囲で単位付きの整数または小数で指定します。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。
- 上記の寸法内であれば、mm や inch (約 25.4mm)、pt (ポイント)、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

`topspace=25mm`

単位を省略すると、cm で指定したことになります。

説明

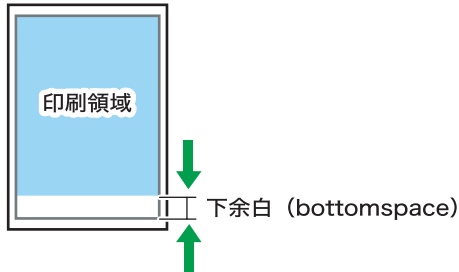
- 両面上と同じ印刷のとき、用紙の裏面では、この印刷オプションの指定値は下余白の値です。
- この印刷オプションを指定したとき、余白は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「B.上余白」の設定値を加えた値です。

bottomspace

下側の余白を指定します。

書式

bottomspace= 寸法



CLW033

指定値と動作

- 「寸法」は、印刷領域の下端から印刷終了位置までの寸法を±30cmの範囲で単位付きの整数または小数で指定します。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。
- 上記の寸法内であれば、mm や inch (約 25.4mm)、pt (ポイント)、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

bottomspace=25mm

単位を省略すると、cm で指定したことになります。

説明

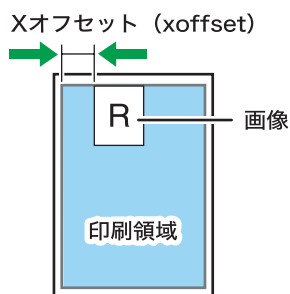
- この印刷オプションを指定したとき、余白は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「C.下余白」の設定値を加えた値です。

xoffset

印刷位置の横方向の移動量を指定します。

書式

xoffset= 寸法



CLW039

3

指定値と動作

- 「寸法」は、印刷位置の移動量を±100cmの範囲で単位付きの整数または小数で指定します。マイナスの値を指定すると左に、プラスの値を指定すると右に移動します。
- 上記の寸法内であれば、mmやinch（約25.4mm）、pt（ポイント）、dotでも指定できます。たとえば、25mmを指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

xoffset=25mm

単位を省略すると、cmで指定したことになります。

説明

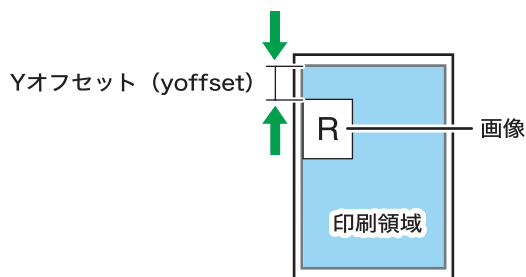
- この印刷オプションを指定したとき、移動量は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「D.X オフセット」の設定値を加えた値です。
- 印刷オプションでcenter、nocenterのどれかが指定されているとき、または印刷条件で「O.中央配置」が設定されているとき、その指定値とこの印刷オプションの指定値にしたがって横方向に移動します。

yoffset

印刷位置の縦方向の移動量を指定します。

書式

yoffset=寸法



CLW040

指定値と動作

- 「寸法」は、印刷位置の移動量を±100cmの範囲で単位付きの整数または小数で指定します。マイナスの値を指定すると上に、プラスの値を指定すると下に移動します。
- 上記の寸法内であれば、mm や inch (約 25.4mm)、pt (ポイント)、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

yoffset=25mm

単位を省略すると、cm で指定したことになります。

説明

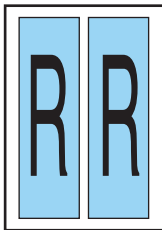
- この印刷オプションを指定したとき、移動量は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「E.Y オフセット」の設定値を加えた値です。
- 印刷オプションで center、nocenter のどれかが指定されているとき、または印刷条件で「O.中央配置」が設定されているとき、その指定値とこの印刷オプションの指定値にしたがって縦方向に移動します。

multicols

複数の画像を 1 枚の用紙に印刷するように指定します。横方向に並べる画像数（列数）を指定します。

書式

multicols=画像数



CLW016

指定値と動作

- 「画像数」は、列数を 1～10 の範囲の整数で指定します。

説明

- 縦方向に並べる画像数（行数）は、印刷オプションの multirows または印刷条件の「I.マルチロー」で指定します。
- 複数画像の印刷を指定した場合、設定した画像数に満たなくても以下のときは印刷されます。

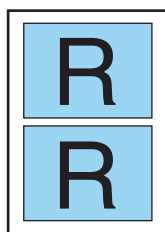
- エミュレーション切り替えコマンドなどの ESC シーケンスコマンドを受信したとき
- 本機がネットワークに接続されているときに、「EOF」を受信したとき
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「H.マルチカラム」は無効です。
- 印刷条件の「U.自動用紙選択」を「する」に設定する場合、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定しないときは、この印刷オプションは無効です。
- 印刷オプションの autopaper を同時に指定したとき、この印刷オプションは無効です。

multirows

複数の画像を 1 枚の用紙に印刷するように指定します。縦方向に並べる画像数（行数）を指定します。

書式

multirows=画像数



CLW017

指定値と動作

- 「画像数」は、行数を 1～10 の範囲の整数で指定します。

説明

- 横方向に並べる画像数（列数）は、印刷オプションの multicols または印刷条件の「H.マルチカラム」で指定します。
- 複数画像の印刷を指定した場合、設定した画像数に満たなくても以下のときは印刷されます。
 - エミュレーション切り替えコマンドなどの ESC シーケンスコマンドを受信したとき
 - 本機がネットワークに接続されているときに、「EOF」を受信したとき
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「I.マルチロー」は無効です。
- 印刷条件の「U.自動用紙選択」を「する」に設定する場合、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定しないときは、この印刷オプションは無効です。

- 印刷オプションの autopaper を同時に指定したとき、この印刷オプションは無効です。

xmag

横方向の変倍率を指定します。画像が横方向に拡大、縮小して印刷されます。

書式

xmag=変倍率

指定値と動作

- 「変倍率」は、0.002～500 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると拡大され、小さい値を指定すると縮小されます。

説明

- 印刷オプションの mag、fit、nofit、tiffit、notiffit、autoreduce が指定されているとき、または印刷条件で「8.変倍率」、「P.自動変倍」、「T.実サイズ変倍」、「b.自動縮小」が設定されているとき、その変倍率とこの印刷オプションで指定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「J.横変倍率」は無効です。

↓ 補足

- 印刷条件の「P.自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「b.自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

ymag

縦方向の変倍率を指定します。画像が縦方向に拡大、縮小して印刷されます。

書式

ymag=変倍率

指定値と動作

- 「変倍率」は、0.002～500 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると拡大、小さい値を指定すると縮小されます。

説明

- 印刷オプションの mag、fit、nofit、tiffit、notiffit、autoreduce が指定されているとき、または印刷条件で「8.変倍率」、「P.自動変倍」、「T.実サイズ変倍」、「b.自動縮小」が設定されているとき、その変倍率とこの印刷オプションで指定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「K.縦変倍率」は無効です。

↓ 補足

- 印刷条件の「P.自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「b.自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

negative、positive

画像の白黒を反転して印刷するかどうかを指定します。

書式

negative

positive

指定値と動作

印刷オプション名	動作
negative	白黒反転して印刷されます。
positive	通常に印刷されます。

説明

- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「L.白黒反転」は無効です。
- 印刷条件の「f.カラー/白黒選択」を「カラー」に指定したとき、または印刷オプションの colormode を指定したときは、これらの印刷オプションは無効です。

brightness

多値画像（グレースケール）の明るさを指定します。

書式

brightness=明るさ

指定値と動作

- 「明るさ」は、0.01～999 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると画像が全体的に明るく（白っぽく）、小さい値を指定すると全体的に暗く（黒っぽく）印刷されます。

説明

- 「0.01」を指定すると、画像が黒 1 色になります。
- 「999」を指定すると、画像が白 1 色になります。
- 黒と白だけの 2 値画像のとき、この印刷オプションの指定は無効です。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「M.明るさ」は無効です。
- 一部のカラーデータでは、この印刷オプションの指定が無効となることがあります。

contrast

多値画像（グレースケール）のコントラストを指定します。

書式

contrast=コントラスト

指定値と動作

- 「コントラスト」は、0.01～999 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると画像の明暗の差が大きく、小さい値を指定すると明暗の差が小さく印刷されます。

説明

- 「0.01」を指定すると、グレー 1 色になります。
- 「999」を指定すると、白と黒だけになります。
- 2 値画像（黒と白だけ）のとき、この印刷オプションの指定は無効です。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「L.コントラスト」は無効です。
- 一部のカラーデータでは、この印刷オプションの指定が無効となることがあります。

center、nocenter

印刷領域の中央に画像を印刷するかどうかを指定します。

書式

center

nocenter

指定値と動作

印刷オプション名	動作
center	画像が中央に配置されて印刷されます。
nocenter	印刷領域の左上端が印刷開始位置（画像の左上端）になるように印刷されます。

説明

- center を指定しているときでも、印刷オプションの xoffset、yoffset を指定するか、印刷条件の「D.X オフセット」、「E.Y オフセット」を設定すると、その指定値の分だけ中央から移動して印刷されます。
- 印刷領域は、各余白、印刷オプションの multicols、multirows、印刷条件の「H. マルチカラム」、「I. マルチロー」の設定値にしたがって印刷される領域です。
- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「O. 中央配置」は無効です。

fit、nofit

受信した画像の大きさが、印刷領域に収まるように自動的に拡大、縮小して印刷するかどうかを指定します。このとき、画像の縦横比は保持されます。

書式

fit

nofit

指定値と動作

印刷オプション名	動作
fit	印刷領域に合わせて、拡大、縮小されて印刷されます。
nofit	等倍で印刷されます。

説明

- fit を指定しているときでも、印刷オプションの mag、xmag、ymag、tiffit、notiffit を指定するか、印刷条件の「8.変倍率」、「J.横変倍率」、「K.縦変倍率」、「T.実サイズ変倍」を設定すると、その変倍率とこの印刷オプションで指定した印刷領域に合わせた変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- 印刷領域は、各余白、印刷オプションの multicols、multirows、印刷条件の「H.マルチカラム」、「I.マルチロー」の設定値にしたがって印刷される領域です。
- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「P.自動変倍」は無効です。

↓ 補足

- 印刷オプションの autoreduce、または印刷条件の「b.自動縮小」を「縮小しない」以外に設定したとき、印刷オプションの fit は無効です。

tiffit、notiffit

受信した画像を自動的に拡大、縮小して、実物大で印刷するように指定します。

書式

tiffit

notiffit

指定値と動作

印刷オプション名	動作
tiffit	実物大の大きさを印刷されます。
notiffit	実物大の大きさを印刷されません。等倍の大きさを印刷されます。

説明

- 拡大、縮小の倍率は、TIFF データのタグに記述されている横と縦方向の解像度情報と印刷時のエンジン解像度を基に計算できます。たとえば、横方向の解像度が 200dpi、縦方向の解像度が 400dpi のタグを持つ TIFF データを 600dpi のエンジン解像度で印刷したとき、横方向は 3.0 倍 (600/200)、縦方向は 1.5 倍 (600/400) で印刷されます。
- マルチページの TIFF データのとき、各ページの解像度情報を基に拡大、縮小されます。
- tiffit を指定しているときでも、印刷オプションの mag、xmag、ymag、fit、nofit、autoreduce を指定するか、印刷条件の「8.変倍率」、「J.横変倍率」、「K.縦変倍率」、「P.自動変倍」、「b.自動縮小」を設定すると、その変倍率とこの印刷オプションで指定した画像を実物大にする変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- 解像度情報のタグがない TIFF データやページを印刷するとき、この印刷オプションの指定は無効です。
- これらの印刷オプションを指定したとき、プリンター本体で設定した印刷条件の「T.実サイズ変倍」は無効です。

↓ 補足

- 印刷条件の「P.自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「b.自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

autopaper

画像の大きさに適した用紙サイズの給紙部が自動的に選択され、画像の向きも適切な方向で印刷されるように指定します。用紙のサイズと向きや紙種を指定しておくと、指定した内容と一致する給紙部が自動的に選択されます。

書式

autopaper

autopaper=用紙 1/用紙 2/.../用紙 n

autopaper=紙種 1/紙種 2/.../紙種 n

autopaper=超過率

autopaper=freecut (nofreecut)

autopaper=speedpriority, lefpriority, sefpriority

autopaper=用紙 1/用紙 2/.../用紙 n/紙種 1/紙種 2/.../紙種 n/超過率/freecut (nofreecut) /speedpriority, lefpriority, sefpriority

指定値は、「/」で区切ってください。

指定値と動作

- 選択の対象にする給紙部を、用紙のサイズと向き（「用紙 1」、「用紙 2」、…、「用紙 n」）、用紙の種類（「紙種 1」、「紙種 2」、…、「紙種 n」）で指定します。指定値

を指定しないときは、すべての給紙部が選択の対象です。ただし、選択の対象にならない給紙部もあります。

用紙のサイズと向き

指定値	動作
a0r	A0 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
a1	A1 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
a1r	A1 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
a2	A2 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
a2r	A2 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
a3	A3 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
a3r	A3 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
a4	A4 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
b1r	B1 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
b2	B2 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
b2r	B2 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
b3	B3 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
b3r	B3 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
b4	B4 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
s1	S1 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
s2	S2 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
s3	S3 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
s4	S4 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
s5	S5 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
s6	S6 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
s7	S7 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
s8	S8 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
s9	S9 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
ac	17×22 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
acr	17×22 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
lt	8 ¹ / ₂ ×11 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
dl	11×17 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
dlr	11×17 タテ (□) の給紙部から給紙されます。

指定値	動作
lg	8 ¹ / ₂ ×14 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
12x18	12×18 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
12x18r	12×18 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
36x48r	36×48 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
34x44r	34×44 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
30x42r	30×42 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
24x36	24×36 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
24x36r	24×36 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
22x34	22×34 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
22x34r	22×34 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
21x30	21×30 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
18x24	18×24 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
18x24r	18×24 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
9x12	9×12 ヨコ (□) の給紙部から給紙されます。
15x20r	15×20 タテ (□) の給紙部から給紙されます。
free	不定形サイズが設定されている給紙部から給紙されます。

用紙の種類

指定値	動作
plain	普通紙の給紙部から給紙されます。
thin	薄紙の給紙部から給紙されます。
middlethick	中厚口の給紙部から給紙されます。
thick	厚紙 1 の給紙部から給紙されます。
thick2	厚紙 2 の給紙部から給紙されます。
recycled	再生紙の給紙部から給紙されます。
inkjetplain	インクジェット普通紙の給紙部から給紙されます。
special	特殊紙の給紙部から給紙されます。
matfilm	フィルム（マット加工）の給紙部から給紙されます。
cadcoated	コート紙（CAD 用）の給紙部から給紙されます。
coated	コート紙の給紙部から給紙されます。
translucent	トレーシングペーパー（第二原図用紙）の給紙部から給紙されます。

以下の指定値は使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのときだけ指定できます。

- a0r、a1、b1r、b2、s1、s2、s3、s4、s5、s8、36×48r、34×44r、30×42r、24×36、22×34、21×30

使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのとき、[36 インチ幅ロール紙のカットサイズ仕様] で [日本仕様 (mm)] を選択すると [S1] が指定できます。[海外仕様 (inch)] を選択すると [36×48] と [24×36] が指定できます。詳しくは、『プリンター』『システム設定 (EM)』を参照してください。

- 「超過率」は、適切な用紙サイズから画像がはみ出したり余白ができたりする許容範囲を%付きの整数で指定します。(％は省略できます。)

「超過率」を「10%」と指定すると、用紙が 10% 分大きいサイズ (110% の大きさ) まで印刷できるものとして給紙部が選択されます。「-10%」と指定すると、用紙が 10% 分小さいサイズ (90% の大きさ) しか印刷できないものとして給紙部が選択されます。指定値を指定しないときは、印刷条件の「V.用紙超過率」の値をもとに給紙部が選択されます。

説明

- 印刷オプションの mag、xmag、ymag、tiffit、notiffit、autoreduce、leftspace、rightspace、topspace、bottomspace、xoffset、yoffset のいずれかを指定しているか、印刷条件の「8.変倍率」、「J.横変倍率」、「K.縦変倍率」、「T.実サイズ変倍」、「b.自動縮小」、「9.左余白」、「A.右余白」、「B.上余白」、「C.下余白」、「D.X オフセット」、「E.Y オフセット」のいずれかを設定しているときは、これらの指定や設定が反映された画像の大きさを基準に給紙部が選択されます。
- この印刷オプションで指定した用紙のサイズと向き、紙種のすべての条件を満たす給紙部がセットされていないとき、操作部に表示されている給紙部から給紙されます。
- 指定値「用紙 1」、「用紙 2」、…、「用紙 n」を指定したとき、用紙サイズと向きが一致する給紙部だけが、選択の対象です。指定値で指定された用紙に一致する給紙部がないときは、操作部に表示されている給紙部から給紙されます。
- 指定値「用紙 1」、「用紙 2」、…、「用紙 n」を指定しないとき、すべての給紙部が選択の対象です。
- 指定値「紙種 1」、「紙種 2」、…、「紙種 n」を指定したとき、紙種が一致する給紙部だけが、選択の対象です。指定値で指定された紙種に一致する給紙部がないときは、操作部に表示されている給紙部から給紙されます。
- 指定値「紙種 1」、「紙種 2」、…、「紙種 n」を指定しないとき、「普通紙」、「再生紙」のどちらかの用紙がセットされている給紙部だけが選択の対象です。
- 選択の対象となっている給紙部の最大の用紙サイズよりも画像が大きいとき、給紙部の中で最大の用紙サイズの給紙部が選択されます。

- この印刷オプションを指定したとき、印刷オプションの tray、paper、portrait、landscape、multicols、multirows、印刷条件の「1.給紙部」、「2.用紙サイズ」、「5.印刷方向」、「H.マルチカラム」、「I.マルチロー」、「U.自動用紙選択」は無効です。
- この印刷オプションで超過率を指定したとき、印刷条件の「V.用紙超過率」は無効です。
- P/L または関連の印刷オプションで、逆方向印刷を指定しているとき、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。
- 印刷条件の「X.不定形オートカット」を「する」に設定したときや、印刷オプションの autopaper に指定値 freecut をつけて指定したとき、不定形サイズが設定されている給紙部を優先できます。

指定値 freecut、nofreecut について

印刷画像のサイズを判別し、不定形サイズの印刷画像を最小の大きさを印刷されるように設定できます。

- 定形サイズ用の用紙サイズから ±10mm の範囲で、画像を回転させて収まらない大きさを不定形サイズと判定します。
- 印刷オプション autopaper に指定値 freecut または nofreecut をつけて指定したとき、印刷条件の「X.不定形オートカット」の設定は無効になります。
- 印刷オプションの freesize と同時に指定値 freecut を指定して不定形サイズが設定されている給紙部に印刷したとき、freesize は無効になります。定形サイズが設定されている給紙部に印刷したとき、freesize は有効になります。
- 印刷画像が定形サイズと判定される、または印刷できる給紙部がないとき、この項目の設定が無効になります。
- 給紙部の検索方法は以下のとおりです。
 1. 印刷画像サイズを判定します。
 2. 不定形サイズのとき、幅の小さい不定形サイズが設定されている給紙部から画像が収まる給紙部を検索します。
 - 画像の長辺が不定形サイズの設定されている給紙部の幅に収まるとき、その給紙部に印刷します。
 - 画像の短辺が不定形サイズの設定されている給紙部の幅に収まるとき、その給紙部に印刷します。
 3. 画像が収まる不定形サイズの設定されている給紙部がないとき、この項目の設定が無効になり、「U.自動用紙選択」と同じ動作になります。
 4. 印刷時に不定形サイズが設定されている給紙部のサイズが変更されたとき、そのサイズが印刷した給紙部のサイズになります。

指定値 speedpriority、lefppriority、sefpriority について

- 印刷オプション autopaper に指定値 speedpriority をつけて指定した場合に、同じ用紙サイズで向きの異なる給紙部が両方あるとき、印刷画像が縦長であれば縦置き、横長であれば横置きの用紙がセットされた給紙部を優先して選択します。

- 印刷オプション autopaper に指定値 lefpriority をつけて指定した場合に、同じ用紙サイズで向きの異なる給紙部が両方あるとき、横置き用の紙がセットされた給紙部を優先して選択します。
- 印刷オプション autopaper に指定値 sefpriority をつけて指定した場合に、同じ用紙サイズで向きの異なる給紙部が両方あるとき、縦置き用の紙がセットされた給紙部を優先して選択します。
- 印刷オプション autopaper に指定値 speedpriority、lefpriority、または sefpriority をつけて指定したとき、印刷条件の「h.優先用紙方向」の設定は無効です。
- 印刷オプション autopaper に指定値 speedpriority、lefpriority、または sefpriority のいずれも指定しないとき、印刷条件の「h.優先用紙方向」の設定にしたがいません。

errorprint、noerrorprint

エラーが発生したときに、エラーメッセージを印刷するかどうかを指定します。

書式

errorprint
noerrorprint

指定値と動作

印刷オプション名	動作
errorprint	エラーメッセージが印刷されます。
noerrorprint	エラーメッセージが印刷されません。

説明

- errorprint を指定すると、RTIFF エミュレーションに切り替えたあとに発生したエラー、または前回のエラーメッセージの印刷後に発生したエラーについて、エラーメッセージが印刷されます。
- errorprint を指定していても、RTIFF エミュレーションがリセットされたときは、エラーメッセージが印刷されません。
- noerrorprint を指定していても、操作部やサマリー印刷指定コマンドで印刷条件リストを印刷すると、エラー欄にエラーメッセージが印刷されます。
- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「Q.エラー印刷」は無効です。

↓ 補足

- エラーメッセージの内容については、P.175「エラーメッセージ」を参照してください。

colormode、monomode

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを指定します。

書式

colormode

monomode

指定値と動作

印刷オプション名	動作
colormode	カラーで印刷されます。
monomode	モノクロで印刷されます。

説明

- これらの印刷オプションが指定されたとき、印刷条件の「f.カラー/白黒選択」は無効です。

maxarea、normalarea

用紙に余白をとって印刷するか、用紙の端まで印刷するかを指定します。

書式

maxarea

normalarea

指定値と動作

印刷オプション名	動作
maxarea	ほぼ用紙の端までを印刷領域として印刷されます。
normalarea	用紙の上下左右に約 5mm ずつ余白を設定し、その内側を印刷領域として印刷されます。

説明

- 印刷領域を指定しても、諸条件によって、実際の用紙の印刷位置は想定どおりにならないことがあります。
- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「S.印刷領域」は無効です。

printquality

印刷品質を設定します。

書式

printquality=印刷品質

指定値と動作

指定値	動作
speedpriority	印刷速度を優先する設定で印刷します。
standard	画質と速度のバランスが取れた設定で印刷します。
qualitypriority	画質を優先した設定で印刷します。
speedpriorityline	印刷速度を優先しつつ、細い線を含んだ表や CAD の印刷に適した設定で印刷します。

説明

- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「g.印刷品質」は無効です。

diskbuffer、memorybuffer

本機で TIFF データをラスタライズする間、入力データを一時的に記憶しておくためのデータバッファ（デバイス）を指定します。

★重要

- diskbuffer を指定しているとき、入力データの処理中に本機の電源を切らないでください。入力データの処理中に本機の電源を切ると、ハードディスクが破損することがあります。

書式

diskbuffer

memorybuffer

指定値と動作

印刷オプション名	動作
diskbuffer	データバッファにハードディスクが使用されます。
memorybuffer	データバッファにメモリーが使用されます。

説明

- diskbuffer を指定すると、データの格納順序の制約やデータサイズの制限のためエラーが発生して印刷できない TIFF ファイルまたは CALS ファイルが印刷できることがあります。
- diskbuffer を指定すると、入力データによっては指定しないときに比べて印刷に時間がかかることがあります。

- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「W.データバッファ」は無効です。

↓ 補足

- TIFF データの格納順序の制約やデータサイズの制限については、P.163「入力データの仕様」を参照してください。

orientation

orientation の指定により、画素方向に画像の向きを変更できます。

書式

orientation=画像方向

指定値と動作

指定値	動作
0	画像の向きと、画素方向が同一の画像データとして後処理をします。
90	画像の向きが、画素方向に対し 90 度回転している画像データとして後処理をします。
180	画像の向きが、画素方向に対し 180 度回転している画像データとして後処理をします。
270	画像の向きが、画素方向に対し 270 度回転している画像データとして後処理をします。

説明

- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「Z.画像の向き」の設定は無効です。

autoreduce

用紙より大きい画像を用紙に収まるように縮小できます。画像サイズが指定した用紙サイズ以下のときは縮小しないで、等倍印刷をします。

書式

autoreduce=用紙サイズ

autoreduce=用紙サイズ/余白補正值

autoreduce=用紙サイズ/無効倍率

autoreduce=用紙サイズ/余白補正值/無効倍率

指定値と動作

指定値には、変倍・等倍を判定するための基準となる用紙サイズと用紙調整値を指定します。また、無効倍率を指定することで、指定した用紙サイズに縮小するか等倍とするかの基準を変更できます。

指定値	用紙サイズ
a0	A0
a1	A1
a2	A2
a3	A3
a4	A4
a5	A5
a6	A6
b1	B1
b2	B2
b3	B3
b4	B4
b5	B5
b6	B6
ac	17×22
pc	はがき
lt	8 ¹ / ₂ ×11
hl	5 ¹ / ₂ ×8 ¹ / ₂
dl	11×17
lg	8 ¹ / ₂ ×14
12x18	12×18
36x48	36×48
34x44	34×44
30x42	30×42
24x36	24×36
22x34	22×34
21x30	21×30
18x24	18×24

指定値	用紙サイズ
9x12	9×12
foolscap	8 ¹ / ₂ ×13
15x20	15×20

余白補正值は、±30cm の範囲で単位付きの整数または小数を指定できます。実効値が上記範囲内であれば、cm のほかに、mm、inch (25.4mm)、pt (ポイント)、dot (ドット数) で数値も指定できます。単位を省略したときは cm で指定します。

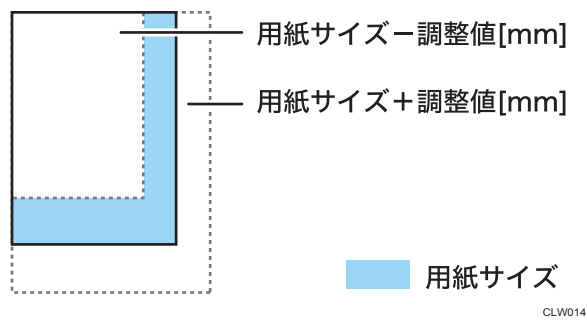
無効倍率は、-99%～の範囲で単位付きの整数を指定できます。単位は省略できません。単位の指定がないときは余白補正值 (単位 cm) を指定したものみなされます。範囲外の値が指定されたときはこの印刷オプションの指定は無効です。

- 指定値には、1 個の用紙、1 個の余白補正值、1 個の無効倍率をスラッシュ (/) で区切って指定します。1 個の用紙に複数の余白補正值と無効倍率を指定したときや、誤った指定値のときはこの印刷オプションの指定は無効です。

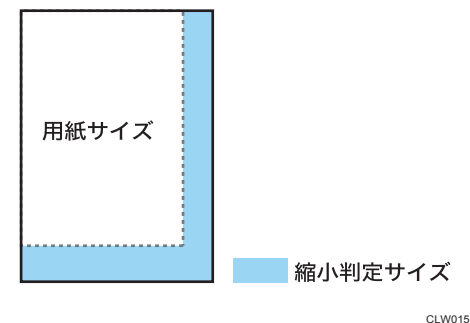
説明

- 用紙の指定がないときは、この印刷オプションの指定は無効です。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「P.自動変倍」を「する」、または印刷オプションの fit の設定は無効です。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「b.自動縮小」の設定は無効です。指定しないとき、印刷条件の「b.自動縮小」の設定にしたがいます。
- 余白補正值の指定により、画像を収める用紙サイズの大きさを調整します。
- 余白補正值を指定したとき、印刷条件の「c.自動縮小余白補正」の設定は無効です。指定しないとき、印刷条件の「c.自動縮小余白補正」の設定にしたがいます。
- 余白補正值の指定によっては、画像が拡大されることがあります。
- 余白補正值が用紙サイズ短辺より小さいとき、この印刷オプションの指定は無効です。
- 無効倍率を指定したとき、印刷条件の「d.自動縮小無効倍率」の設定は無効です。指定しないとき、印刷条件の「d.自動縮小無効倍率」の設定にしたがいます。
- 画像サイズは、印刷条件の「T.実サイズ変倍」、「8.変倍率」、「J.横変倍率」、「K.縦変倍率」の設定値、または印刷オプションの tiffit、mag、xmag、ymag の指定値にしたがって拡大・縮小された画像に自動縮小するかどうか判断します。

余白補正值と用紙サイズについて



無効倍率と用紙サイズについて



「縮小判定サイズ」は、用紙サイズに自動縮小無効倍率の設定値を乗じたサイズです。このサイズに収まらないときだけ画像を縮小します。

freysize

不定形サイズを指定できます。

書式

freysize=幅 x 高さ

freysize=幅 x 高さ/tr

freysize=幅 x 高さ/tt

指定値と動作

指定値	動作
幅	用紙の横方向の長さを mm 単位で指定します。
高さ	用紙の縦方向の長さを mm 単位で指定します。

指定値	動作
/tr	不定形サイズ用の紙がセットされた給紙部を指定します。
/tt	不定形サイズ用の紙がセットされた手差し給紙部を指定します。

説明

- mm や cm、inch（約 25.4mm）、pt（ポイント）、dot でも指定できます。たとえば、幅 210mm、長さ 520mm のサイズを指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

`freesize=210x520mm`

- 単位を省略すると、mm で指定したことになります。
- 不定形サイズの設定範囲はチェックしません。
- 範囲外の数値が指定されたとき、印刷できるサイズに一番近いサイズから給紙されます。
- 手差し給紙部を指定したときは、手差し給紙部の用紙サイズを不定形に変更します。
- 最大値を超えたときは、最大値の範囲内で印刷されます。
- 使用している給紙部に不定形サイズが設定されていないときは、不定形サイズの設定されている給紙部を指定します。
- 印刷条件の「U.自動用紙選択」を「する」に設定したとき、この印刷オプションの指定が無効となることがあります。
- 印刷条件の「X.不定形オートカット」を「する」に設定したときや、印刷オプションの `autopaper` に指定値 `freecut` をつけて指定したとき、不定形サイズの設定されている給紙部を優先できます。

magprocess、magprocessx、magprocessy、magprocessxy

ドットの間引きまたは画素補正を考慮して変倍できます。縮小印刷したときに細線が消えることを回避できます。

書式

`magprocess`

`magprocessx`

`magprocessy`

`magprocessxy`

動作

指定値と動作

印刷オプション名	動作
magprocess	単純間引きを考慮した変倍をします。
magprocessx	画像の横方向に画像補正を考慮した変倍をします。
magprocessy	画像の縦方向に画像補正を考慮した変倍をします。
magprocessxy	画像の縦横方向に画像補正を考慮した変倍をします。

説明

- 画像補正の変倍を指定すると変倍処理が変わるため、単純間引きの変倍と印刷結果が異なることがあります。
- 印刷オプション名によって画像補正を考慮した変倍を指定します。
- 等倍、拡大印刷時はこの印刷オプションの指定による効果はありません。
- この印刷オプションは、画像系の TIFF データには適しません。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「e.縮小変倍時細線補正」は無効です。
- この印刷オプションは指定値をとらず、印刷オプション名によって補正を考慮した変倍を指定します。

imagedirection

用紙内の画像の向きを 180 度回転するように指定します。

書式

`imagedirection=reverse`

`imagedirection=normal`

指定値と動作

指定値	動作
reverse	用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されます。
normal	通常の向きで印刷されます。

説明

`emlimagedirection` と同時に指定したとき、この印刷オプションの指定は無効です。

emlimagedirection

用紙内の画像の向きを 180 度回転するように指定します。

書式

emlimagedirection=reverse

emlimagedirection=normal

指定値と動作

指定値	動作
reverse	用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されます。
normal	通常の向きで印刷されます。

3

emlusercode

ユーザーコードを指定します。

書式

emlusercode=ユーザーコード

説明

- ユーザーコードには半角数字 8 桁を指定できます。
- Windows の FTP クライアントのとき、emlusercode は指定できません。

↓ 補足

- ftp でユーザーコードを指定するときは、以下のように大文字で指定してください。
- ftp> put filename EMLUSERCODE=12345

emlqty

ソートの指定をします。

書式

emlqty=ソート部数

指定値と動作

- ソート部数は、1～999 の範囲の整数で指定します。

説明

- この印刷オプションで複数の部数を指定したとき、印刷オプションの「copies」の指定、本機の操作部からの指定、入力データ内でのコマンドによる印刷部数の設定は無効です。

usercode

ユーザーコードを指定できます。

書式

```
usercode ="ユーザーコード"
```

説明

- ユーザーコードには半角数字 8 桁を指定できます。
- ユーザーコードの前後に""の指定が必要です。
- Windows の FTP クライアントのとき、usercode は指定できません。
- emlusercode と同時に指定したとき、この印刷オプションの指定は無効です。

↓ 補足

- OS によってはダブルクォーテーションが送信されないため、バックスラッシュ"¥" (0x5c) などのエスケープ記号が必要となることがあります。
- ftp でユーザーコードを指定するときは、以下のように大文字で指定してください。
 - ftp> put filename USERCODE=¥"12345¥"

pjl

pjl を指定すると、qty の指定を有効にできます。

書式

```
pjl = on
```

説明

- qty を使用するときは、必ず pjl = on と指定します。指定がないとき、qty の印刷オプションは無効です。

qty

ソートの指定をします。

書式

```
qty=ソート部数
```

指定値と動作

- ソート部数は、1～999 の範囲の整数で指定します。

説明

- 「ソート部数」を指定するときは、同時に印刷オプション pjl = on も指定してください。pjl = on が指定されていないと、「ソート部数」の指定は無効です。
- emlqty と同時に指定したとき、この印刷オプションの指定は無効です。

emptytray、noemptytray

用紙切れの給紙部を用紙選択の検索対象に含むかどうかを設定します。

書式

emptytray

noemptytray

指定値と動作

指定値	動作
emptytray	用紙切れの給紙部を用紙選択の検索対象にします。
noemptytray	用紙切れの給紙部を用紙選択の検索対象外にします。

3

説明

- この印刷オプションのどちらかを指定したとき、印刷条件の「i.自動給紙部選択時紙ナシ給紙部」の設定は無効です。

印刷オプションの省略形

印刷オプションには、以下の省略形があります。短いオプション名で指定値を含めて指定できます。

省略形	印刷オプション
fil (= 指定値)	filetype (= 指定値)
a0r	paper=a0r
a1	paper=a1
a1r	paper=a1r
a2	paper=a2
a2r	paper=a2r
a3	paper=a3
a3r	paper=a3r
a4	paper=a4
b1r	paper=b1r
b2	paper=b2
b2r	paper=b2r
b3	paper=b3
b3r	paper=b3r

省略形	印刷オプション
b4	paper=b4
s1	paper=s1
s2	paper=s2
s3	paper=s3
s4	paper=s4
s5	paper=s5
s6	paper=s6
s7	paper=s7
s8	paper=s8
s9	paper=s9
ac	paper=ac
acr	paper=acr
lt	paper=lt
dl	paper=dl
dlr	paper=dlr
lg	paper=lg
12x18	paper=12x18
12x18r	paper=12x18r
9x12	paper=9x12
36x48r	paper=36x48r
34x44r	paper=34x44r
30x42r	paper=30x42r
24x36	paper=24x36
24x36r	paper=24x36r
22x34	paper=22x34
22x34r	paper=22x34r
21x30	paper=21x30
18x24	paper=18x24
18x24r	paper=18x24r
15x20r	paper=15x20r
free	paper=free

省略形	印刷オプション
po	portrait
la	landscape
t1	tray=1
t2	tray=2
t3	tray=3
t4	tray=4
t5	tray=5
t6	tray=6
tt	tray=T
ce	center
nce	nocenter
tf	tiffit
ntf	notiffit
ap (=指定値)	autopaper (=指定値)
ep	errorprint
nep	noerrorprint
ma	maxarea
na	normalarea
ar (=指定値)	autoreduce (=指定値)
or (=指定値)	orientation (=指定値)
mp	magprocess
mpx	magprocessx
mpy	magprocessy
eid (=指定値)	emlimagedirection (=指定値)
eq (=指定値)	emlqty (=指定値)
euc (=指定値)	emlusercode (=指定値)
cmd	colormode
mmd	monomode
pq (=指定値)	printquality (=指定値)
et	emptytray
net	noemptytray

以下の設定値は、使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのときだけ指定できます。

- A0R、A1、B1R、B2、S1、S2、S3、S4、S5、S8、36×48R、34×44R、30×42R、24×36、22×34、21×30

使用している機種が RICOH MP CW2201 シリーズのとき、[36 インチ幅ロール紙のカットサイズ仕様] で [日本仕様 (mm)] を選択すると [S1] が指定できます。[海外仕様 (inch)] を選択すると [36×48] と [24×36] が指定できます。詳しくは、『プリンター』「システム設定 (EM)」を参照してください。

入力データの仕様

印刷できる TIFF ファイル

RTIFF エミュレーションで印刷できる TIFF ファイルには、以下のような制約があります。処理できる TIFF ファイルは、『TIFF Revision 6.0』（Adobe Developers Association 著、3-June-1992）に準拠したファイルです。

ヘッダー

ヘッダーは以下の情報が必要です。

フィールド	設定値
バイトオーダー	0x4949 or 0x4d4d
バージョン番号	42

ディレクトリー

ディレクトリーは以下の条件を満たしてください。

マルチページ TIFF データ

- ディレクトリーとデータがページごとに分離されている
- ページの順序が希望する出力順になっている
- 各ディレクトリーの末尾 4 バイトに、次のページのディレクトリーを参照するためのポインターが設定されている
- ポインターの値が後ろのページになるほど大きくなっている
- 最終ページのポインターの値が 0x00000000 になっている

シングルページ TIFF データ

- ポインターの値が 0x00000000 になっている

↓ 補足

- ひとつの TIFF ファイルの中に複数のビットマップイメージ（画像）を含む TIFF ファイルをマルチページ TIFF データ、ひとつのビットマップイメージ（画像）だけの TIFF ファイルをシングルページ TIFF データといいます。
- この制約のためエラーが発生して印刷できないマルチページ TIFF データのときでも、印刷条件の「W.データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定すると印刷することがあります。

タグ

ディレクトリーに含めることのできるタグの種類と設定値は、以下のとおりです。

タグの名前 (番号)	設定値
ImageWidth (256)	適切な値
ImageLength (257)	適切な値
BitsPerSample (258)	1、4、8、8,8,8
Compression (259)	1～7 または 32773
PhotometricInterpretation (262)	0～3 または 6
FillOrder (266)	1 または 2
StripOffsets (273)	適切な値
SamplesPerPixel (277)	1 または 3
RowsPerStrip (278)	適切な値
StripByteCounts (279)	適切な値
MinSampleValue (280)	適切な値
MaxSampleValue (281)	適切な値
Xresolution (282)	適切な値
Yresolution (283)	適切な値
PlanarConfiguration (284)	1 または 2
T4Options (292)	0～7
T6Options (293)	0 または 2
ResolutionUnit (296)	1～3
Predictor (317)	1～2
Colormap (320)	適切な値
JPEGTables (347)	圧縮用のテーブル
JPEGInterchangeFormat (513)	適切な値 (JPEG の SOI へのオフセット)

タグの設定値は、Byte、Ascii、Short、Long、Rational のデータ型で記述します。

タグの値がタグエントリーの外に格納されるデータへのポインターのとき、そのポインターは、そのタグを含むディレクトリーの後ろ以降かつ、次のディレクトリーまたはデータの終端より前のデータ領域を指してください。(そのページ用のデータ領域内に格納してください。)

ビットマップイメージ

1 ページ分のビットマップイメージのデータは、以下の条件を満たしてください。

- 単一ストリップまたは複数ストリップの集合で構成されている

- すべてのストリップデータが、そのページ用のデータ領域に格納されている（データ領域とは、そのページのディレクトリーから次のページのディレクトリーまでのこと）
- そのページのデータ領域の最後の情報として格納されている（推奨）
- 複数ストリップの集合で構成されているとき、各ストリップデータは副走査方向の順序で格納されている（推奨）
- ストリップデータの先頭の位置が StripOffsets (273) タグの値で参照されている
- 符号化後のデータサイズ（バイト）が StripByteCounts (279) タグの値で明示されている
- 最終ページの最後のストリップデータの末尾のバイトがその TIFF データの終端バイトになっている（推奨）
- ビットマップイメージのデータに適切な種類のイメージが使用されている
- ビットマップイメージのデータが適切な圧縮方式で符号化されている

↓ 補足

- ビットマップイメージの種類と圧縮方式については、P.165「ビットマップイメージの種類」または P.167「ビットマップイメージの圧縮方式」を参照してください。

ビットマップイメージの種類

RTIFF エミュレーションで印刷できるビットマップイメージの種類とタグの条件です。

1 ピクセルあたり 1 サンプル 1 ビット（2 色）のモノクロイメージ

タグ	条件
BitsPerSample (258)	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
PhotometricInterpretation (262)	ピクセルのサンプル値と色の対応に応じて、以下のいずれかに設定されている <ul style="list-style-type: none"> • ピクセルの最小サンプル値が白、最大サンプル値が黒を表すとき=0 • ピクセルの最小サンプル値が黒、最大サンプル値が白を表すとき=1
SamplesPerPixel (277)	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
FillOrder (266)	ストリップデータの格納方式に応じて、このタグが含まれないか、以下のいずれかに設定されている <ul style="list-style-type: none"> • バイト中に MSBtoLSB のビット順で格納されるとき=1 • バイト中に LSBtoMSB のビット順で格納されるとき=2

1 ピクセルあたり 1 サンプル 4 ビット（16 色）のグレースケールイメージ

タグ	条件
BitsPerSample (258)	値が 4 に設定されている
PhotometricInterpretation (262)	ピクセルのサンプル値と色の対応に応じて、以下のいずれかに設定されている <ul style="list-style-type: none"> ピクセルの最小サンプル値が白、最大サンプル値が黒を表すとき=0 ピクセルの最小サンプル値が黒、最大サンプル値が白を表すとき=1
SamplesPerPixel (277)	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
FillOrder (266)	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている

1 ピクセルあたり 1 サンプル 8 ビット（256 色）のグレースケールイメージ

タグ	条件
BitsPerSample (258)	値が 8 に設定されている
PhotometricInterpretation (262)	ピクセルのサンプル値と色の対応に応じて、以下のいずれかに設定されている <ul style="list-style-type: none"> ピクセルの最小サンプル値が白、最大サンプル値が黒を表すとき=0 ピクセルの最小サンプル値が黒、最大サンプル値が白を表すとき=1
SamplesPerPixel (277)	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
FillOrder (266)	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている

1 ピクセルあたり 1 サンプル 4 ビット（16 色）のパレットカラーイメージ

タグ	条件
BitsPerSample (258)	値が 4 に設定されている
PhotometricInterpretation (262)	値が 3 に設定されている
SamplesPerPixel (277)	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
FillOrder (266)	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
Colormap (320)	値が適切な RGB カラーマップデータを参照している

1 ピクセルあたり 1 サンプル 8 ビット（256 色）のパレットカラーイメージ

タグ	条件
BitsPerSample (258)	値が 8 に設定されている
PhotometricInterpretation (262)	値が 3 に設定されている

タグ	条件
SamplesPerPixel (277)	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
FillOrder (266)	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
Colormap (320)	値が適切な RGB カラーマップデータを参照している

1 ピクセルあたり 3 サンプル 24 ビット (1678 万色) の RGB フルカラーイメージ

タグ	条件
BitsPerSample (258)	値が 8,8,8 に設定されている
PhotometricInterpretation (262)	値が 2 (RGB) または 6 (YCbCr) に設定されている
SamplesPerPixel (277)	値が 3 に設定されている
FillOrder (266)	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
PlanarConfiguration (284)	イメージデータの格納方式に応じて、このタグが含まれないか、以下のいずれかに設定されている <ul style="list-style-type: none"> ピクセル単位で格納するとき (推奨) =1 カラープレーン単位で格納するとき =2

3

ビットマップイメージの圧縮方式

RTIFF エミュレーションで印刷するビットマップイメージは、非圧縮または特定の方式で圧縮してください。各方式とタグの条件です。

非圧縮方式

タグ	条件
Compression (259)	値が 1 に設定されている

MH (Modified Huffman) 方式

この圧縮方式は 2 色モノクロイメージだけに適用できます。

タグ	条件
Compression (259)	値が 3 に設定されている

タグ	条件
T4Options (292)	<p>このタグが含まれないか、値が以下のいずれかに設定されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 非圧縮モードを未使用で、EOL コードの前にパディングビットがないとき=0 非圧縮モードを使用しており、EOL コードの前にパディングビットがないとき=2 非圧縮モードを未使用で、EOL コードの前にパディングビットがあるとき=4 非圧縮モードを使用しており、EOL コードの前にパディングビットがあるとき=6

MR (Modified Read) 方式

この圧縮方式は 2 色モノクロイメージだけに適用できます。

タグ	条件
Compression (259)	値が 3 に設定されている
T4Options (292)	<p>このタグが含まれないか、値が以下のいずれかに設定されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 非圧縮モードを未使用で、EOL コードの前にパディングビットがないとき=1 非圧縮モードを使用しており、EOL コードの前にパディングビットがないとき=3 非圧縮モードを未使用で、EOL コードの前にパディングビットがあるとき=5 非圧縮モードを使用しており、EOL コードの前にパディングビットがあるとき=7

MMR (Modified Modified Read) 方式

この圧縮方式は 2 色モノクロイメージだけに適用できます。

タグ	条件
Compression (259)	値が 4 に設定されている
T6Options (293)	<p>このタグが含まれないか、値が以下のいずれかに設定されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 非圧縮モードを未使用のとき=0 非圧縮モードを使用するとき=2

修正 MH (Modified Huffman) 圧縮方式

この圧縮方式は 2 色モノクロイメージだけに適用できます。

タグ	条件
Compression (259)	値が 2 に設定されている

PackBits 圧縮方式

タグ	条件
Compression (259)	値が 32773 に設定されている

LZW 圧縮方式

タグ	条件
Compression (259)	値が 5 に設定されている
Predictor (317)	このタグが含まれないか、値が以下のいずれかに設定されている <ul style="list-style-type: none"> • イメージデータをそのまま格納するとき =1 • イメージデータを水平方向の差分で格納するとき =2

3

JPEG 圧縮方式

タグ	条件
Compression (259)	値が 6 または 7 に設定されている
JPEGTables (347)	このタグが含まれないか、圧縮用のテーブルが設定されている
JPEGInterchangeFormat (513)	このタグが含まれないか、適切な値 (JPEG の SOI へのオフセット) に設定されている

↓ 補足

- メモリー容量の超過のためエラーが発生して印刷できない TIFF データのときでも、印刷条件の「W.データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定すると印刷できることがあります。データ処理用のメモリー量は、印刷条件リストの「処理用メモリ」で確認できます。印刷条件リストは、操作部やサマリー印刷指定コマンドで印刷できます。

印刷できる CALS ファイル

RTIFF エミュレーションで印刷できる CALS ファイルは、CALS Rastar (Type1) 形式のビットマップイメージデータです。以下のような制約があります。

ヘッダー (CALS ファイル)

CALS データは、その先頭に以下の条件を満たすヘッダーブロックを含めます。

- ヘッダーブロック内には、その先頭に 11 個のヘッダーレコードを記述すること。また、ヘッダーレコードを記述する順番は、データ構造の図に示すとおりであること。

レコードID、設定値（全てASCII文字列）

（単位：byte）	0	127
0	srcdocid: 任意	ヘッダーブロック
128 (0x80)	dstdocid: 任意	
256 (0x100)	txtfilid: 任意	
384 (0x180)	figid: 任意	
512 (0x200)	srcgph: 任意	
640 (0x280)	doccls: 任意	
768 (0x300)	rtype: 1	
896 (0x380)	rorient: 000, 270	
1024 (0x400)	rpelcnt: 適切な値	
1152 (0x480)	rdensty: 適切な値	
1280 (0x500)	notes: 任意	
1408 (0x580)	0x20 × 128byte	
1536 (0x600)	0x20 × 128byte	
1664 (0x680)	0x20 × 128byte	
1792 (0x700)	0x20 × 128byte	
1920 (0x780)	0x20 × 128byte	
2048 (0x800)	ビットマップデータ	

}

DNT105

- ヘッダーブロックのサイズは、2,048 バイトの固定長であること。
- ヘッダーレコードのサイズは、128 バイトの固定長であること。
- ヘッダーレコード内は、レコード ID で始まり、2 文字分のセパレーター":"（コロン (0x3a) とスペースコード (0x20)）を挟んで設定値を記述すること。また、これらはすべて ASCII 文字列で記述すること。
- 記述すべき有効な情報を持たないヘッダーレコードは、設定値に"NONE"を記述すること。
- ヘッダーレコードやヘッダーブロックの領域を埋めるためのパディングバイトには、スペースコード (0x20) を使用すること。

↓ 補足

- 処理できる CALS ファイルは以下の仕様書に記載されるデータファイル形式とラスタ図形表現の仕様に準拠したものです。
 - 『MIL-STD-1840A』（米国国防総省発行、22 - December - 1987）
 - 『MIL-R-28002B』 翻訳版（翻訳版発行/（財）日本規格協会）（原文発行/米国国防総省発行、30-September-1993）
- RTIFF エミュレーションでは、レコード ID"srcdocid"のうち"srcdocid"（8byte）を CALS Raster データとして識別するためのキーワードとして使用します。
- レコード ID"rtype"の設定値には、ラスタデータのタイプを指定し、"1"だけ指定できます。

- レコード ID"rorient"の設定値には、ラスタer図形の向きを指定します。ラスタer図形の画素進行方向、行進行方向の順で指定します。RTIFF エミュレーションでは、以下の画像の向きだけ処理できます。



- レコード ID"rpelcnt"の設定値には、ラスタer画像の画素総数を主走査、副走査の順で指定します。
- レコード ID"rdensy"の設定値には、ラスタer画像の画素密度を指定します。
- RTIFF エミュレーションでは、レコード ID"rtype"、"rpelcnt"の指定がないときや設定値が適切でないときや設定値が"NONE"のときに、致命的エラーを発生させて処理を中断します。
- RTIFF エミュレーションでは、レコード ID"rorient"、"rdensy"の指定がないときや設定値が適切でないときや設定値が"NONE"のときに、警告エラーを発生させて処理を継続します。
- RTIFF エミュレーションでは、レコード ID が"srcdocid"、"dstdocid"、"txtfilid"、"figid"、"srcgph"、"doccls"、"notes"のヘッダーレコードは印刷処理に使用することなく、単純に無視します。

ビットマップイメージ (CALS ファイル)

ビットマップデータは、以下の形式でヘッダーブロック直後 (2,048byte 目) から記述します。

- ITU-T 勧告 T.6 (グループ 4 ファクシミリ) 符号化方式で圧縮されたモノクロのラスタerデータであること。
- この圧縮方式は、MMR (Modified Modified Read) 圧縮方式と同じです。

印刷できる JPEG ファイル

RTIFF エミュレーションで印刷できる JPEG ファイルは、JFIF (JPEG File Interchange Format) 形式や Exif (Exchangeable image file format) 形式など、JPEG 圧縮方式を採用したフォーマットのイメージファイルです。

エミュレーション切り替えコマンド

エミュレーション切り替えコマンドにより、エミュレーションを切り替えたり、プログラムを呼び出したりできます。RTIFF エミュレーションでは、TIFF ファイルの直前または直後に以下の形式で指定します。

書式 (ESC シーケンスのとき)

ESC DC2 ! {p} @ CODE-ID ESC SP

書式 (16 進コードのとき)

1B 12 21 {p} 40 CODE-ID 1B 20

パラメーター	指定値	説明
p	-1	CODE-ID で指定されているエミュレーションに切り替えます。 印刷条件は初期値です。
	0	CODE-ID で指定されているプログラム番号のエミュレーションに切り替えます。 印刷条件はプログラムに登録されている設定値です。
	1～16	CODE-ID で指定されているエミュレーションに切り替えます。 印刷条件は、この指定値に対応するユーザーメモリースイッチ番号の設定値です。(ユーザーメモリースイッチ番号は、プログラム登録時、エミュレーションごとに自動的に付加される番号です。 印刷条件リストに印刷されます。)
	省略時	「1」が指定されます。

このパラメーターの指定が「1」でかつ自分自身への切り替えが指定されたとき、RTIFF エミュレーションではこのコマンドは無視されます。

パラメーター	指定値	説明
CODE-ID	3 文字のエミュレーション名	指定したエミュレーション名のエミュレーションに切り替わります。 パラメーター「p」の指定値は、「0」以外の指定が必要です。
	P1～P16	指定したプログラム番号のエミュレーションに切り替わります。 パラメーター「p」の指定値は、「0」の指定が必要です。

指定したエミュレーションが存在しないときやプログラムが登録されていないとき、このコマンドは無視されます。

3 文字のエミュレーション名で入力できる文字には次のものがあります。

- RTF：RTIFF エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- RGL：RP-GL エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- GL2：RP-GL/2 エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- RPS：PS3 エミュレーションに切り替えるときに指定します。

3

サマリー印刷指定コマンド

サマリー印刷指定コマンドにより、印刷条件リストやプログラム登録一覧を印刷できます。RTIFF エミュレーションでは、TIFF ファイルの直前または直後に以下の形式で指定します。

本機のエミュレーションを RTIFF に切り替えてから、指定してください。

書式 (ESC シーケンスのとき)

ESC DC2 \$ p SP

書式 (16 進コードのとき)

1B 12 24 p 20

パラメーター	指定値	説明
p	1	印刷条件リストを印刷します。
p	2	プログラム登録一覧を印刷します。

↓ 補足

- このコマンドは、現在選択されているエミュレーションに有効です。RTIFF の印刷条件リストやプログラム登録一覧を印刷するときは、コマンドを指定する前にプリンターのエミュレーションを RTIFF に切り替えてください。

印刷オプション指定コマンド

印刷オプション指定コマンドにより、印刷オプションを指定できます。RTIFF エミュレーションでは、TIFF ファイルまたは CALS ファイルの直前または直後に以下の形式で指定します。

本機のエミュレーションを RTIFF に切り替えてから、指定してください。

書式 (ESC シーケンスのとき)

ESC DC2 ? z {, option { = value}} {, option { = value}} ... {, option { = value}} ESC SP

書式 (16 進コードのとき)

1B 12 3F 7A {2C option {3D value}} {2C option {3D value}} ... {2C option {3D value}} 1B 20

パラメーター	指定値	説明
option	印刷オプション名または省略形の文字列	印刷オプションを指定します。
option	印刷オプション名または省略形の文字列	指定値「filetype」は無効です。
option	省略時	このパラメーターと対になる value が無視されます。

対応していない指定値を指定したとき、このパラメーターと対になる value は無視されます。

このパラメーターと value の対は、連続して複数指定できます。ただし、このパラメーターと同じ値を指定された対が複数あるときは、最後に指定されている対が有効です。

パラメーター	指定値	説明
value	印刷オプションの指定値の文字列	印刷オプションを指定します。

対応していない指定値を指定したとき、このパラメーターと対になる option は無視されます。

option で指定値のない印刷オプション名や省略形の文字列を指定したとき、このパラメーターは省略します。

↓ 補足

- 文字列の合計は 1,023 バイト以内で入力してください。
- 印刷オプション指定コマンドは、一度コマンドを指定するとそれ以降に受信したデータの印刷に有効です。ただし、次のときはリセットされます。
 - エミュレーションが切り替わったとき
 - 新しい印刷オプション指定コマンドが指定されたとき
- 印刷オプションをひとつでも指定したとき、印刷オプション指定コマンドはすべて無効です。
- 印刷オプションについては P.120「印刷オプションを指定する」を参照してください。

RTIFF エミュレーションのトラブルシューティング

エラーメッセージ

印刷するデータや印刷オプションの指定などに問題があってエラーが発生すると、本機の操作部にエラーメッセージが表示されます。RTIFF 特有のエラーには、警告エラーと致命的エラーがあります。

警告エラー

エラーメッセージ	原因	動作
99：ワーニング	<ul style="list-style-type: none"> 印刷条件や印刷オプションの設定が正しくありません。^{*1} 印刷するデータに無視できる程度の不適切な記述があります。 	エラーが発生した原因が無視され、印刷処理が続行されます。

^{*1} 印刷オプション名が不適切なときに警告エラーが発生します。印刷オプションの pjl、qty、imagedirection、usercode は、指定値が不適切でも警告エラーは表示されません。

致命的エラー

エラーメッセージ	原因	動作
99：データエラー	<ul style="list-style-type: none"> 印刷するデータの容量が大きすぎます。 印刷するデータに無視できない程度の不適切な記述があります。 	印刷するデータの受信処理が中断され、受信済みのデータは破棄されます。描画中のページの内容は、エラーの原因や発生状況により、印刷または破棄されます。

警告エラーは、[プリンター初期設定] の [エラー表示設定] が [簡易表示] に設定されていると表示されません。[エラー表示設定] については、『プリンター』『システム設定』を参照してください。

警告エラーと致命的エラーのエラーメッセージは、以下のいずれかの操作によって表示されなくなります。

- エラーメッセージを印刷する
- 別のエミュレーションに切り替える
- 別のデータを送信する

エラーの原因が特定できないときは、エラーメッセージを印刷することで、より詳細なエラーの内容が確認できます。

↓ 補足

- 使用している機器の状況によって、その他のエラーメッセージが表示されることがあります。その他のエラーメッセージについては、『こまったときには』『プリンター使用中にメッセージが表示されたとき』を参照してください。

エラーメッセージの印刷方法

3

エラーメッセージを印刷することで、操作部に表示されるメッセージよりも詳しいエラーの内容が確認できます。印刷できるエラーメッセージは、RTIFF エミュレーションに切り替えたあとに発生した警告エラーと致命的エラーです。いずれも発生していないときは印刷されません。

エラーメッセージを印刷するには以下の方法があります。

すでに送信したデータのエラーメッセージを印刷する

- 操作部で [プリンター初期設定] の画面を表示し、[テスト印刷] タブから印刷条件リストを印刷します。
- サマリー印刷指定コマンドで印刷条件リストを印刷します。

「99:ワーニング」または「99:データエラー」が表示されているときに印刷条件リストを印刷すると、印刷条件リストに続いてエラーメッセージの詳細が印刷されます。

これから送信するデータのエラーメッセージを印刷する

- 印刷条件の「Q.エラー印刷」を「する」に設定してから、エラーが発生するデータを送信します。
- 印刷オプションの errorprint を指定して、エラーが発生するデータを送信します。

↓ 補足

- エラーメッセージを印刷するとエラーの履歴は消去されます。
- 印刷条件や印刷オプションで、エラー印刷をしない設定から、エラー印刷をする設定に変更すると、その次に印刷するデータが正常な場合でも、エラーの履歴が本機に残っているときはエラーメッセージが印刷されます。
- エラーメッセージを印刷しなくても、本機の電源を切ったり、エミュレーションを切り替えたりして RTIFF エミュレーションが終了すると、エラーの履歴が消去されます。誤って消去したときは、エラーが発生するデータをもう一度送信してください。
- エラーメッセージは、システム設定リストやエラー履歴に印刷されることがあります。システム設定リストやエラー履歴については、『プリンター』『テスト印刷』を参照してください。

エラーメッセージの形式と意味

エラーメッセージは、次の形式で印刷されます。

番号 RTF: 種類: エラーメッセージ

- 「番号」は、6 桁の数字で、RTIFF エミュレーションの起動以降に発生したエラーの連続番号です。
- 「種類」に「Warning」と印刷されたときは警告エラーが発生したことを示します。
- 「種類」に「Error」と印刷されたときは致命的エラーが発生したことを示します。

警告エラー

option: Invalid argument: XXX

印刷オプションの option に不適切な値が指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

option: Invalid value XXX. Cannot specify over max

印刷オプションの option に上限値 max より大きい値が指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

option: Invalid value XXX. Cannot specify under min

印刷オプションの option に下限値 min より小さい値が指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

autopaper: too small allow size XXX

印刷オプションの autopaper の超過率に下限値より小さい値が指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

autopaper: XXX set N %

印刷オプションの autopaper の超過率に%以外の単位文字が指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

cannot specify value: option = value

印刷オプションの option に範囲外の値が指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

cannot specify value: autoreduce = value

印刷オプションの autoreduce に範囲外の値が設定されました。

- 印刷オプションを正しく設定して印刷してください。

Invalid option option

不適切な印刷オプションが指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

mag (m) * xmag (xm) < mag min (min)

印刷条件や印刷オプションで決まる横方向の変倍率が下限値 min より小さい値でした。

- 変倍率にかかわる印刷条件や印刷オプションを正しく指定してください。

mag (m) * xmag (xm) > mag max (max)

印刷条件や印刷オプションで決まる横方向の変倍率が上限値 max より大きい値でした。

- 変倍率にかかわる印刷条件や印刷オプションを正しく指定してください。

mag (m) * ymag (ym) < mag min (min)

印刷条件や印刷オプションで決まる縦方向の変倍率が下限値 min より小さい値でした。

- 変倍率にかかわる印刷条件や印刷オプションを正しく指定してください。

mag (m) * ymag (ym) > mag max (max)

印刷条件や印刷オプションで決まる縦方向の変倍率が上限値 max より大きい値でした。

- 変倍率にかかわる印刷条件や印刷オプションを正しく指定してください。

no disk space.diskbuffer not work

印刷条件の「W.データバッファ」を「ハードディスク」に設定しているとき、または印刷オプションで diskbuffer を指定しているときに、ハードディスクのデータバッファ用の領域に空き容量がない（1MB 未満）ため、ハードディスクが使用できませんでした。

- 本機を再起動してください。それでもエラーが解消されないときは、ハードディスクが故障していることがあります。サービス実施店にお問い合わせください。

no resolution. tiffit not work

受信した TIFF データ内に解像度情報を記述するタグがないため、印刷条件の「T.実サイズ変倍」または印刷オプションの tiffit が無効になりました。

- TIFF データを修正してください。

tiff: tiff_data_error

受信した TIFF データ内に、サポートしていない形式や値、不適切なタグ、ビットマップイメージの情報が含まれていました。

- データを修正して、適切な情報を記述してください。

Using mag, xmag, ymag in panel setting

横または縦方向の変倍率が範囲外の値のため、印刷オプションの指定を無視し、印刷条件の変倍率だけ有効にしました。

- 変倍率にかかわる印刷条件や印刷オプションを正しく指定してください。

command: Invalid parameter: XXX

エミュレーション切り替えコマンド、サマリー印刷指定コマンド、印刷オプション指定コマンドといった受信したデータ内のコマンドに指定したパラメーターが誤っています。

- パラメーターを指定し直してください。

command: Invalid format: XXX

エミュレーション切り替えコマンド、サマリー印刷指定コマンド、印刷オプション指定コマンドといった受信したデータ内のコマンドの書式が誤っています。

- 書式を確認し、コマンドを記述し直してください。

CALS: CALS_data_error

受信した CALS データ内に、サポートしていない形式や値、不適切なヘッダーレコード、ビットマップイメージの情報が含まれていました。

- データを修正して、適切な情報を記述してください。

致命的エラー

BitsPerSample(n) of photometric(m) is not supported

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式でした。

- TIFF データを修正してください。

CALS: No space

受信した CALS データの処理に必要なメモリーの容量が不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。

CALS: No memory

受信した CALS データの処理に必要なメモリーの容量が不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。

CALS: CALS_data_error

受信した CALS データ内に、サポートしていない形式や値、不適切なヘッダーレコード、ビットマップイメージの情報が含まれていました。

- データを修正して、適切な情報を記述してください。

Cannot get color map

受信した TIFF データ内にカラーマップの情報が記述されていませんでした。

- TIFF データを修正してください。

Cannot get image length

受信した TIFF データ内にビットマップイメージの高さを表す情報が記述されていませんでした。

- TIFF データを修正してください。

Cannot get image width

受信した TIFF データ内にビットマップイメージの幅を表す情報が記述されていませんでした。

- TIFF データを修正してください。

Invalid image length(l)

受信した TIFF データ内のビットマップイメージの高さを表す値が不適切でした。

- TIFF データを修正してください。

Invalid image width(w)

受信した TIFF データ内のビットマップイメージの幅を表す値が不適切でした。

- TIFF データを修正してください。

Out of memory

受信した TIFF データの処理に必要なメモリーが不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。
- 印刷条件の「W.データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。

Photometric(n) is not supported

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式でした。

- TIFF データを修正してください。

Raster file size is too big

受信した TIFF データのサイズが大きすぎて、処理用のメモリーが不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。
- 印刷条件の「W.データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式（データ格納順序）でした。

- TIFF データを修正してください。
- 印刷条件の「W.データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。

Raster file width is too big

受信した TIFF データ内のビットマップイメージの幅が大きすぎて、処理できませんでした。

- TIFF データを修正して、イメージデータの幅を減らしてください。

Rest of lines will be ignored

エラーなどが発生したため、残りのデータを無視しました。

- エラーの原因を解消してください。

SamplesPerPixel(n) of photometric(m) is not supported

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式でした。

- TIFF データを修正してください。

tiff: No space

受信した TIFF データの処理に必要なメモリーが不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。
- 印刷条件の「W.データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。

tiff: No memory

受信した TIFF データの処理に必要なメモリーが不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。
- 印刷条件の「W.データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。

tiff: tiff_data_error

受信した TIFF データ内に、サポートしていない形式や値、不適切なタグ、ビットマップイメージの情報が含まれていました。

- データを修正して、適切な情報を記述してください。

TIFF tiled image is not supported

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式でした。

- TIFF データを修正してください。

思いどおりに印刷できないとき

TIFF データ、または CALS データが縮小（または拡大）されて印刷される

本機の解像度と、TIFF データまたは CALS データの解像度が異なるために発生しています。

TIFF データと同じ解像度を印刷条件や印刷オプションで設定してください。TIFF データと同じ解像度が設定項目にないとき、または複数の解像度が混在するときは、印刷条件の「T.実サイズ変倍」を「する」に設定するか、印刷オプションの「tiffit」を指定してください。

■ 画像イメージが用紙の片端に寄って印刷される

以下のいずれかを指定してください。

- 印刷条件の「S.印刷領域」を「最大」にする
- 印刷オプションの「maxarea」を指定する
- 印刷条件の「O.中央配置」を「する」にする
- 印刷オプションの「center」を指定する

主に図面系データを印刷するときに設定または指定することをお勧めします。

3

■ 横長の TIFF データ、または CALS データが縦方向に印刷され、画像が切れてしまう

印刷条件の「5.印刷方向」の初期値が「ポートレート」に設定されているためです。横長のデータを正しく用紙に印刷するには、印刷条件の「5.印刷方向」を「ランドスケープ」に設定するか、印刷オプションの「landscape」を指定してください。

また、印刷条件の「U.自動用紙選択」を「する」に設定するか、印刷オプションの「autopaper」を指定することでもデータに合わせた用紙方向で印刷できます。

■ 自動用紙選択ができない

印刷条件の「U.自動用紙選択」を「する」に設定するか、印刷オプションの「autopaper」を指定します。

■ 自動用紙選択で1つ大きい用紙サイズが選択される

スキャナーで作成した TIFF データは、指定した定形サイズより若干大きく作成されることがあります。

印刷条件の「U.自動用紙選択」を「する」にして「V.用紙超過率」を設定するか、印刷オプションの「autopaper」にオプションの「超過率」を指定してください。

印刷オプションの記述例：autopaper=10%

■ 印刷がうまくいかない

操作部に「99：ワーニング」や「P1：コマンドエラー」などが表示されているときは、エラーメッセージを印刷して対処してください。

エラーメッセージを印刷するには、本機の操作部にエラーが表示されている状態で RTIFF の「印刷条件リスト」を印刷してください。

ほかのエミュレーションに切り替えたり、プリンターの電源を切ったりするとエラーメッセージの詳細は解除されます。そのときは、印刷条件の「Q.エラー印刷」を「する」に設定するか、印刷オプションの「errorprint」を指定して、もう一度 TIFF データを印刷してください。エラーメッセージの詳細が出力されます。

エラーメッセージについては、P.175「エラーメッセージ」を参照してください。

■ 大量枚数のマルチ TIFF データが全ページ印刷できない

RTIFF が使用するメモリー領域が足りません。

印刷条件の「W.データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの「diskbuffer」を指定してください。

大きい用紙サイズで、大容量の TIFF データ、または CALS データが印刷できない

RTIFF が使用するメモリー領域が足りません。

印刷条件の「W.データバッファ」で「ハードディスク」を指定するか、印刷オプションの「diskbuffer」を指定してください。データ量が多いため処理に時間がかかることがあります。データインランプが点滅していれば、本機にデータは届いています。そのまましばらくお待ちください。

印刷条件の「T.実サイズ変倍」、または印刷オプションの「tiffit」を指定すると印刷が遅い

TIFF データまたは CALS データの解像度が本機の解像度と異なるため、変倍処理に時間がかかっています。

TIFF データまたは CALS データと同様の解像度を、印刷条件または印刷オプションで指定してください。

TIFF データ作成時（スキャン時）に生じる、データ端の影を除いて印刷したい

印刷条件の「A.右余白」、「C.下余白」、または印刷オプションの「rightspace」、「bottomspace」を指定します。

この設定は、TIFF データを白く上書きします。データ左端、上端の影を除くことはできません。

A3 よりも大きい画像データは A3 に縮小印刷、A3 以下の画像データは等倍印刷をしたい

印刷条件の「b.自動縮小」で「A3 に縮小」又は印刷オプションで「autoreduce=A3」と指定します。

出力する TIFF データの解像度が本機の解像度と異なるときは、出力する TIFF データのサイズ検知が正しくできません。そのときは「TIFF データ、または CALS データが縮小（または拡大）されて印刷される」を参照して対処してください。自動用紙選択も同時にするときは、印刷条件の「U.自動用紙選択」を「する」に設定するか、印刷オプションの「autopaper」も指定します。

PS ドライバーの「集約印刷」と同様の印刷をしたい

印刷条件の「H.マルチカラム」、「I.マルチロー」、または印刷オプションの「multicols」、「multirows」を指定すると、「集約印刷」と類似の結果が得られます。

マルチ TIFF データをファイル単位で部数指定したい

印刷オプションの「qty」を指定してください。このとき「pjl = on」もあわせて指定してください。

lpr 印刷で印刷オプションを指定したい

印刷コマンドの使用方法は、P.120「印刷オプションを指定する」を参照してください。

MEMO

